

(平成30年6月実施)

## 第45回

# 市民アンケート調査報告書

——あなたと市政を結ぶ——



# 目 次

## I 調査概要

1	調査目的 .....	1
2	調査事項 .....	1
3	調査実施概要 .....	1
4	回収状況 .....	1
5	報告書内のデータ記述について .....	1
6	回答者の属性 .....	3

## II 調査結果

1	あなたご存じですか? .....	5
2	スポーツの推進について .....	15
3	浜松市歌について .....	19
4	観光地としての浜松について .....	23
5	子育て支援について .....	29
6	ユニバーサルデザインについて .....	37
7	浜松駅周辺の市営自転車等駐車場について .....	45
8	ドメスティック・バイオレンス（DV）について .....	51
9	老人福祉センターについて .....	55
10	文化について .....	61
11	歴史まちづくりについて .....	71
12	浜松市戦略計画 2018 について .....	79

## 付録 調査票



# I 調査概要

---



## 1 調査目的

本調査は、昭和45年度から始まり、本年度で45回目\*になる。社会情勢の変化に伴う市民の生活意識や市政に対する関心やニーズなどを把握するため、毎年各部署から提出された希望調査項目を精査した後、調査項目を決定し、属性などにより集計した調査結果を詳細に分析し、今後の施策の方向性や事業展開など行政のさまざまな施策の基礎資料として活用しているものである。

※ 昭和45年度1回目、48年度2回目、50年度3回目、52年度4回目（以降毎年実施）

## 2 調査事項

- あなたはご存じですか？
- スポーツの推進について
- 浜松市歌について
- 観光地としての浜松について
- 子育て支援について
- ユニバーサルデザインについて
- 浜松駅周辺の市営自転車等駐車場について
- ドメスティック・バイオレンス（DV）について
- 老人福祉センターについて
- 文化について
- 歴史まちづくりについて
- 浜松市戦略計画 2018 について

## 3 調査実施概要

- (1) 調査地域 浜松市全域
- (2) 調査対象 満 18 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (4) 調査方法 質問紙郵送法
- (5) 調査期間 平成 30 年 6 月 9 日～ 30 日
- (6) 調査機関 一般財団法人 しんきん経済研究所

## 4 回収状況

発送数	有効回収数	有効回収率
3,000 件	1,531 件	51.0%

## 5 報告書内のデータ記述について

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、比率の合計が 100%にならないことがある。
- (2) 基数とすべき実数は、図表中に「N」として記載した。比率はこの基数を 100%として算出している。
- (3) 質問の選択肢から複数回答を認めている場合、比率の合計は通常 100%を超える。
- (4) 図表中の回答選択肢が長文の場合、コンピューターの処理の都合上、省略している箇所がある。

- (5) クロス集計の図表については、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、各分析項目の件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 本調査は標本調査であり、母集団(浜松市内に住む満18歳以上の男女)との間に誤差(標本誤差)がある。標本誤差は、信頼度を95%と設定した場合、下記の計算式で算出できる。信頼度95%とは100回同じ調査を行えば、95回はその誤差の範囲内に収まるということの意味する。一般的に国などの公的機関が行うアンケート調査では95%の信頼度を用いることが多い。

標本誤差の計算式

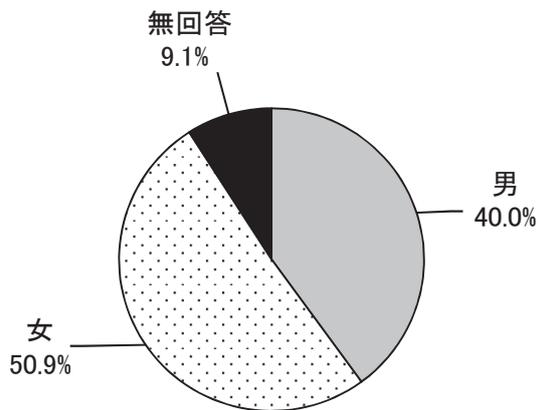
$$\pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{母集団数}-\text{回答者数}}{\text{母集団数}-1} \times \frac{\text{回答割合}(\%) \times (100-\text{回答割合}(\%))}{\text{回答者数}}}$$

※ 母集団数は、住民基本台帳による満18歳以上の浜松市の人口674,286人です。(平成30年6月1日現在)  
回答者数は、図表中に「N」として記載されています。

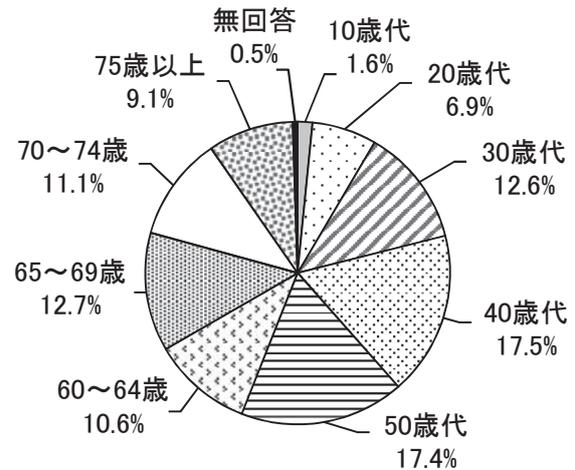
## 6 回答者の属性

N=1,531

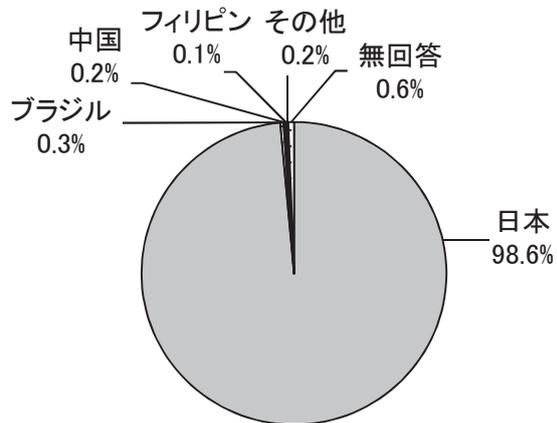
### (1) 性別



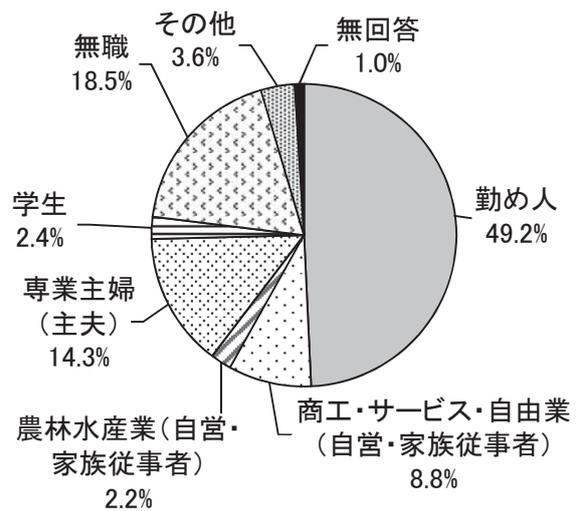
### (2) 年齢



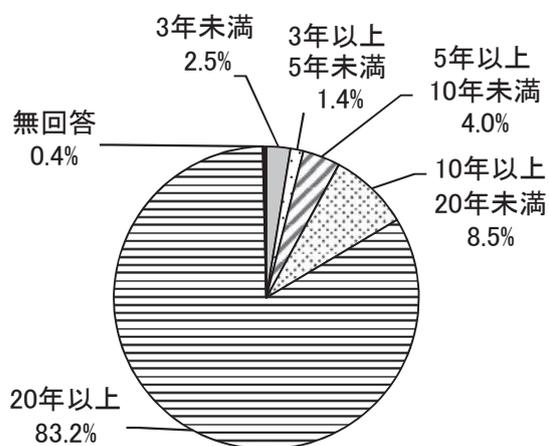
### (3) 国籍



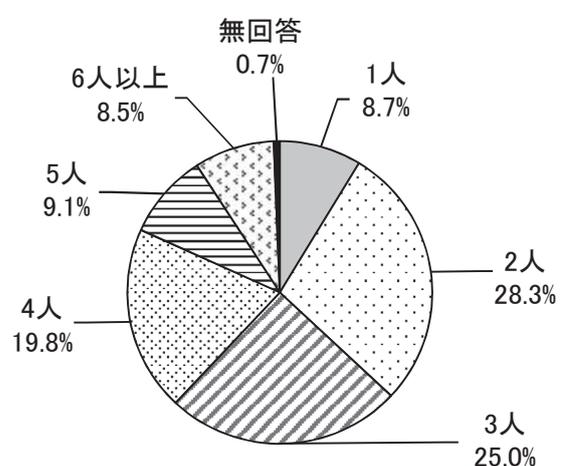
### (4) 職業



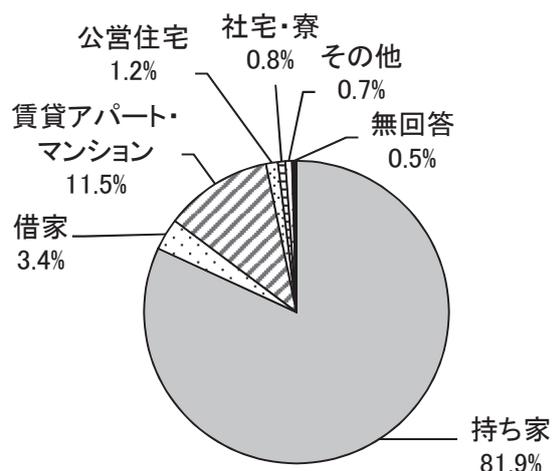
### (5) 居住年数



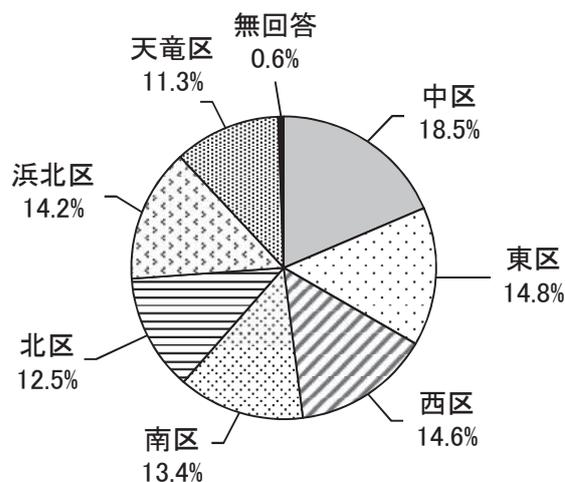
### (6) 家族数



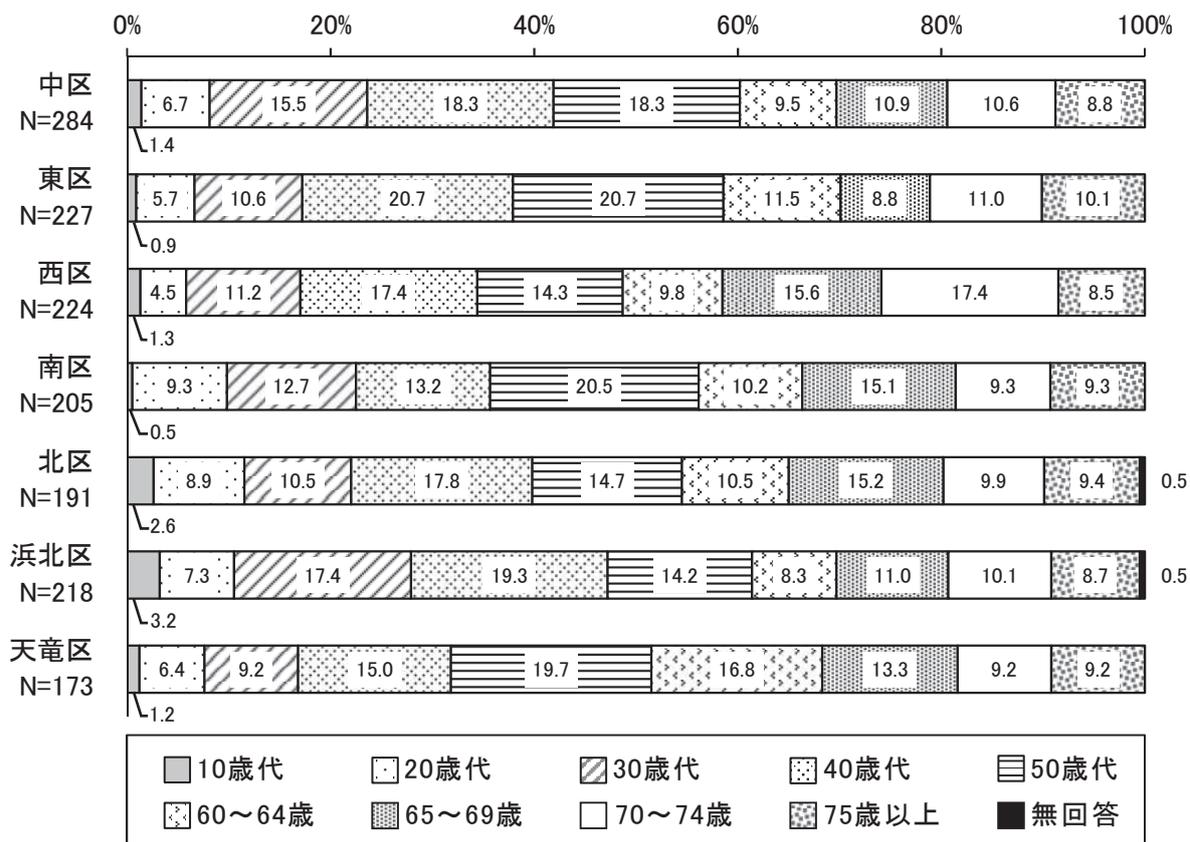
(7) 居住形態



(8) 行政区



(9) 行政区別年齢



## II 調査結果

---

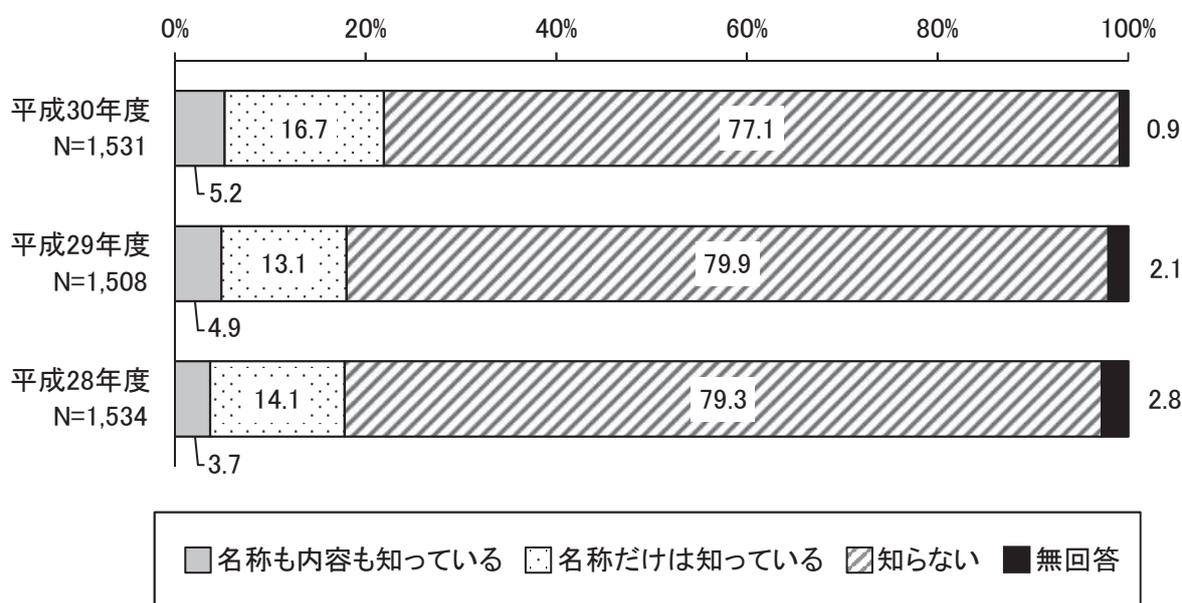
# 1 あなたはご存じですか？

問1 次の項目について、あなたはご存じですか。

## ① FSC森林認証

※森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。浜松市は市町村別では全国最大のFSC認証林面積を保有しています。

「FSC森林認証」の『認知度』は 21.9%



「名称も内容も知っている」が 5.2%、「名称だけは知っている」(16.7%) を合わせた『認知度』は 21.9%と、「知らない」の 77.1%を 55.2 ポイント下回った。

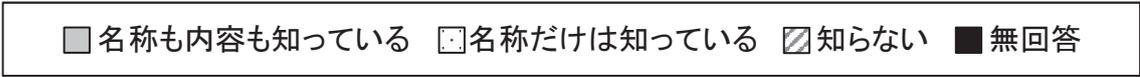
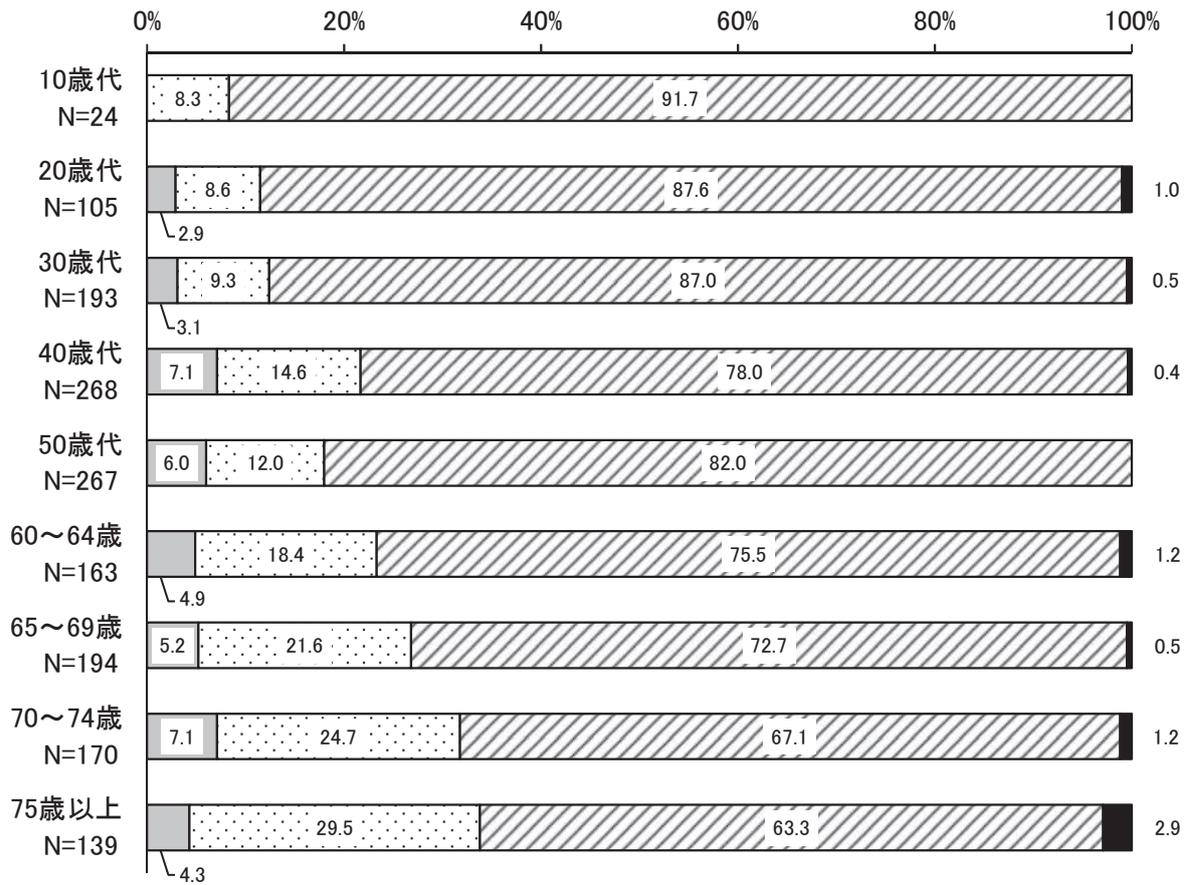
平成 29 年度調査と比較すると、「名称も内容も知っている」が 0.3 ポイント、『認知度』も 3.9 ポイント増加、一方で「知らない」は 2.8 ポイント減少したものの、依然として低い認知度であった。

年齢別で見ると、50 歳代を除く 40 歳代以上では『認知度』が 2 割を超えているのに対し、10 歳代では 8.3%、20 歳代では 11.5%、30 歳代では 12.4%と若い世代ほど、『認知度』が低い傾向がみられた。

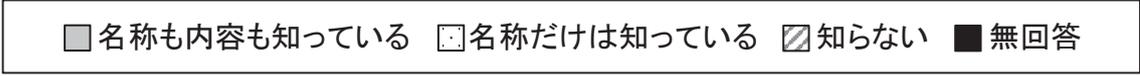
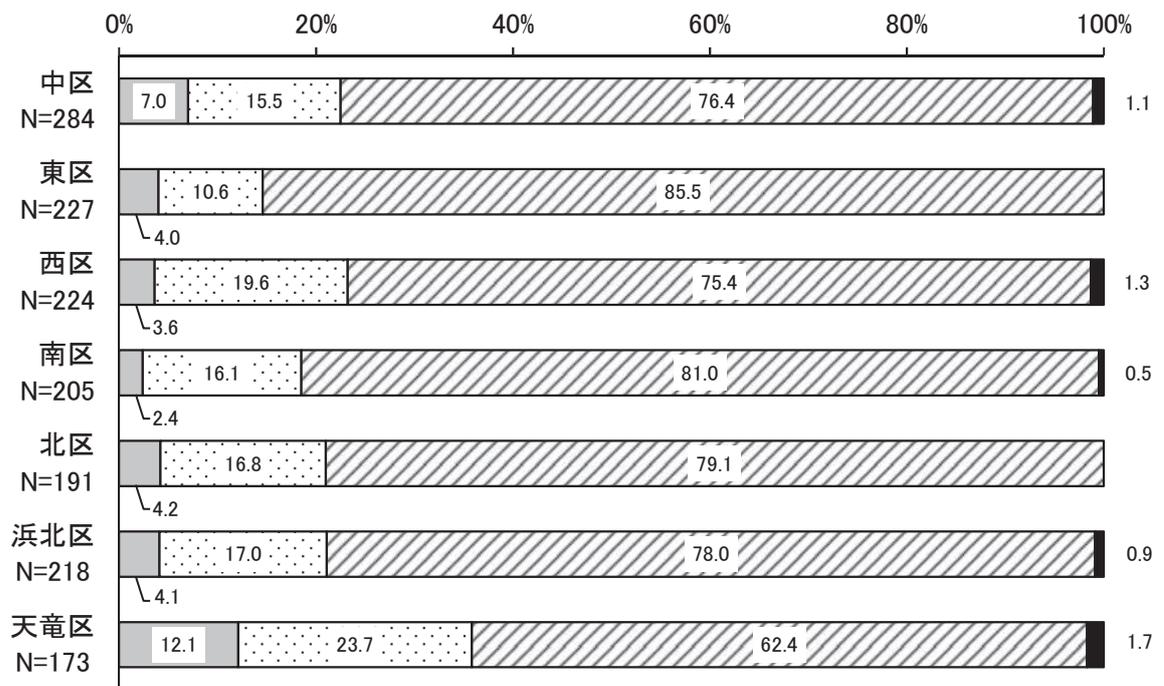
行政区別で見ると、天竜区では『認知度』が 35.8%と他の区と比較して高かった。

『認知度』は年々向上しているものの、約 2 割で依然として低いことから、引き続き認知度の向上に努める必要がある。

【年齢別】



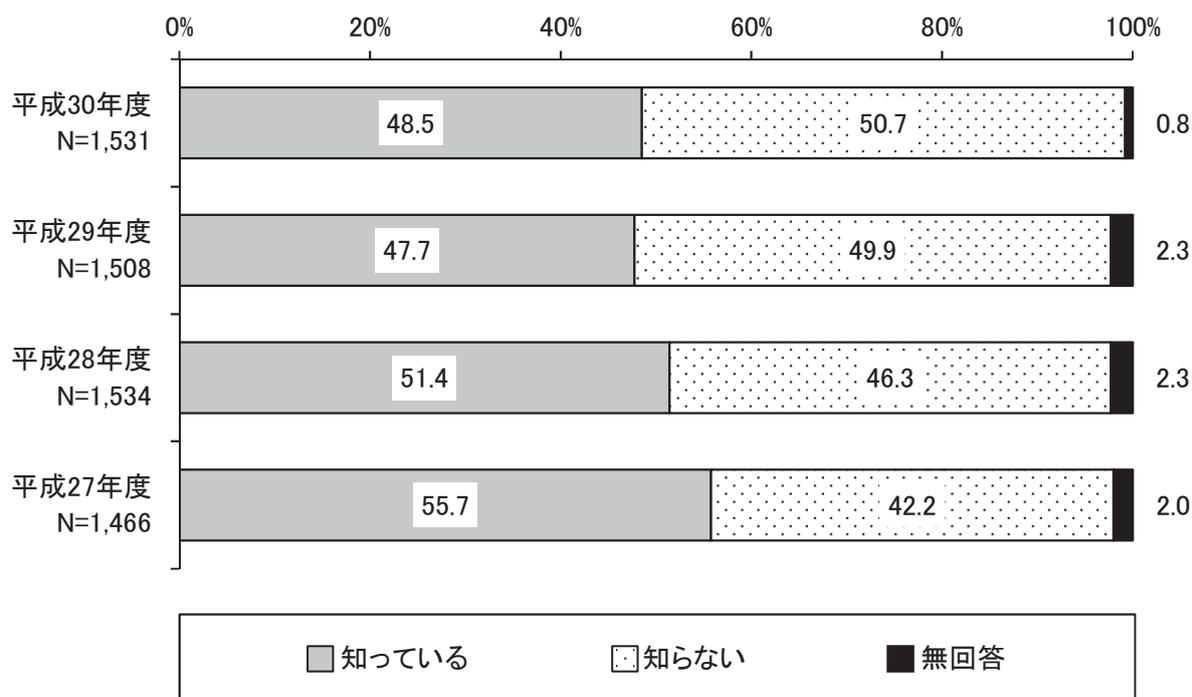
【行政区別】



## ② 市制記念日

※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。

「市制記念日」を知っている人は48.5%



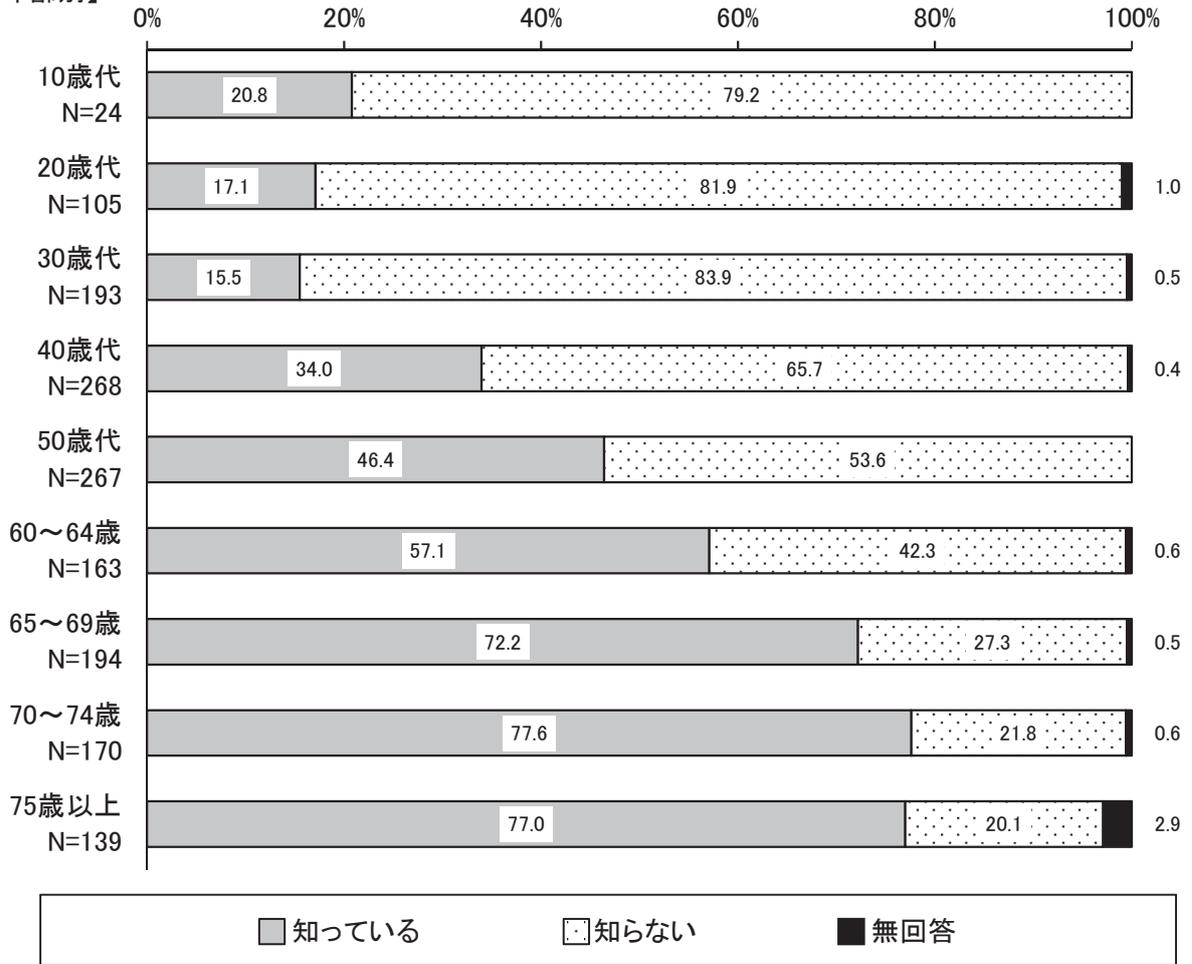
「知っている」が48.5%、「知らない」が50.7%で、約半数が「知らない」という結果となった。平成27年度調査から平成30年度調査にかけて、「知らない」の割合は年々増加傾向にある。

年齢別で見ると、40歳代以上では、概ね年齢が高くなるにつれ認知度が高くなっており、65歳以上では7割以上が「知っている」と回答している。一方で、10歳代から30歳代は、約8割が「知らない」と回答しており、前回調査と同様、若年層の認知度が低い結果となった。中でも30歳代の認知度が最も低く、15.5%であった。

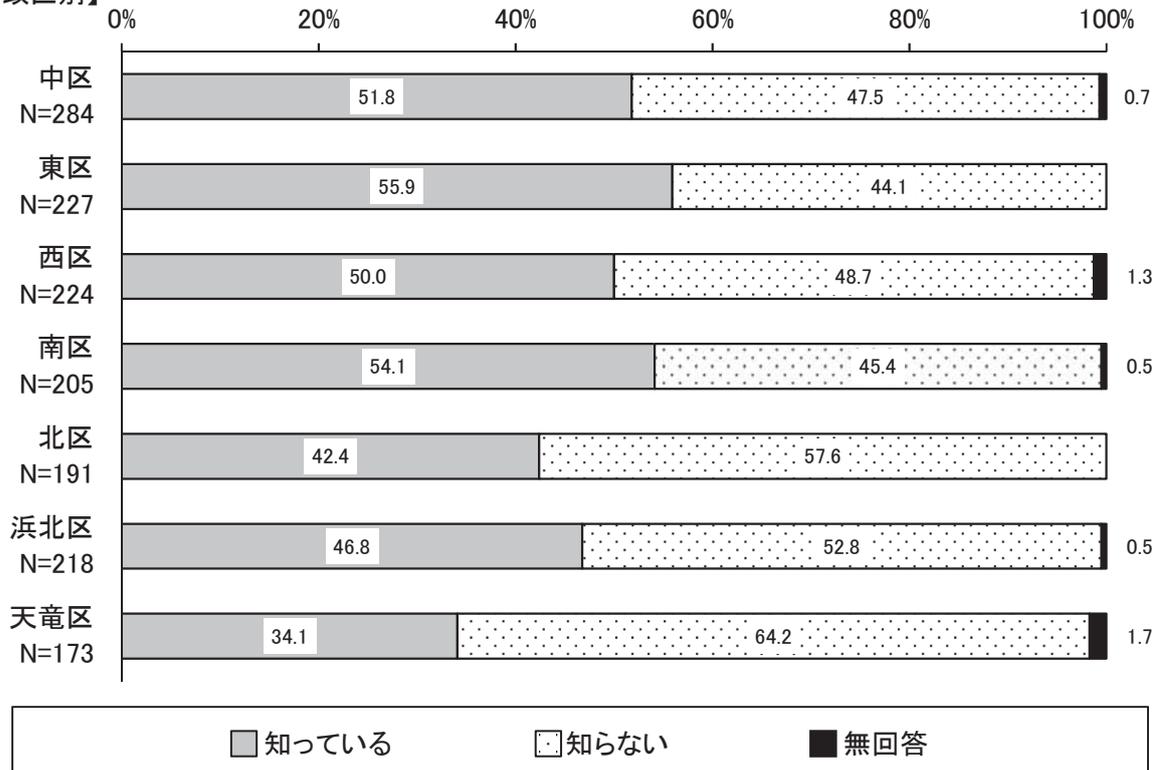
行政区別で見ると、中区、東区、西区、南区では「知っている」が50%を超えている。一方で、北区(42.4%)、浜北区(46.8%)、天竜区(34.1%)では50%を下回った。

今回の調査結果から、引き続き若年層の認知度向上が必要であるため、学校教育の場などを通じて、子供の頃から市制記念日について知る機会を増やすことが重要である。また、市制記念式典の内容についても、幅広い層に関心を持ってもらえるような演目を検討し、広く市民に宣伝していきたい。

【年齢別】



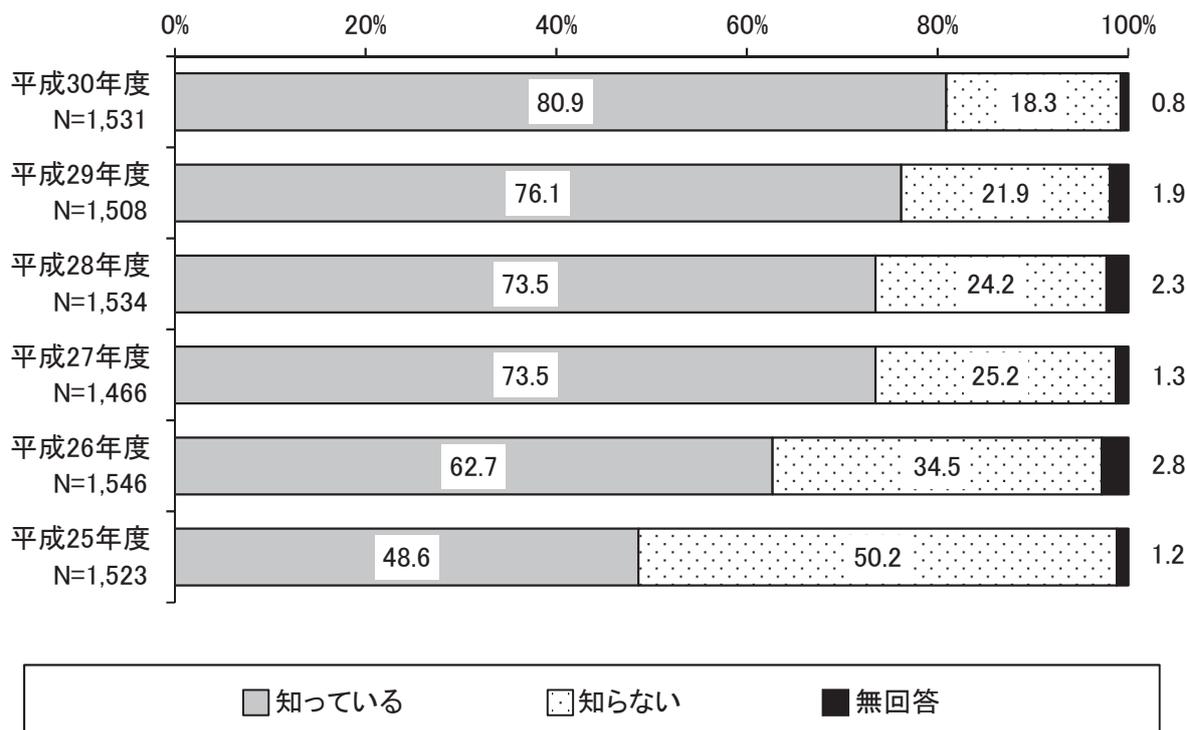
【行政区別】



### ③ 協働センター

※平成24年4月から地域自治センターが、平成25年4月から公民館が、それぞれ「協働センター」となりました。  
 ※協働センターは、市民に身近な行政サービス提供組織として、地域づくりや生涯学習、窓口サービスなどの業務を行っています。

「協働センター」を知っている人は 80.9%

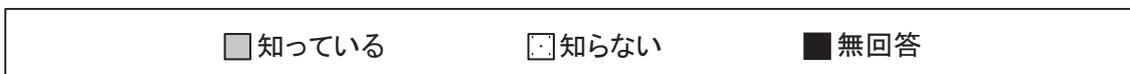
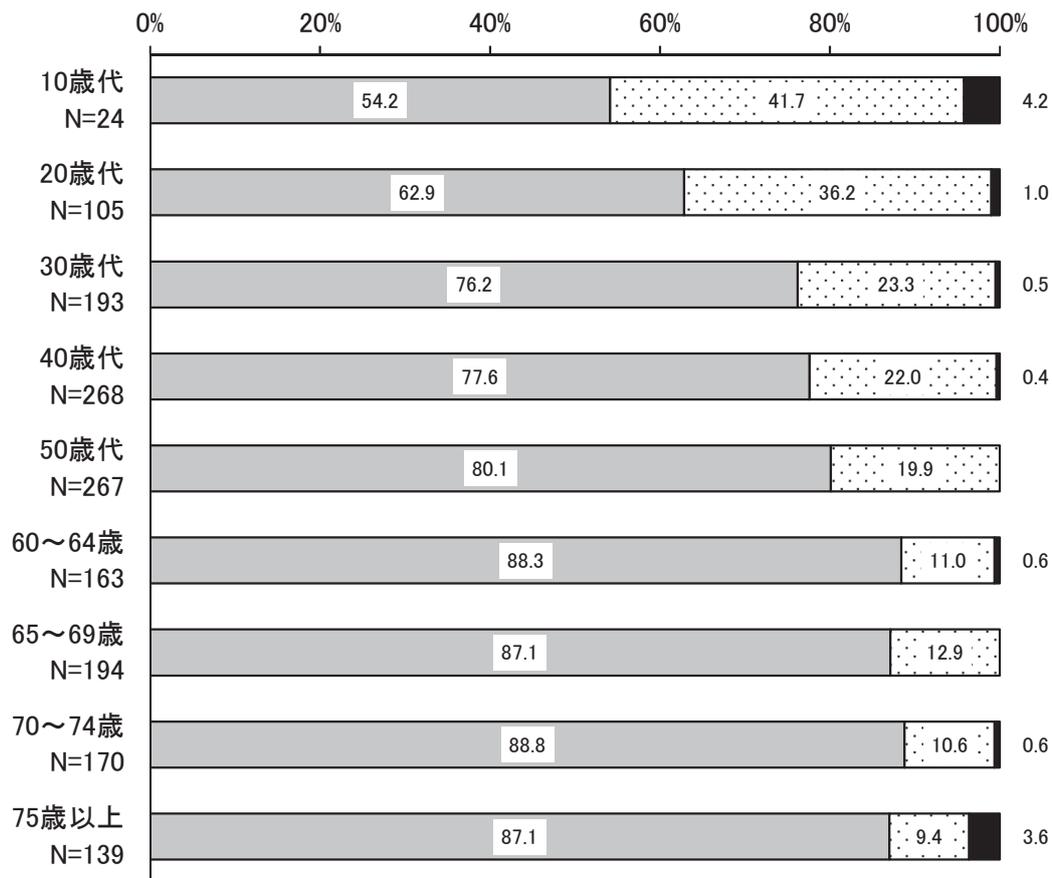


「知っている」が 80.9%で、平成 29 年度調査から 4.8 ポイント増加した。協働センター発足直後の平成 25 年度調査では「知っている」が 48.6%と 50%を割りこんでいたが、徐々に市民に浸透し、平成 30 年度調査で初めて 80%を超えた。

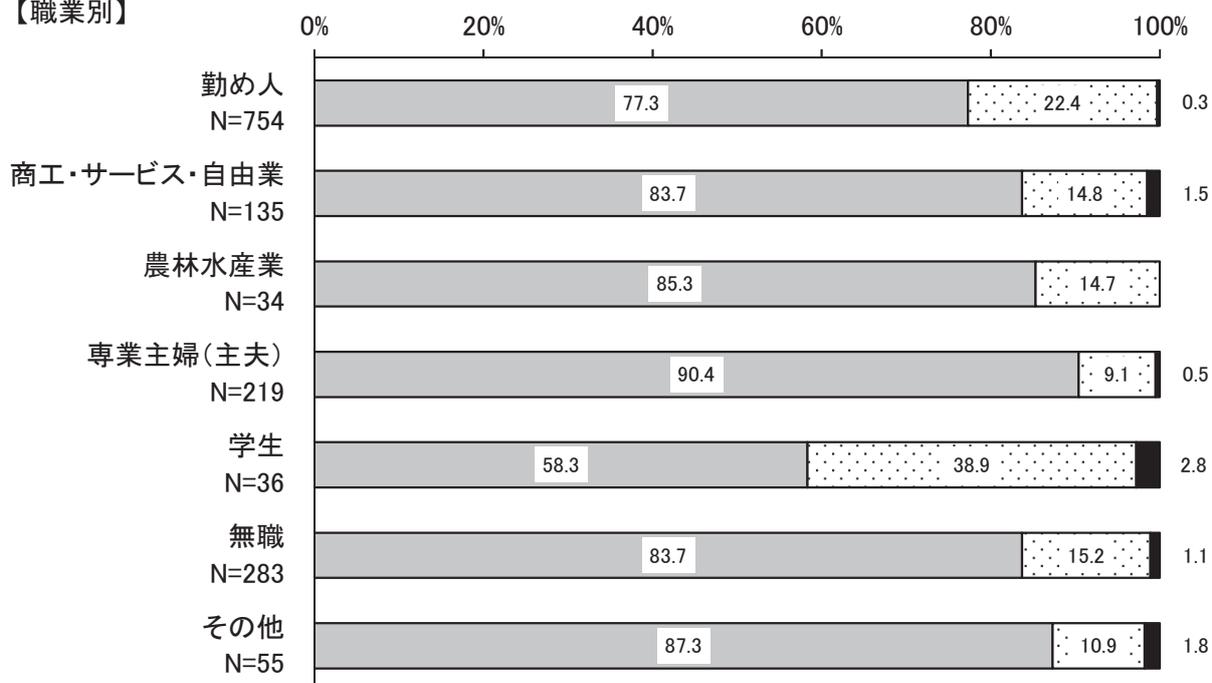
年齢別でみると、いずれの年齢層も「知っている」が 50%を超え、20 歳代は平成 29 年度調査 (48.4%)と比較すると 14.5 ポイント増加した。年齢が高くなるほど認知度が高い傾向がみられ、70~74 歳が 88.8%と最も高かった。

職業別でみると、学生の認知度 (58.3%) は平成 29 年度調査 (43.5%) と比較すると 14.8 ポイント増加したものの依然として低い。また、居住年数別では「知っている」割合が、3 年未満は 35.9%、3 年以上 5 年未満は 61.9%、5 年以上 10 年未満は 82.0%、10 年以上 20 年未満は 76.2%、20 年以上は 83.0%となり、3 年未満の認知度が突出して低いことから、学生年代に焦点を当てた広報や居住年数が短い層にも分かりやすい広報を展開し、協働センターの認知度の向上と利用促進に努めていくことが重要と言える。

【年齢別】



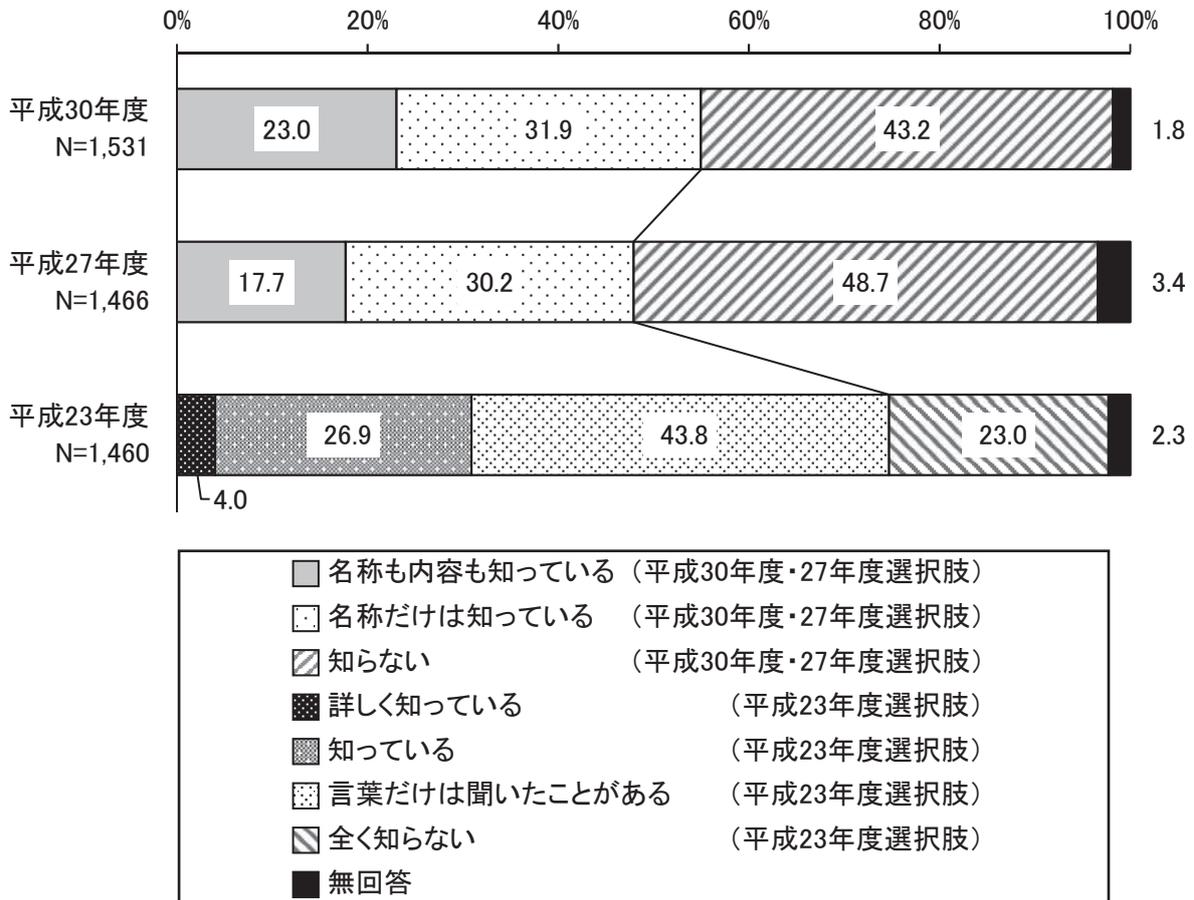
【職業別】



#### ④ 生物多様性

※生き物の豊かな個性とつながりのこと。すべての生き物には違い（「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」）があり、互いにつながり合い、支え合って生きています。

「生物多様性」の『認知度』は 54.9%



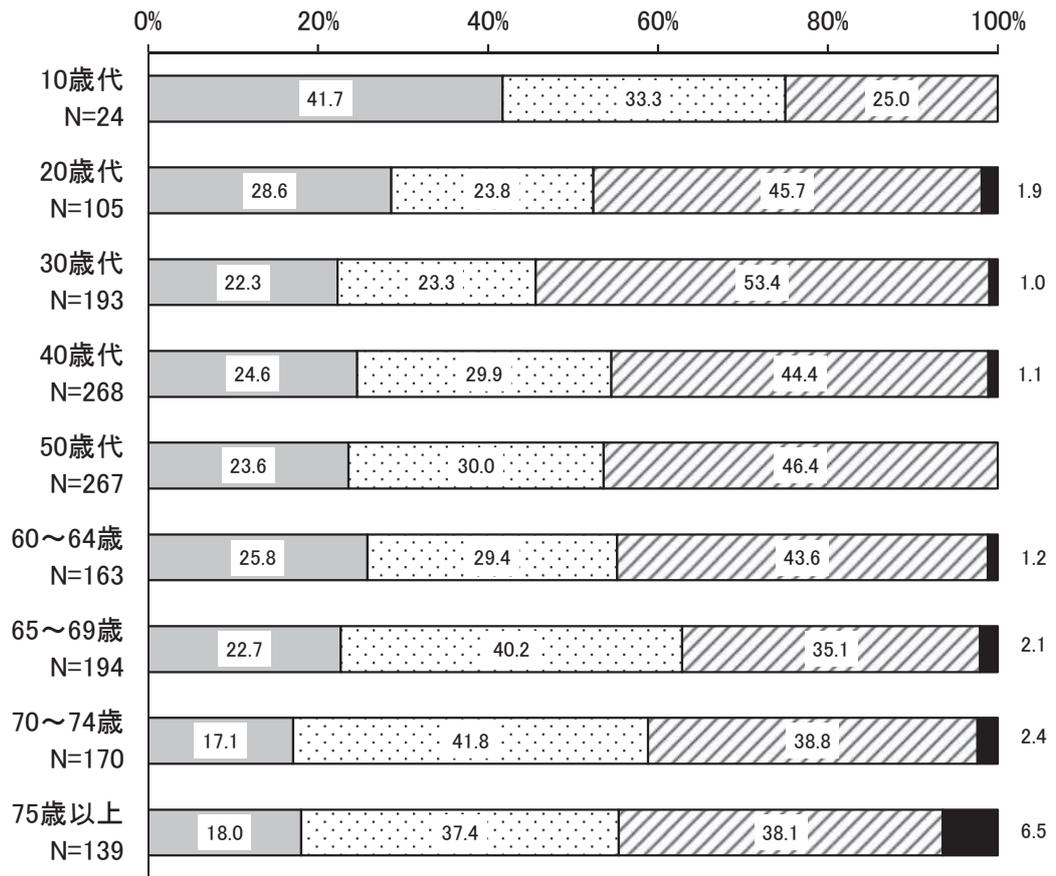
「名称も内容も知っている」（23.0%）と「名称だけは知っている」（31.9%）を合わせた『認知度』は 54.9%となり、前回の平成 27 年度調査より 7.0 ポイント増加した。しかし、平成 23 年度調査と比べると 19.8 ポイント減少した。設問の選択肢が異なるため単純に比較できないが、平成 22 年に名古屋で第 10 回生物多様性条約締約国会議（COP10）が開催されており、国際的なイベントが平成 23 年度調査に影響していると考えられる。

年齢別でみると、「名称も内容も知っている」は 10 歳代が 41.7%、20 歳代が 28.6%と高く、『認知度』は 10 歳代が 75.0%、65～69 歳が 62.9%と高かった。

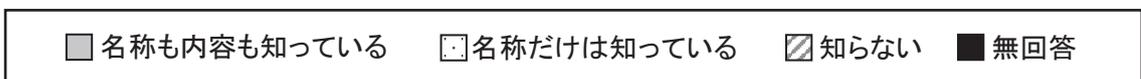
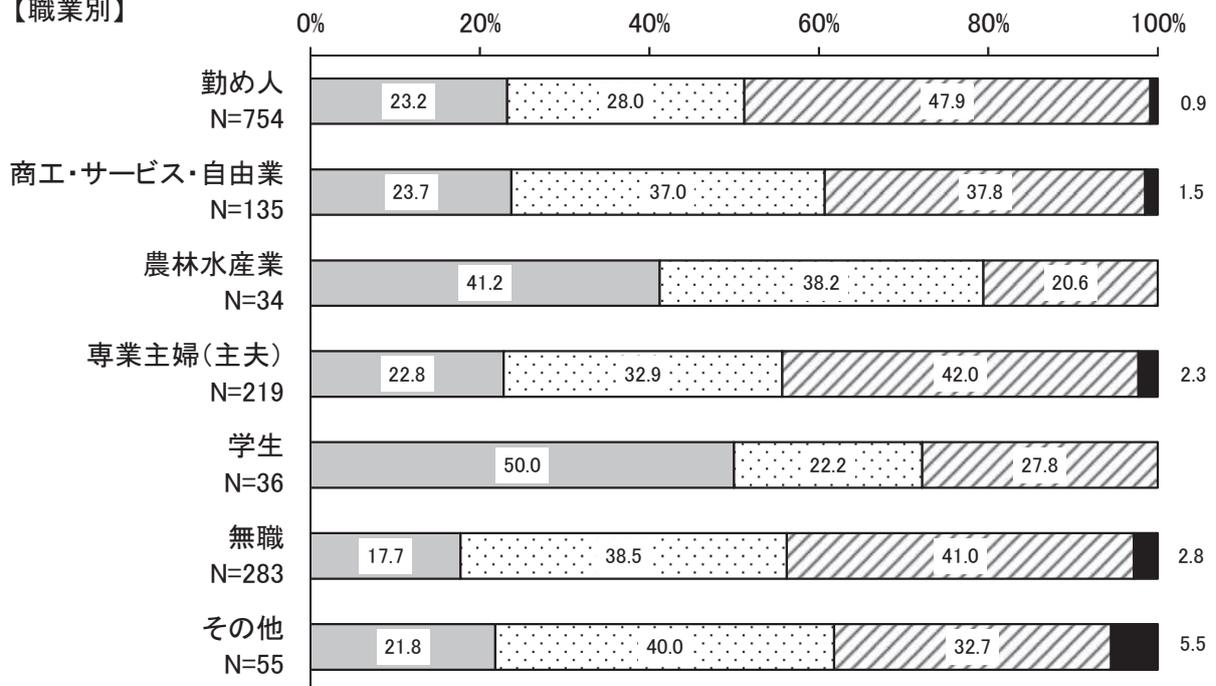
職業別でみると、「名称も内容も知っている」は学生が 50.0%と最も高く、『認知度』は農林水産業が 79.4%と最も高かった。

本市では、平成 30 年4月に「生物多様性はままつ戦略」を改定し、戦略における新たな3つの重点プロジェクト「市民が自ら調べるまち」「市民が自ら守るまち」「市民・事業者・行政がつながるまち」を掲げた。今後、これらプロジェクトの取り組みにより、生物多様性の認知度を高めるとともに、保全の重要性を啓発していく。

【年齢別】



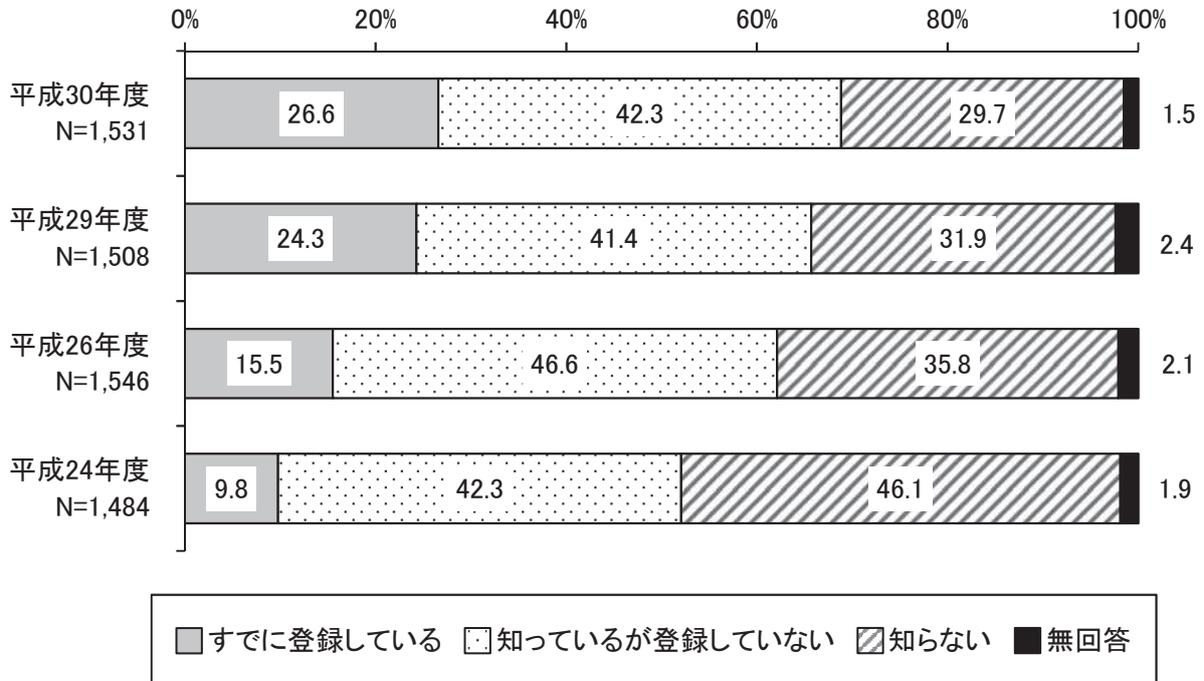
【職業別】



### ⑤ 防災ホッとメール

※災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信しています。

「防災ホッとメール」を登録している人は26.6%

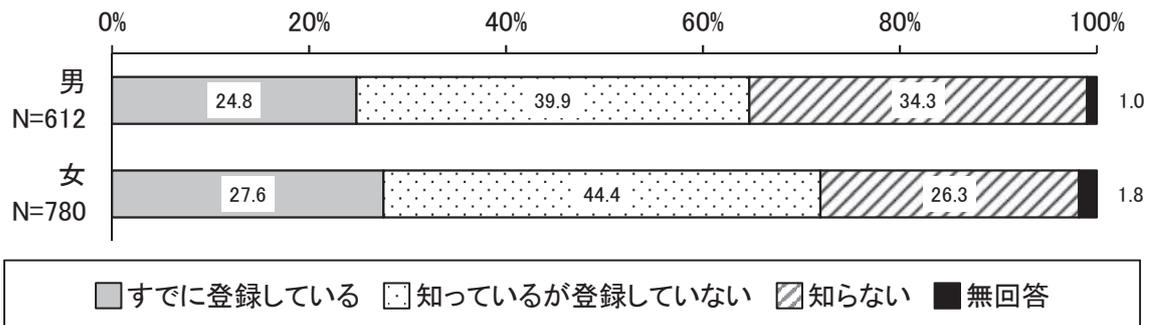


「すでに登録している」(26.6%)と「知っているが登録していない」(42.3%)を合わせた『認知度』は68.9%となった。過去の調査と比較すると、「すでに登録している」、『認知度』ともに増加しており、市民への浸透が進んできている。

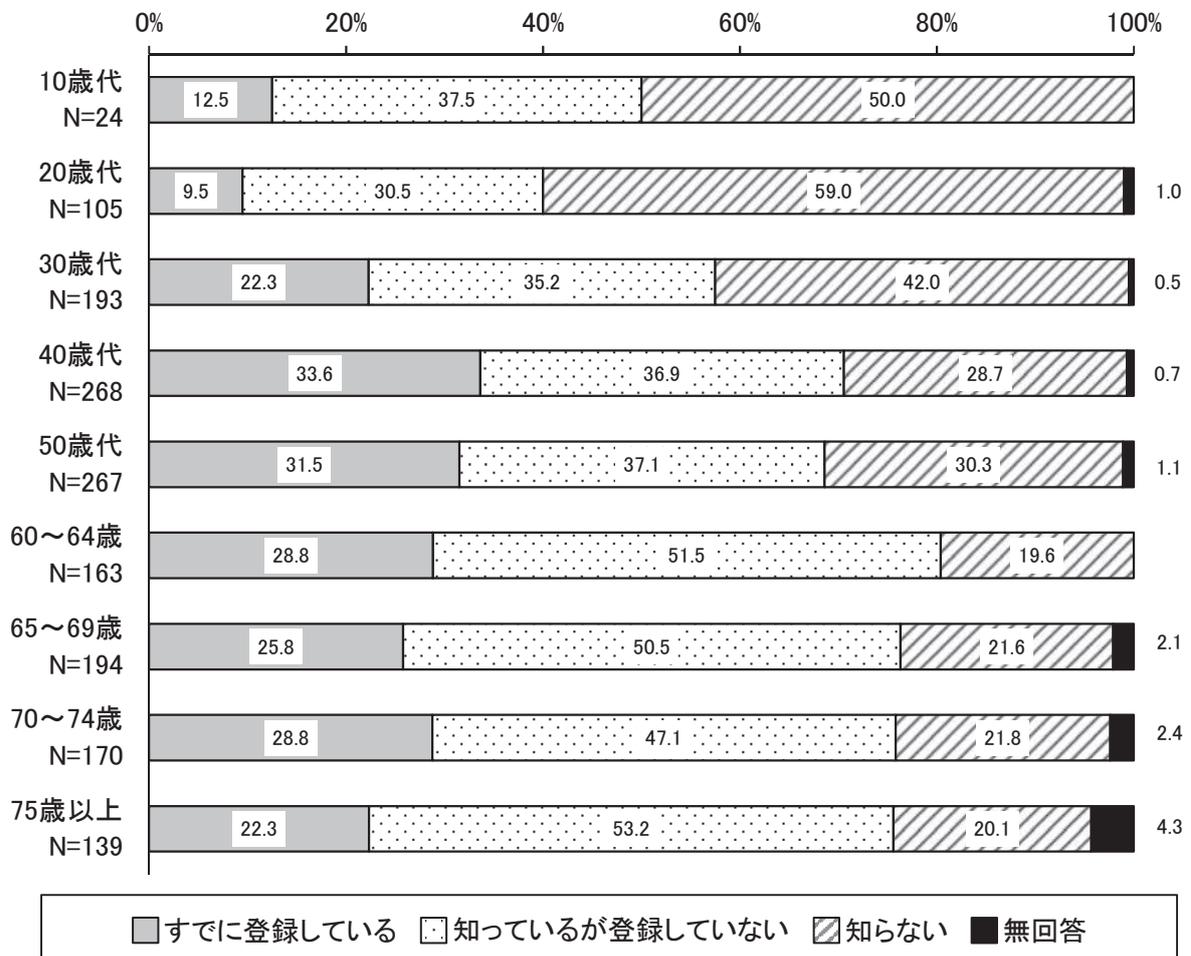
性別でみると、『認知度』は男性の64.7%に対し女性は72.0%となり、女性が男性を7.3ポイント上回った。

年齢別でみると、40歳代以上は『認知度』が6割を超えている一方で、10歳代が50.0%、20歳代が40.0%と若年層の『認知度』が低い。このため、市内の大学と連携した広報活動等を検討していく必要がある。また、「知っているが登録していない」は、概ね年齢が高くなるにつれ、回答割合も高くなっている。今後は、より多くの方に登録していただけるよう、自ら情報収集をすることの必要性と避難情報の意味や、避難情報が出たときにとるべき避難行動について周知を図っていく。

【性別】



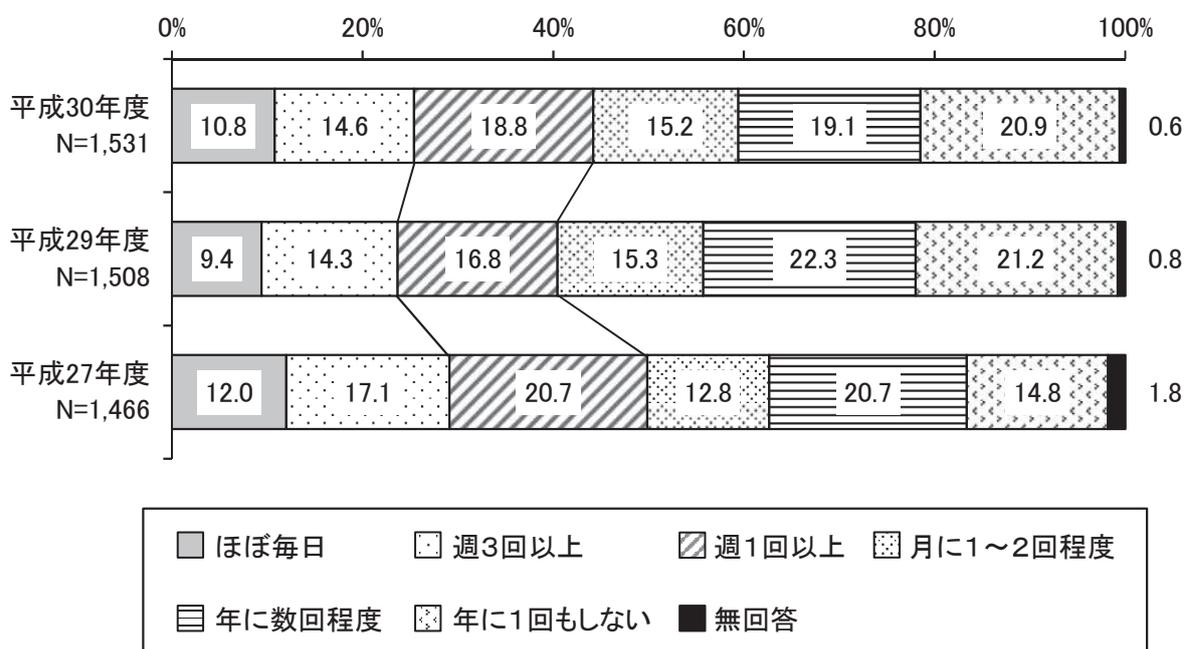
【年齢別】



## 2 スポーツの推進について

問2 あなたは、過去1年間でスポーツ（運動）をどの程度行いましたか。ウォーキングから本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。（1つだけ○を付けてください）

『週1回以上』スポーツを行っている人は44.2%



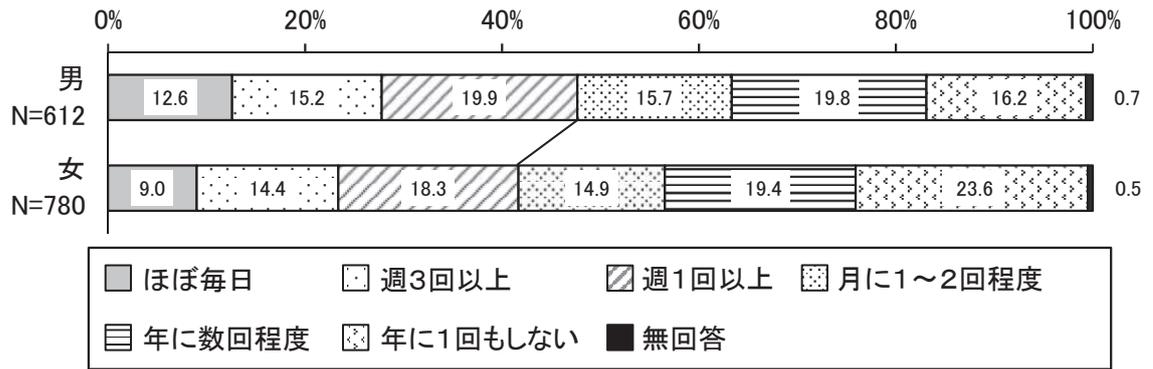
「ほぼ毎日」（10.8%）、「週3回以上」（14.6%）を合わせた『週3回以上』が25.4%、『週3回以上』と「週1回以上」（18.8%）を合わせた『週1回以上』は44.2%、「年に1回もしない」は20.9%となった。

平成29年度調査と比較すると、『週1回以上』は3.7ポイント、『週3回以上』は1.7ポイント上昇し、「年に1回もしない」は0.3ポイント低下した。

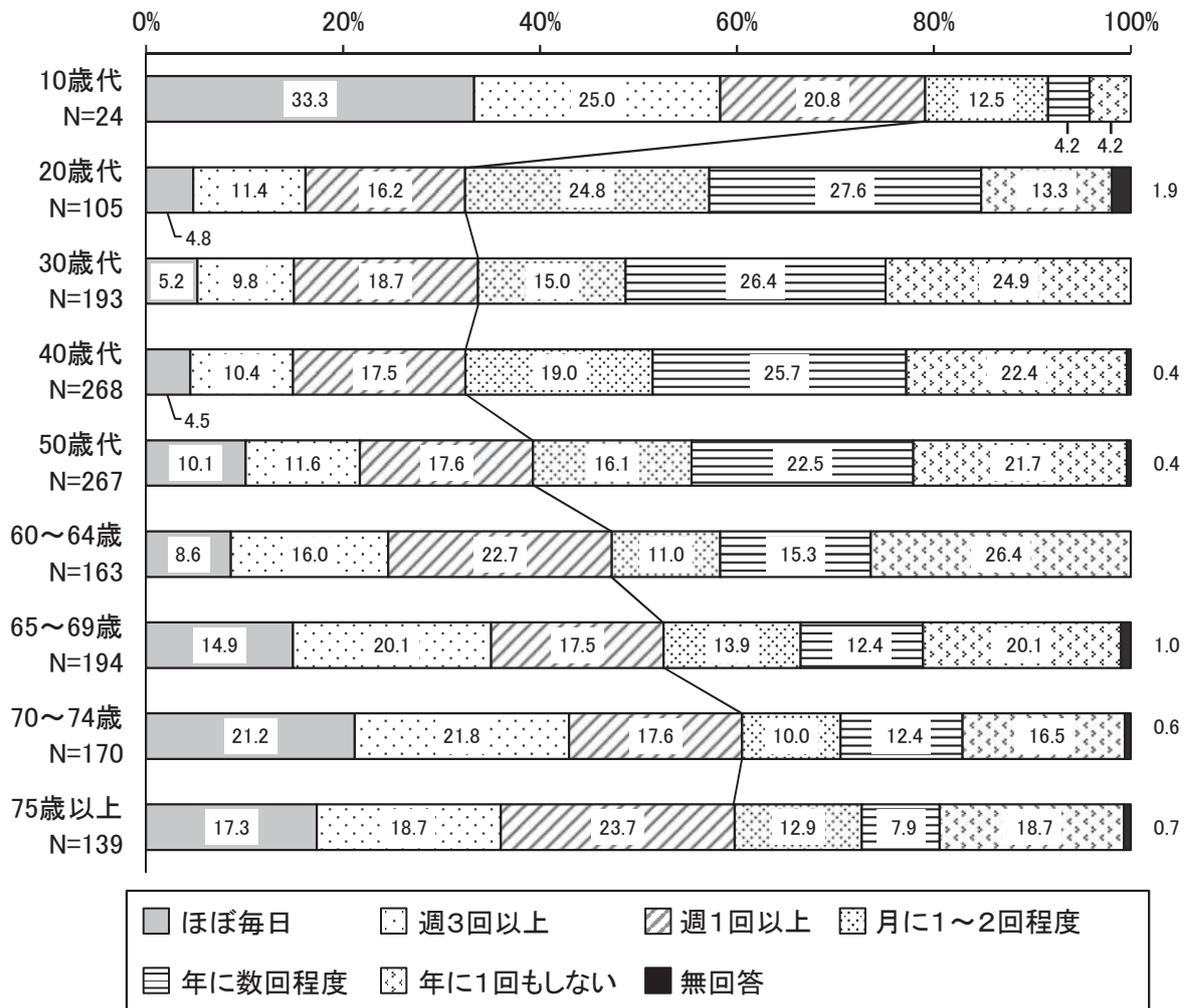
浜松市スポーツ推進計画では、週1回以上のスポーツ実施率65%以上、週3回以上のスポーツ実施率30%以上を数値目標としているが、週1回以上は20.8ポイント、週3回以上は4.6ポイント目標を下回った。

『週1回以上』を性別で見ると、男性47.7%、女性41.7%と6.0ポイント男性の方が高く、また、年齢別で見ると、20歳代から50歳代の年齢層は30%台と低かった。

【性別】

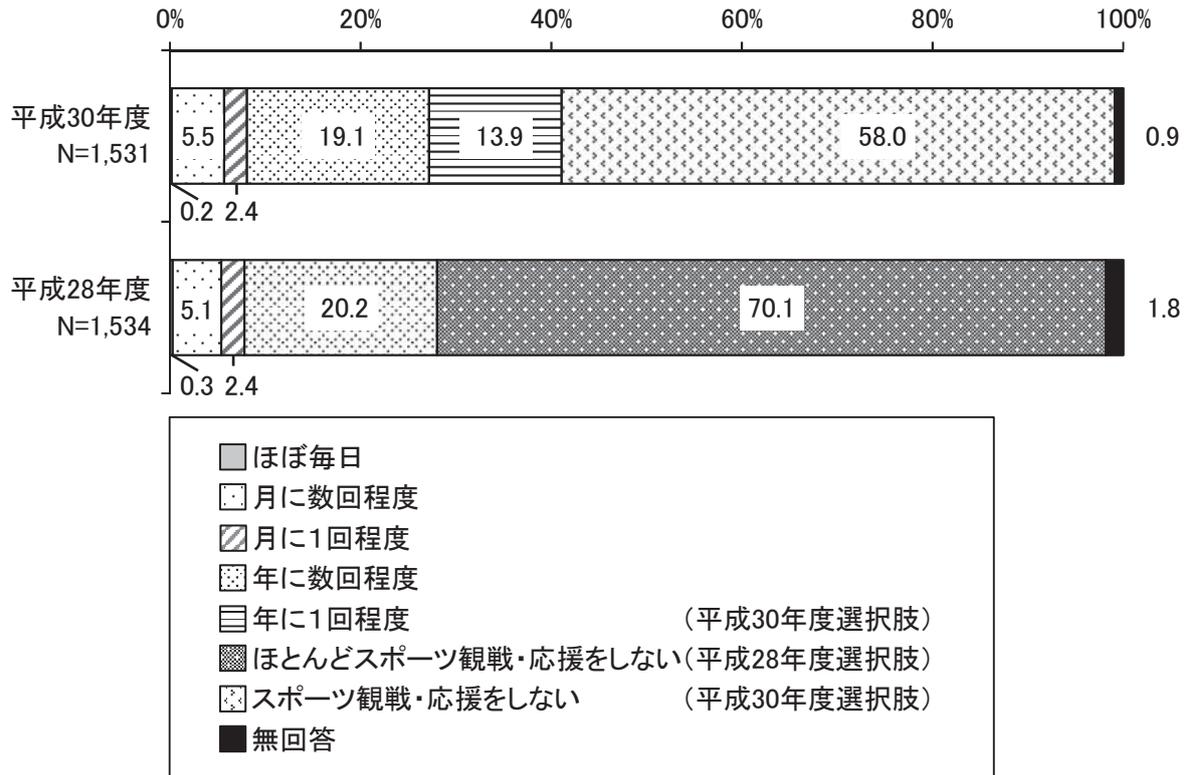


【年齢別】



問3 あなたは、過去1年間に実際に会場に向いてスポーツ観戦・応援をどの程度行いましたか。プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などの観戦・応援も含みます。(1つだけ○を付けてください)

『年に1回以上』スポーツ観戦・応援をした人は41.1%



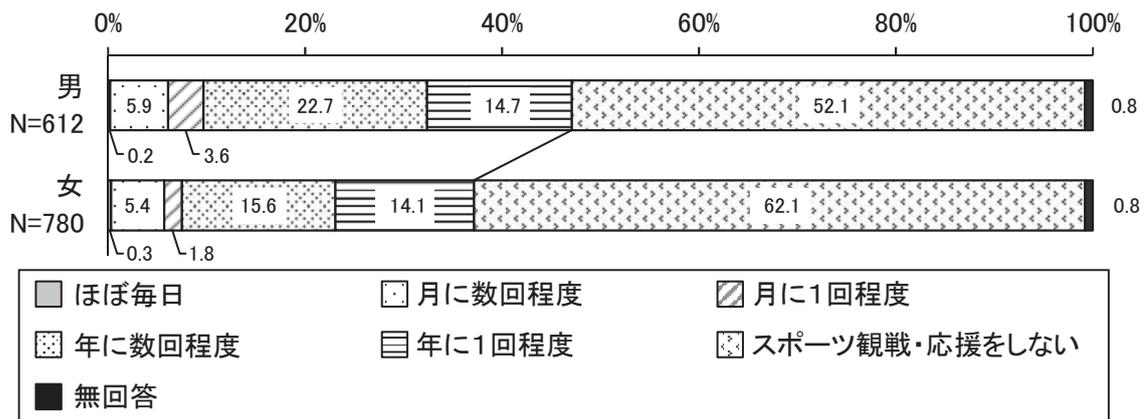
浜松市スポーツ推進計画では、年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率50%以上を目標としているが、「ほぼ毎日」(0.2%)、「月に数回程度」(5.5%)、「月に1回程度」(2.4%)、「年に数回程度」(19.1%)、「年に1回程度」(13.9%)を合わせた『年1回以上』は41.1%となり、推進計画の目標を8.9ポイント下回った。「スポーツ観戦・応援をしない」は58.0%だった。

『年1回以上』を性別で見ると、男性47.1%、女性37.2%と9.9ポイント男性の方が高かった。

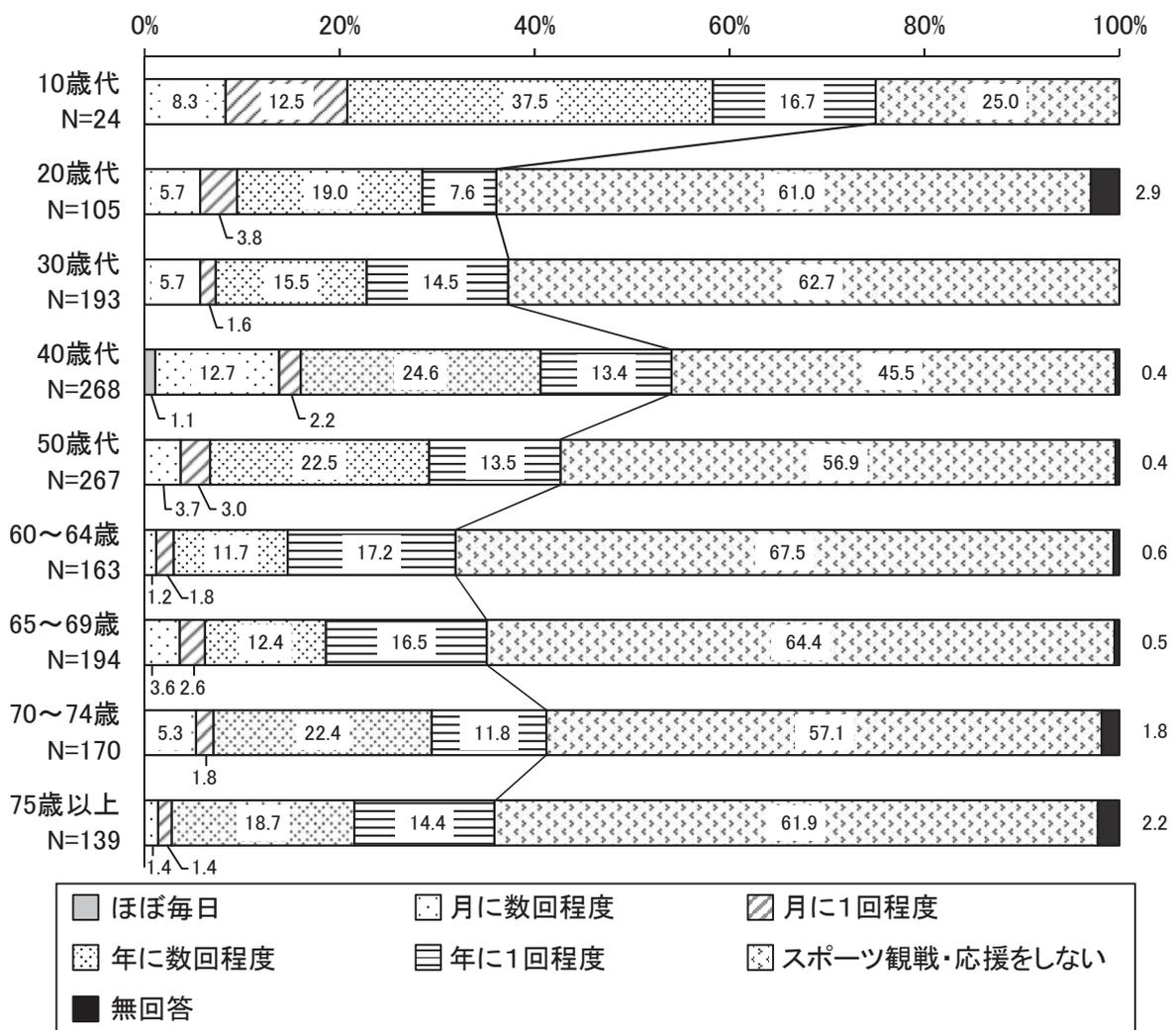
『年1回以上』を年齢別で見ると、10歳代の75.0%が最も高く、次いで40歳代の54.0%、50歳代の42.7%が続いている。最も低かったのは60～64歳の31.9%だった。

2018FIFAワールドカップ、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会とスポーツのビッグイベントが続きスポーツへの関心が高まる中、現在策定中の第2期浜松市スポーツ推進計画において、より多くの市民にスポーツに親んでもらえるような魅力ある施策を展開していきたい。

【性別】



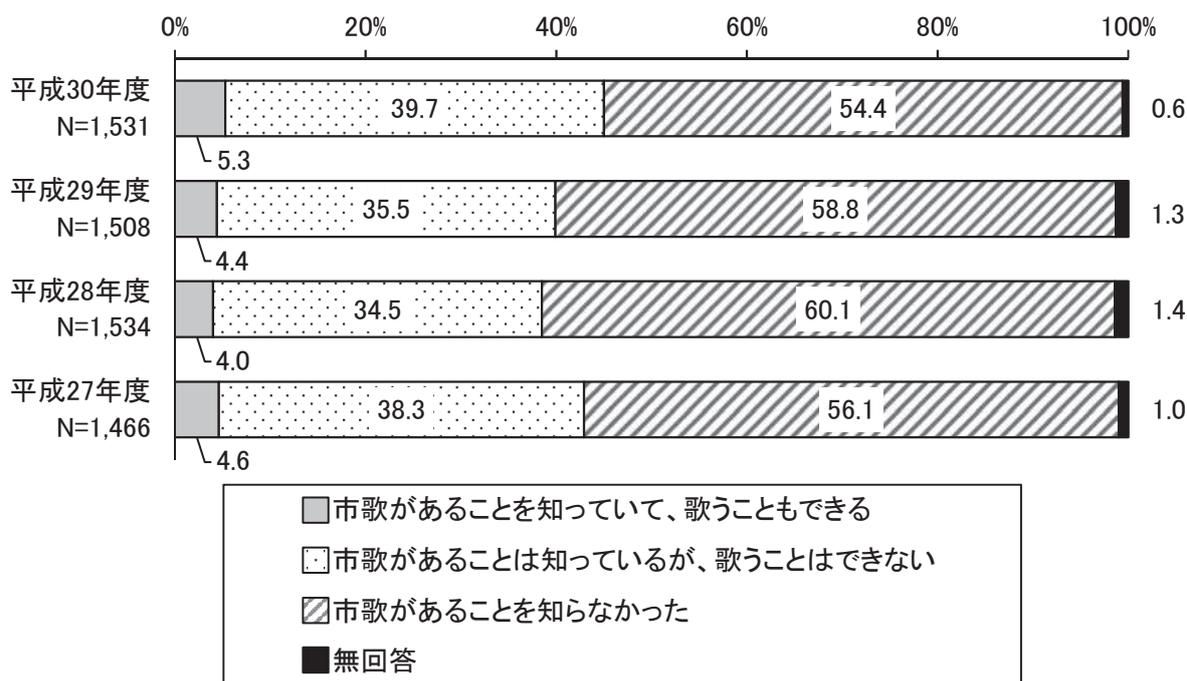
【年齢別】



### 3 浜松市歌について

問4 浜松市では、平成19年、新たに浜松市歌を制定しました。あなたは市歌をご存じですか。また、歌うことができますか。（1つだけ○を付けてください）

「浜松市歌」を知っている人は45.0%

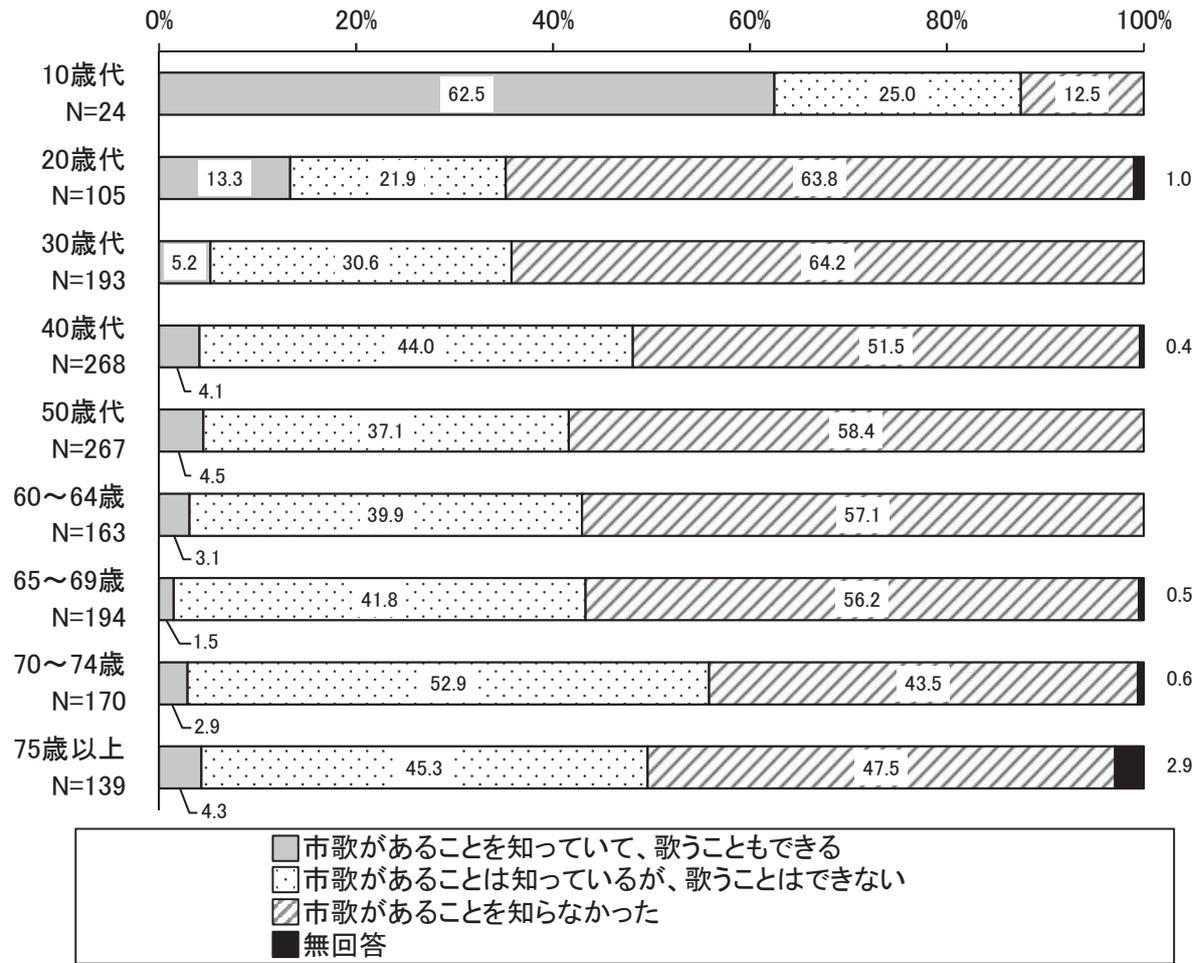


「知っていて、歌うこともできる」は5.3%にとどまったが、「知っているが、歌うことはできない」の39.7%を合わせると45.0%が『知っている』と回答、平成29年度調査と比較すると、5.1ポイント増加した。

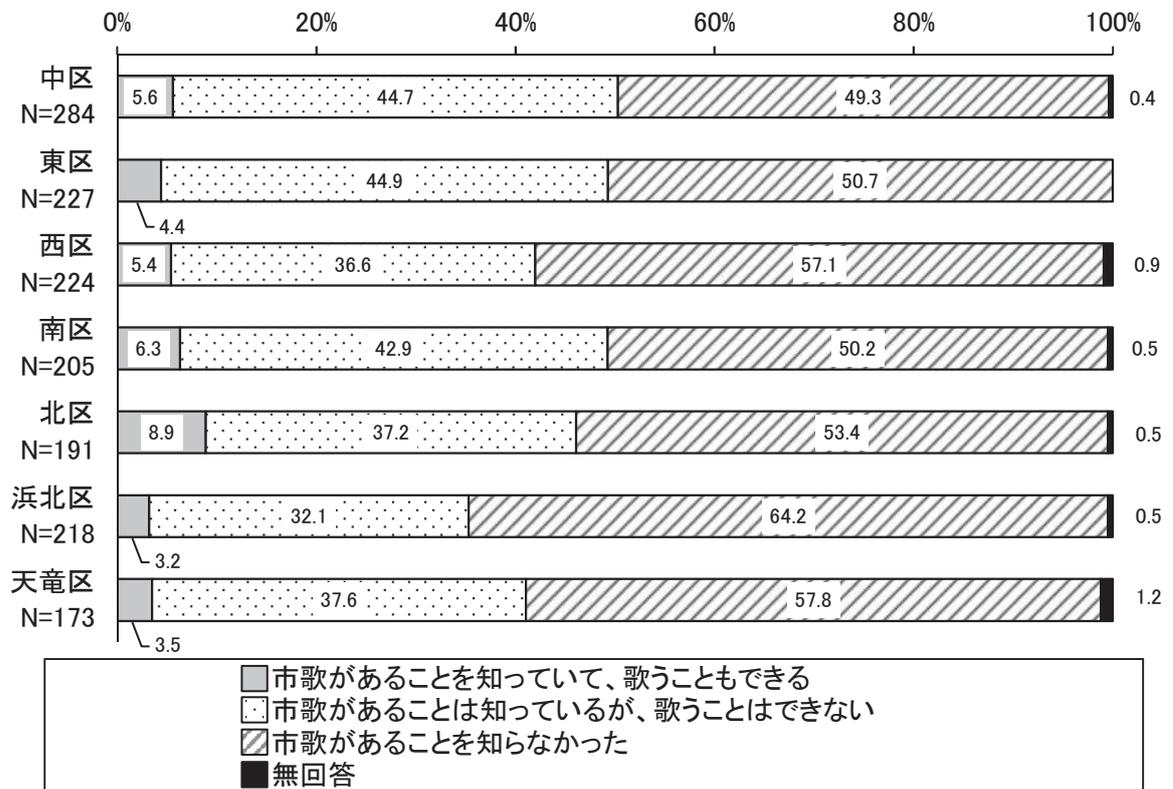
年齢別でみると、10歳代は「知っていて、歌うこともできる」が62.5%、「知っているが、歌うことはできない」(25.0%)を含めると約9割が『知っている』と回答している。他の年齢層では、40歳代以上は4割以上が『知っている』と回答、特に70～74歳は55.8%と高く、平成29年度調査(『知っている』が39.4%)と比較して16.4ポイント増加している。また、40歳代も48.1%、75歳以上も49.6%と約半数が『知っている』と回答している。一方で、20歳代、30歳代は『知っている』が約35%にとどまり、他の年齢層と比較すると認知度は低い結果となった。

行政区別でみると、浜北区を除くすべての区で『知っている』の割合は4割を超えている。中でも、中区(50.3%)、東区(49.3%)、南区(49.2%)の3区については、約5割が『知っている』と回答している。

【年齢別】

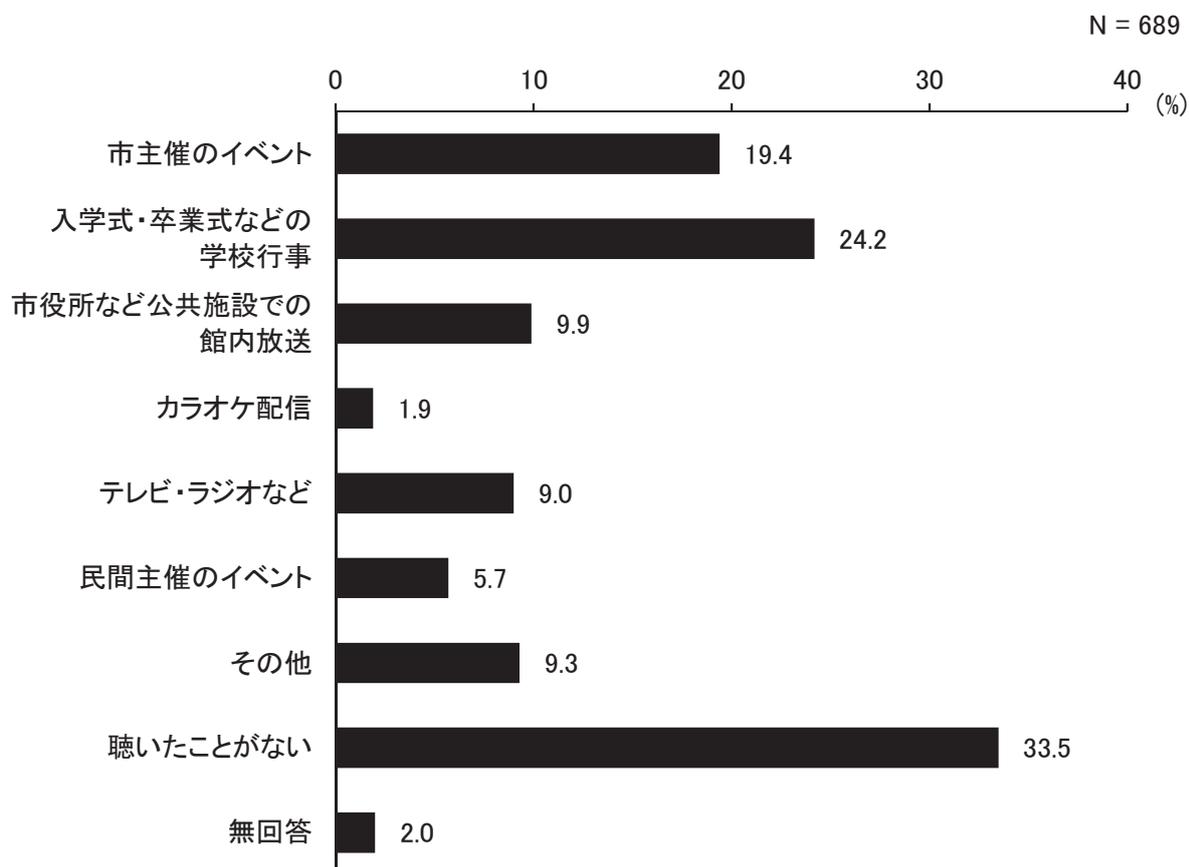


【行政区別】



問5 問4で「1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる」「2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない」とお答えされた方に伺います。市歌をどこかで聞いたことがありますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

学校行事を通じての浸透が有効



「聞いたことがない」を除くと、「入学式・卒業式などの学校行事（子供などが参加している行事を含む）」が24.2%と最も高く、「市主催のイベント」が19.4%と続いている。「その他」（9.3%）の記述欄をみると、「子供や孫が歌っているのを聞いた」というコメントが多く、子供を通じてその親世代や祖父母世代に市歌が浸透していると考えられる。

性別で見ると、「聞いたことがない」を除くと、男性では「市主催のイベント」と「入学式・卒業式などの学校行事」がほぼ同じくらいの割合で高くなっているが、女性では「入学式・卒業式などの学校行事」が最も高く、「市主催のイベント」と比較しても8.4ポイント高かった。

年齢別で見ると、10歳代から64歳までは「入学式・卒業式などの学校行事」の割合が高く、65歳以上では「市主催のイベント」の割合が高い結果となった。

今回の調査結果から、学校教育の場を通じて市歌を知ってもらう機会を増やすことが、全体の認知度を高めるために有効であると考えられるため、引き続き教育委員会や学校と協力し、市歌を広く普及させていきたい。

## 【性別】

(単位：%)

	市主催のイベント	入学式・卒業式などの学校行事	市役所など公共施設での館内放送	カラオケ配信	テレビ・ラジオなど	民間主催のイベント	その他	聞いたことがない	無回答
男 N=253	21.3	20.6	12.3	2.4	11.9	4.0	4.7	34.8	1.2
女 N=380	18.2	26.6	7.9	1.3	6.6	6.1	13.4	33.9	2.4

## 【年齢別】

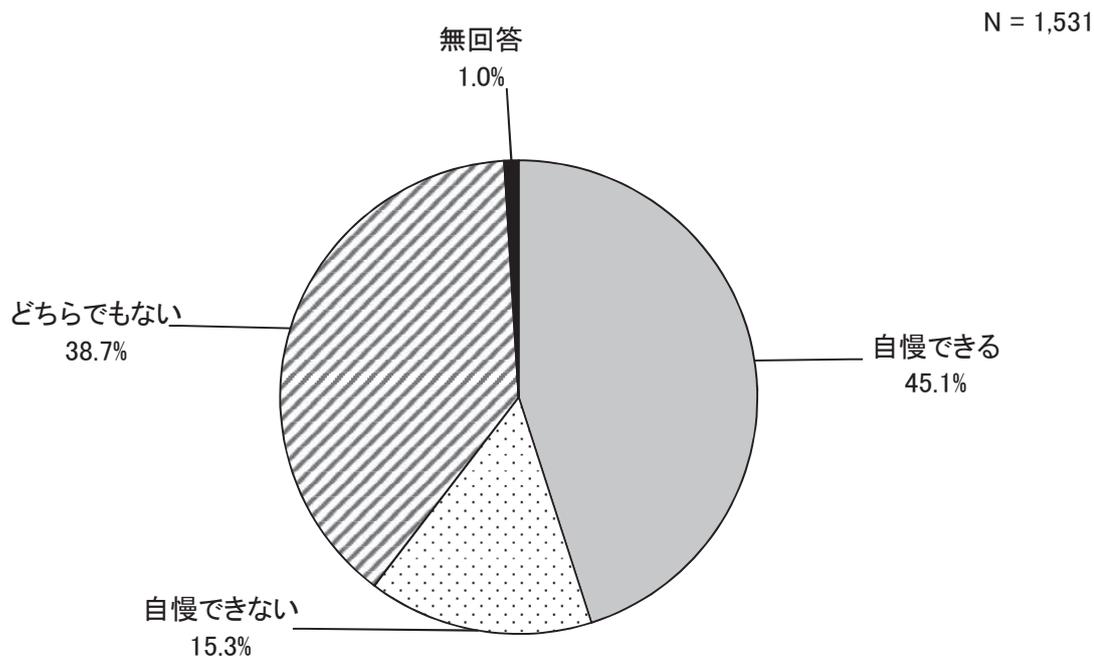
(単位：%)

	市主催のイベント	入学式・卒業式などの学校行事	市役所など公共施設での館内放送	カラオケ配信	テレビ・ラジオなど	民間主催のイベント	その他	聞いたことがない	無回答
10歳代 N=21	14.3	85.7	-	19.0	-	4.8	14.3	-	4.8
20歳代 N=37	18.9	51.4	10.8	13.5	5.4	2.7	16.2	21.6	-
30歳代 N=69	10.1	29.0	15.9	1.4	7.2	4.3	8.7	34.8	-
40歳代 N=129	19.4	32.6	8.5	-	10.1	1.6	11.6	28.7	0.8
50歳代 N=111	18.0	27.9	9.9	1.8	10.8	3.6	8.1	28.8	3.6
60～64歳 N=70	11.4	15.7	12.9	-	15.7	8.6	10.0	38.6	1.4
65～69歳 N=84	17.9	10.7	13.1	-	11.9	9.5	7.1	39.3	1.2
70～74歳 N=95	34.7	11.6	7.4	-	5.3	7.4	6.3	38.9	2.1
75歳以上 N=69	23.2	8.7	5.8	-	5.8	10.1	8.7	43.5	5.8

## 4 観光地としての浜松について

問6 あなたは、浜松市を魅力ある観光地として国内外の友人に自慢できますか。  
(1つだけ○を付けてください)

「自慢できる」が45.1%

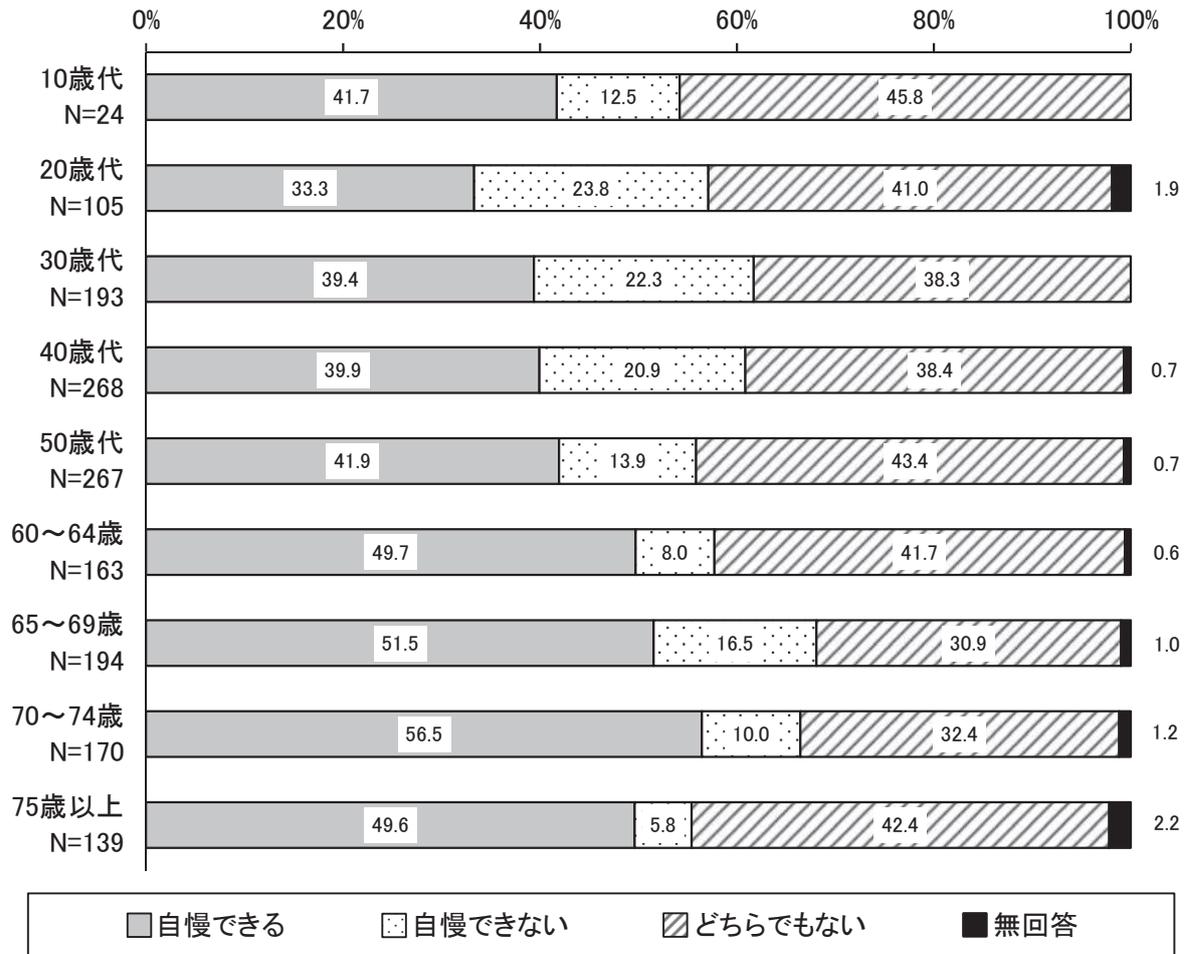


「自慢できる」が45.1%と「自慢できない」の15.3%を29.8ポイント上回った。「どちらでもない」は38.7%だった。

年齢別でみると、いずれの年齢層も「自慢できる」が「自慢できない」を上回った。「自慢できる」の割合は70～74歳が最も高く、次いで65～69歳、60～64歳の順に高かった。最も低かったのは20歳代の33.3%だった。

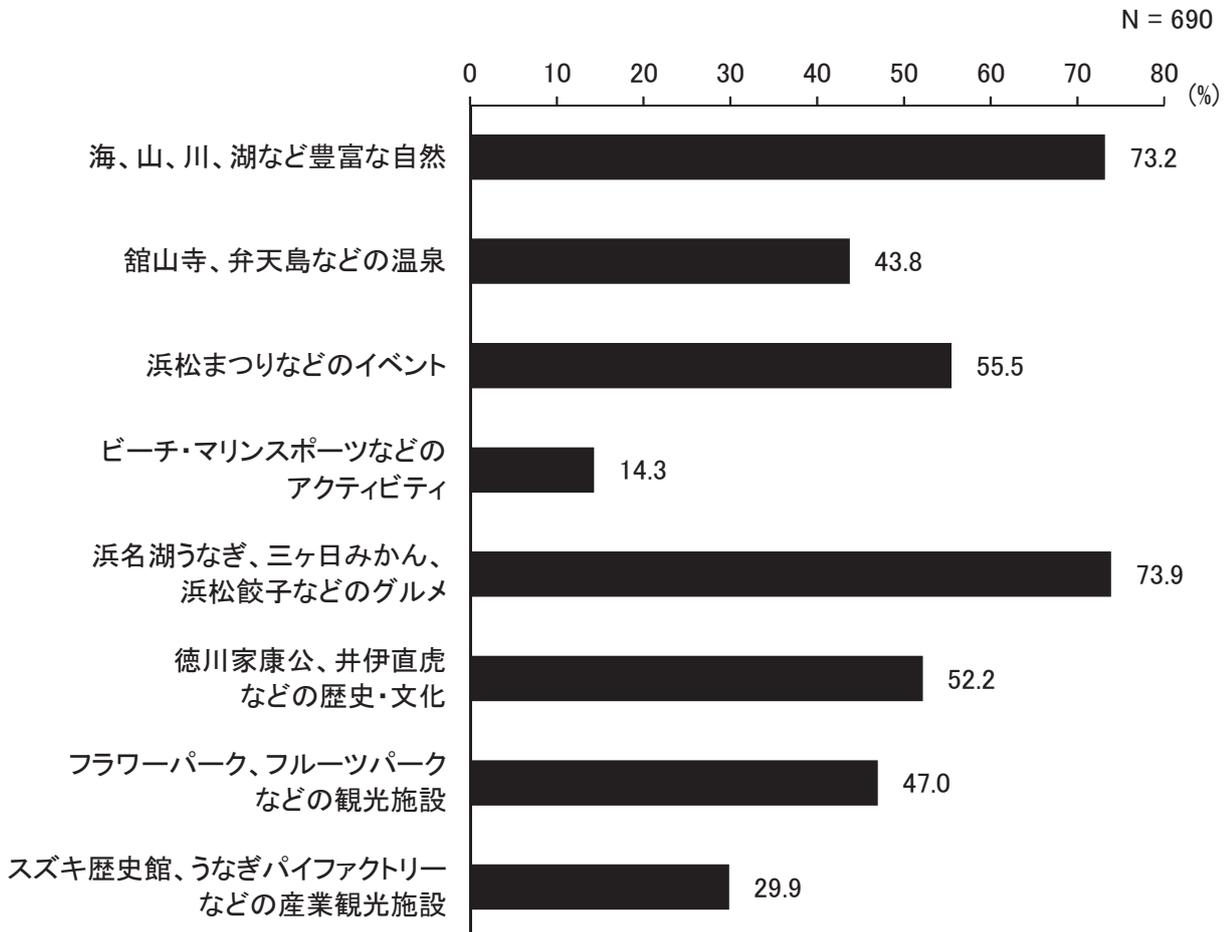
今後は「自慢できない」「どちらでもない」を「自慢できる」にシフトさせる施策が必要である。特に「どちらでもない」を選択している38.7%を「自慢できる」にする取り組みが必要である。

【年齢別】



問7 問6で「1. 自慢できる」とお答えされた方に伺います。どんなところが自慢できると思いますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

グルメと豊富な自然が自慢



「浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ」が 73.9%で最も高く、次いで「海、山、川、湖など豊富な自然」(73.2%)が僅差で続き、この2つの項目が突出して高かった。市域外の観光客に人気の高い「ビーチ・マリンスポーツなどのアクティビティ」と「スズキ歴史館、うなぎパイファクトリーなどの産業観光施設」の回答割合は低かった。

性別でみると、「浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ」は女性の方が高く、「海、山、川、湖など豊富な自然」は男性の方が高かった。

年齢別でみると、「浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ」は年齢が若いほど回答割合も高い傾向がみられ、「海、山、川、湖など豊富な自然」は年齢が高いほど回答割合も高い傾向がみられた(サンプル数が少ない10歳代除く)。

「ビーチ・マリンスポーツなどのアクティビティ」は20歳代の回答割合が2.9%と突出して低かった。

## 【性別】

(単位：%)

	海、山、川、湖など豊富な自然	館山寺、弁天島などの温泉	浜松まつりなどのイベント	ビーチ・マリンスポーツなどのアクティビティ	浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ	徳川家康公、井伊直虎などの歴史・文化	フラワーパーク、フルーツパークなどの観光施設	スズキ歴史館、うなぎパイファクトリーなどの産業観光施設	無回答
男 N=257	74.7	39.3	49.4	15.6	69.3	49.4	38.9	27.2	-
女 N=368	71.2	45.4	59.2	13.0	77.4	53.8	51.6	31.8	-

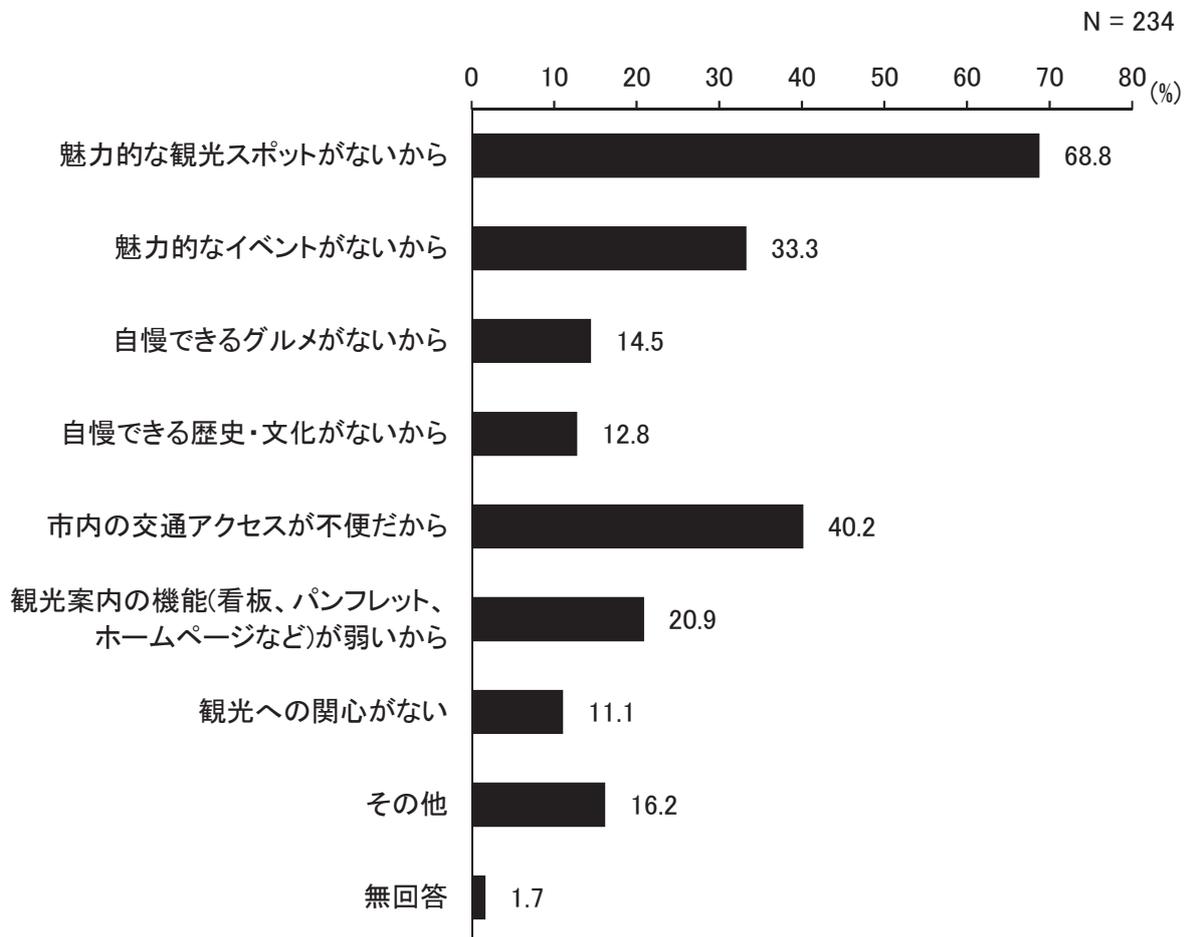
## 【年齢別】

(単位：%)

	海、山、川、湖など豊富な自然	館山寺、弁天島などの温泉	浜松まつりなどのイベント	ビーチ・マリンスポーツなどのアクティビティ	浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ	徳川家康公、井伊直虎などの歴史・文化	フラワーパーク、フルーツパークなどの観光施設	スズキ歴史館、うなぎパイファクトリーなどの産業観光施設	無回答
10歳代 N=10	80.0	30.0	80.0	10.0	90.0	50.0	10.0	30.0	-
20歳代 N=35	57.1	42.9	65.7	2.9	85.7	28.6	31.4	25.7	-
30歳代 N=76	57.9	47.4	44.7	15.8	86.8	46.1	39.5	40.8	-
40歳代 N=107	71.0	37.4	44.9	15.0	71.0	47.7	32.7	32.7	-
50歳代 N=112	75.9	44.6	48.2	23.2	79.5	51.8	41.1	25.0	-
60～64歳 N=81	80.2	42.0	59.3	14.8	77.8	53.1	51.9	35.8	-
65～69歳 N=100	70.0	42.0	65.0	12.0	71.0	56.0	53.0	29.0	-
70～74歳 N=96	80.2	43.8	57.3	11.5	64.6	59.4	64.6	24.0	-
75歳以上 N=69	82.6	55.1	65.2	11.6	62.3	63.8	60.9	24.6	-

問8 問6で「2. 自慢できない」とお答えされた方に伺います。自慢できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

自慢できない理由は「魅力的な観光スポットがないから」



「魅力的な観光スポットがないから」が68.8%と突出して高かった。次いで「市内の交通アクセスが不便だから」(40.2%)、「魅力的なイベントがないから」(33.3%)の順に高かった。

性別でみると、「自慢できるグルメがないから」は男性の方が5ポイント以上高く、「自慢できる歴史・文化がないから」、「市内の交通アクセスが不便だから」「観光案内の機能(看板、パンフレット、ホームページなど)が弱いから」は女性の方が5ポイント以上高かった。

年齢別でみると、「魅力的な観光スポットがないから」の回答割合が最も高かったのは50歳代(83.8%)だった。

## 【性別】

(単位：%)

	魅力的な観光スポットがないから	魅力的なイベントがないから	自慢できるグルメがないから	自慢できる歴史・文化がないから	市内の交通アクセスが不便だから	観光案内の機能(看板、パンフレット、ホームページなど)が弱いから	観光への関心がない	その他	無回答
男 N=122	68.9	32.8	17.2	9.8	31.1	17.2	12.3	16.4	3.3
女 N=94	70.2	33.0	11.7	16.0	53.2	27.7	7.4	17.0	-

## 【年齢別】

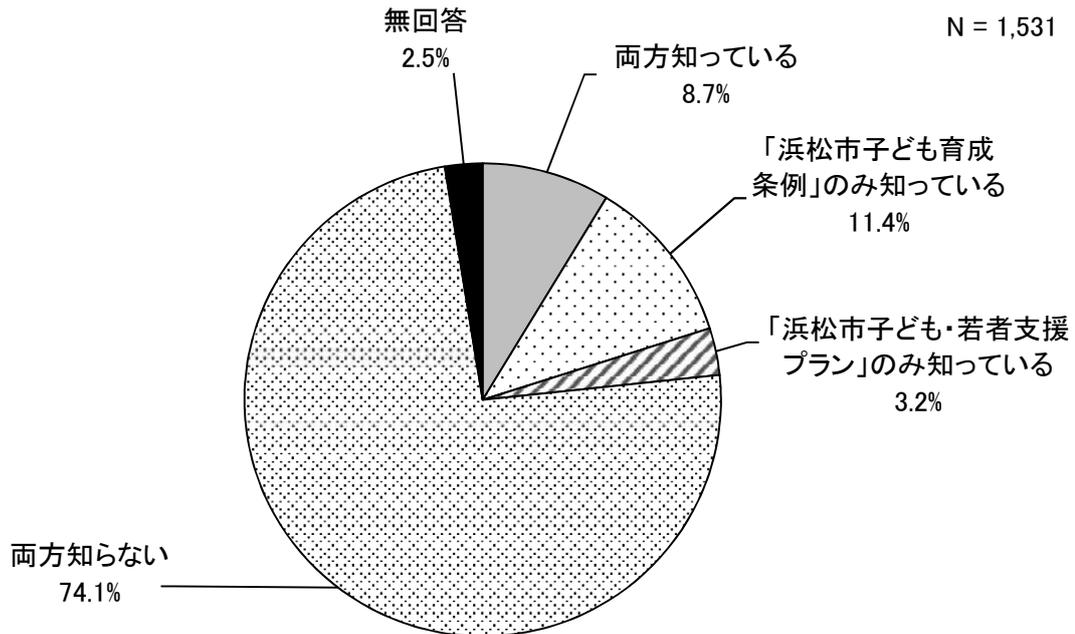
(単位：%)

	魅力的な観光スポットがないから	魅力的なイベントがないから	自慢できるグルメがないから	自慢できる歴史・文化がないから	市内の交通アクセスが不便だから	観光案内の機能(看板、パンフレット、ホームページなど)が弱いから	観光への関心がない	その他	無回答
10歳代 N=3	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-
20歳代 N=25	72.0	40.0	4.0	8.0	44.0	20.0	16.0	8.0	-
30歳代 N=43	72.1	30.2	14.0	7.0	48.8	30.2	11.6	18.6	-
40歳代 N=56	67.9	30.4	14.3	12.5	35.7	14.3	5.4	21.4	3.6
50歳代 N=37	83.8	40.5	18.9	8.1	51.4	21.6	8.1	8.1	-
60～64歳 N=13	61.5	30.8	7.7	15.4	38.5	7.7	-	30.8	15.4
65～69歳 N=32	59.4	31.3	9.4	25.0	34.4	25.0	12.5	18.8	-
70～74歳 N=17	58.8	35.3	29.4	23.5	29.4	29.4	29.4	5.9	-
75歳以上 N=8	62.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	-

## 5 子育て支援について

問9 あなたは、「浜松市子ども育成条例」と「浜松市子ども・若者支援プラン」をご存じですか。（1つだけ○を付けてください）

「両方知っている」は8.7%



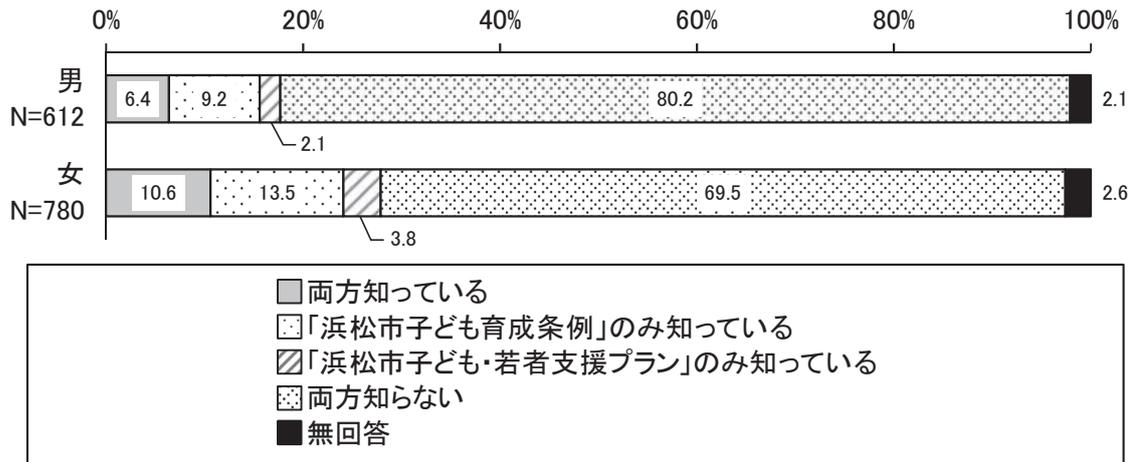
「両方知っている」は8.7%にとどまり、「両方知らない」が74.1%と大勢を占めた。「浜松市子ども育成条例」の認知度は20.1%、「浜松市子ども・若者支援プラン」の認知度は11.9%となった。

性別でみると、「浜松市子ども育成条例」「浜松市子ども・若者支援プラン」のいずれも女性の認知度が高かった。男性は「両方知らない」が80.2%と、女性よりも10.7ポイント高かった。

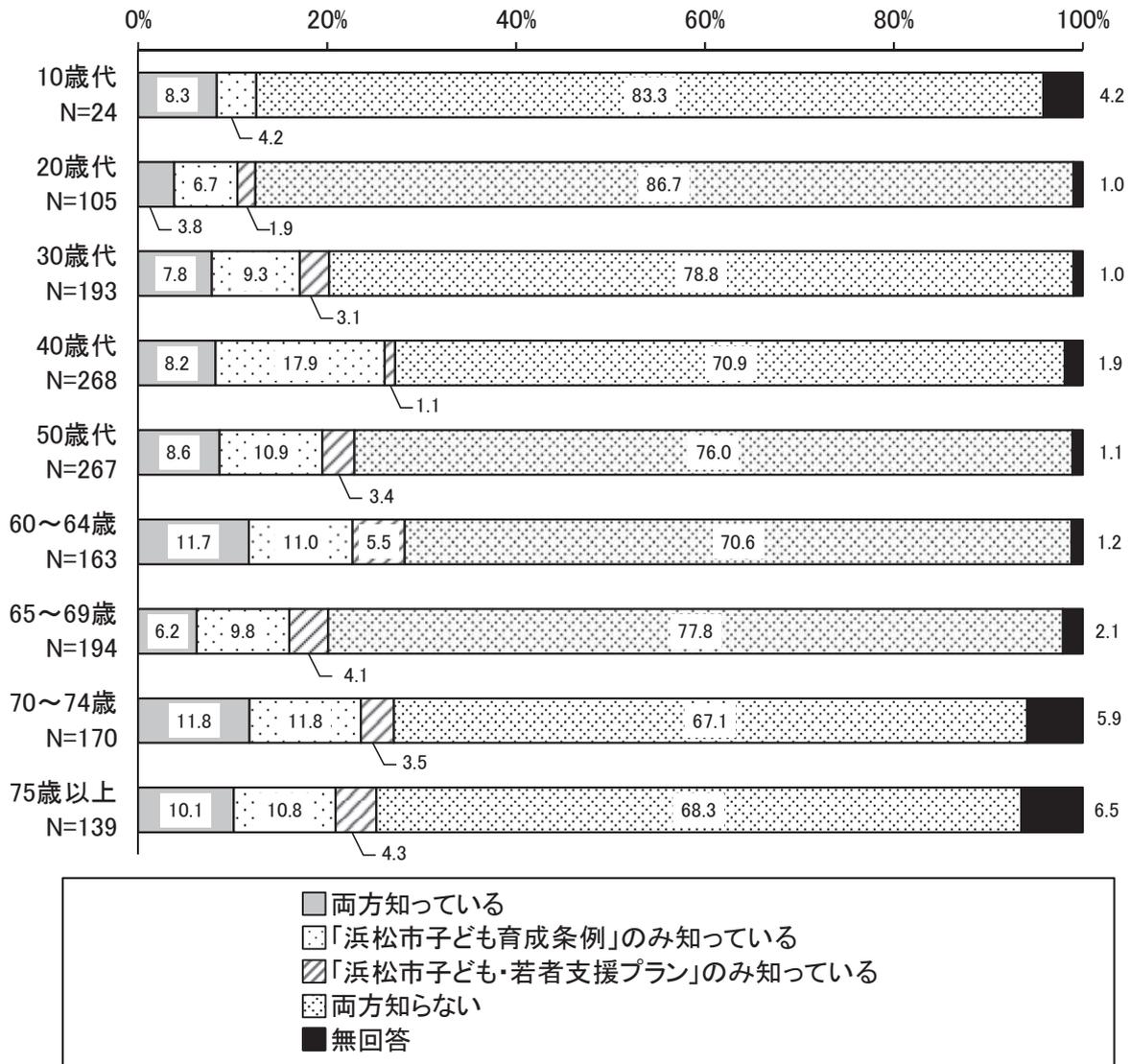
年齢別でみると、いずれの年齢層も「両方知らない」が最も高かった。「浜松市子ども育成条例」「浜松市子ども・若者支援プラン」の認知度を比較すると、いずれの年齢層も「浜松市子ども育成条例」の方が認知度が高かった。

子育て中の人が多い（31ページ参照）、30歳代と40歳代をみると、30歳代は「浜松市子ども育成条例」「浜松市子ども・若者支援プラン」のいずれも全体の回答よりも認知度が低かった。40歳代は全体の回答と比較して、「浜松市子ども育成条例」の認知度は高かったものの、「浜松市子ども・若者支援プラン」の認知度は低かった。

【性別】

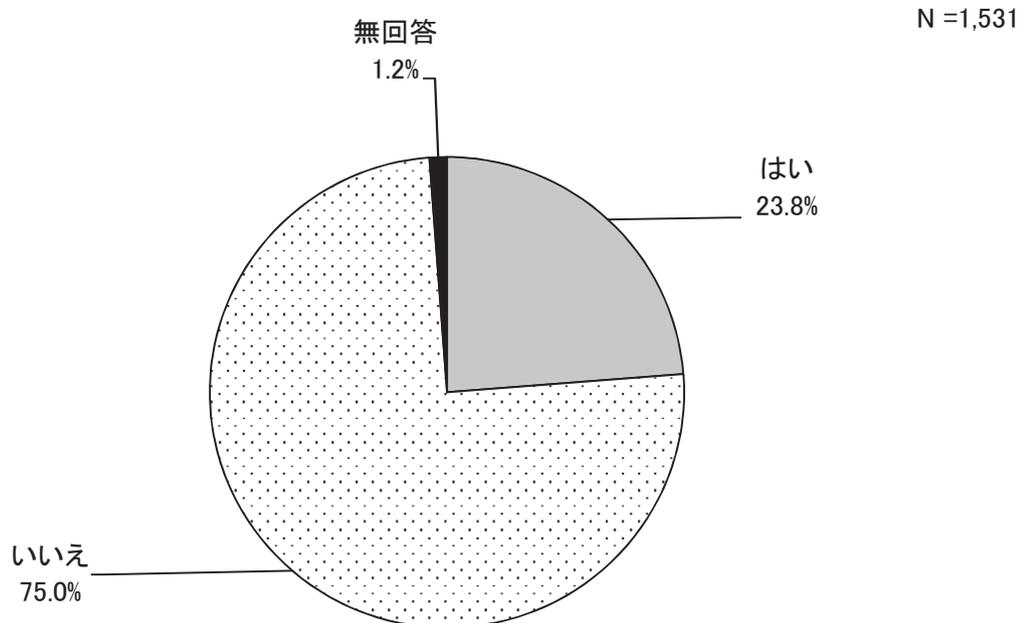


【年齢別】



問 10 現在、あなたは18歳までの子供を子育て中ですか。(1つだけ○を付けてください)

子育て中の方は 23.8%



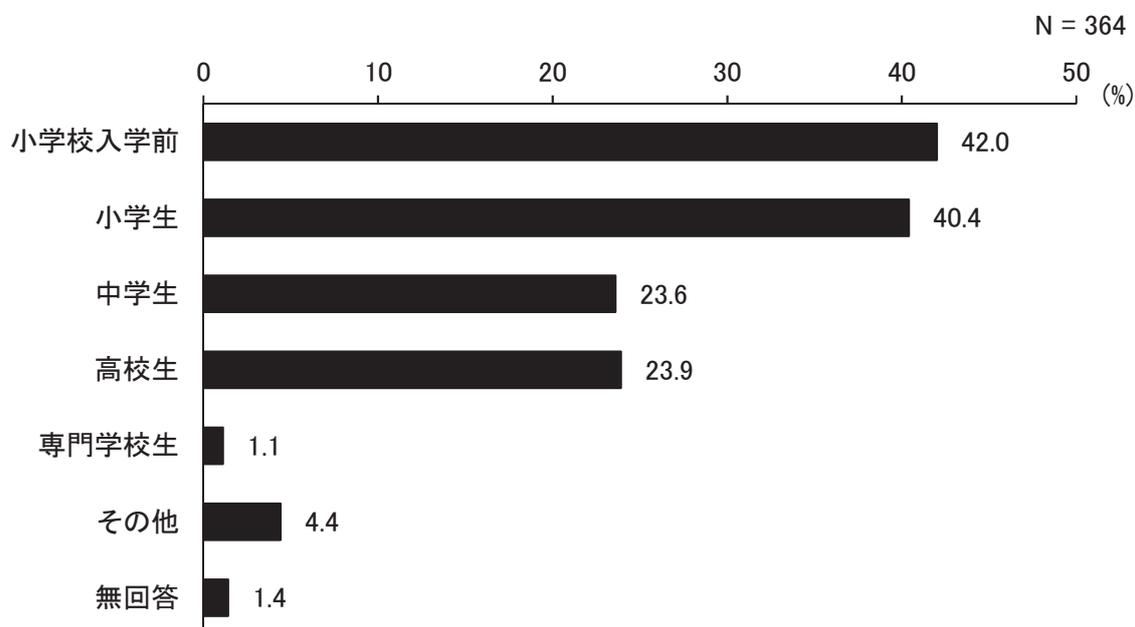
「はい」は 23.8% だった。年齢別で見ると、30 歳代、40 歳代は「はい」の回答割合が 6 割を超えている。

【年齢別】 (単位：%)

	はい	いいえ	無回答
10歳代 N=24	-	100.0	-
20歳代 N=105	14.3	84.8	1.0
30歳代 N=193	65.3	33.2	1.6
40歳代 N=268	63.1	36.6	0.4
50歳代 N=267	15.4	84.3	0.4
60～64歳 N=163	3.1	95.7	1.2
65～69歳 N=194	0.5	98.5	1.0
70～74歳 N=170	0.6	97.6	1.8
75歳以上 N=139	2.2	95.0	2.9

問11 問10で「1. はい」とお答えされた方に伺います。あなたの子供は下記のどれに該当しますか。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

20歳代と30歳代は「小学校入学前」、40歳代は「小学生」の子供が多い



「小学校入学前」が42.0%で最も高く、次いで「小学生」が40.4%で高かった。

年齢別でみると、20歳代と30歳代は「小学校入学前」、40歳代は「小学生」、50歳代は「高校生」の割合が高かった。

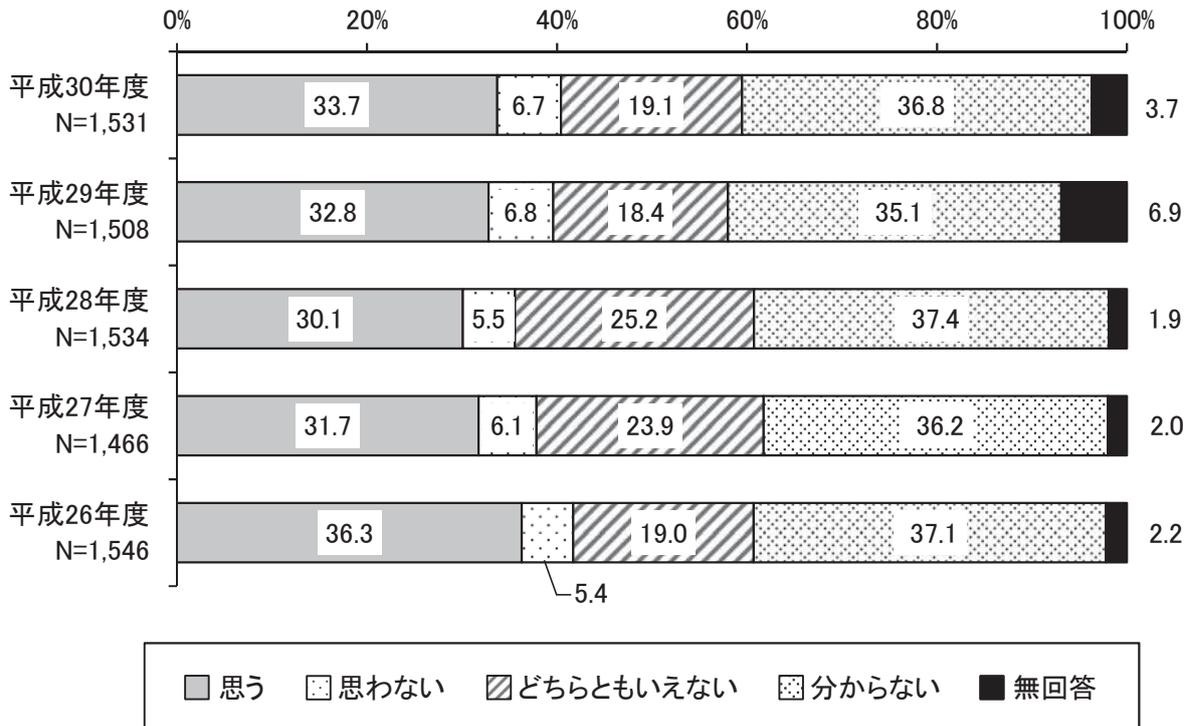
【年齢別】

(単位：%)

	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校生	その他	無回答
10歳代 N=0	-	-	-	-	-	-	-
20歳代 N=15	93.3	13.3	-	-	-	6.7	-
30歳代 N=126	70.6	42.9	11.9	5.6	-	3.2	0.8
40歳代 N=169	23.7	49.1	33.1	31.4	1.2	1.8	1.8
50歳代 N=41	9.8	17.1	31.7	58.5	2.4	9.8	2.4
60～64歳 N=5	40.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-
65～69歳 N=1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
70～74歳 N=1	100.0	-	-	-	-	-	-
75歳以上 N=3	-	-	33.3	33.3	33.3	66.7	-

問 12 浜松市では、保育所整備、子育て支援ひろば、子供の医療費助成など子育てに関する支援を行っています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。（1つだけ○を付けてください）

市の支援により子育てがしやすくなっていると思う人は 33.7%

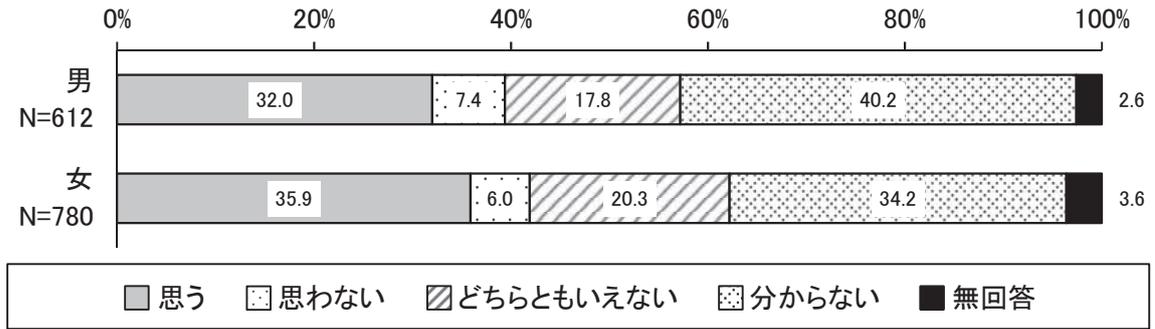


子育てがしやすくなっていると「思う」が 33.7%となり、「思わない」の 6.7%を 27.0ポイント上回った。過去の調査と比較すると、平成 26 年度調査から平成 28 年度調査まで「思う」の割合は年々低下していたが、平成 28 年度調査を底として、2年連続で「思う」の割合が上昇、過去 5 年間の調査で 2 番目に高い割合となった。

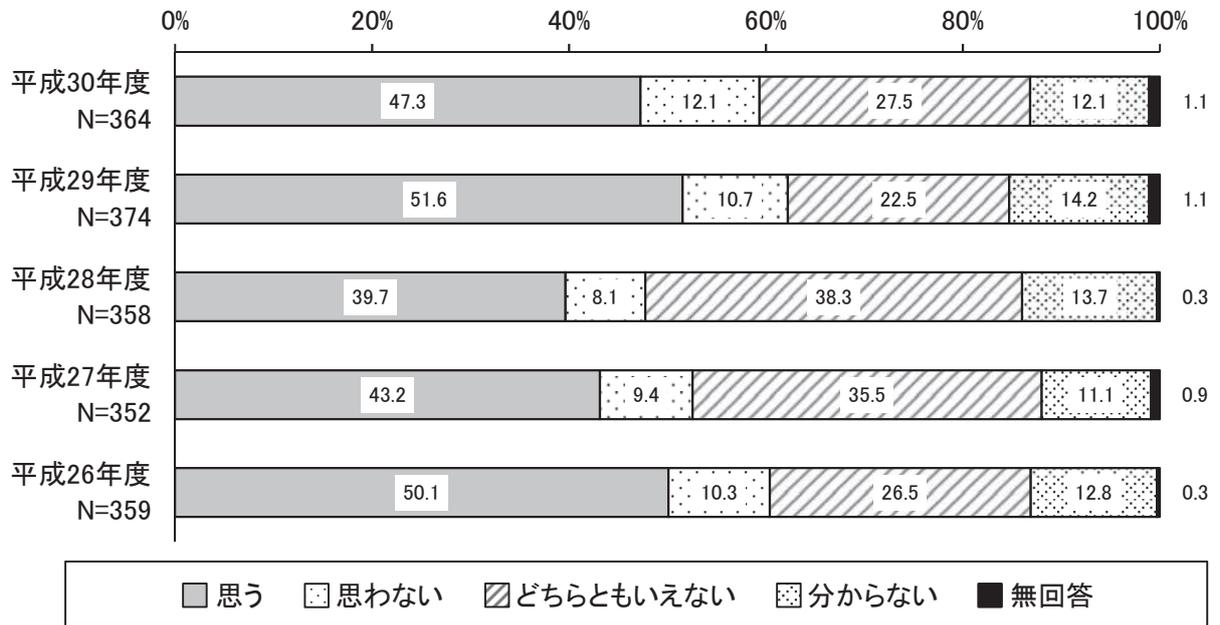
性別で見ると、「思う」の回答割合は男性が 32.0%、女性が 35.9%となり、女性の方が 3.9ポイント高かった。

問 10 で「子育て中である」と回答した層は、「思う」の回答割合が 47.3%と全体の結果よりも 13.6ポイント高かった。過去の調査と比較すると、平成 29 年度調査から「思う」の割合は 4.3ポイント低下、「思わない」は 1.4ポイント上昇した。

【性別】

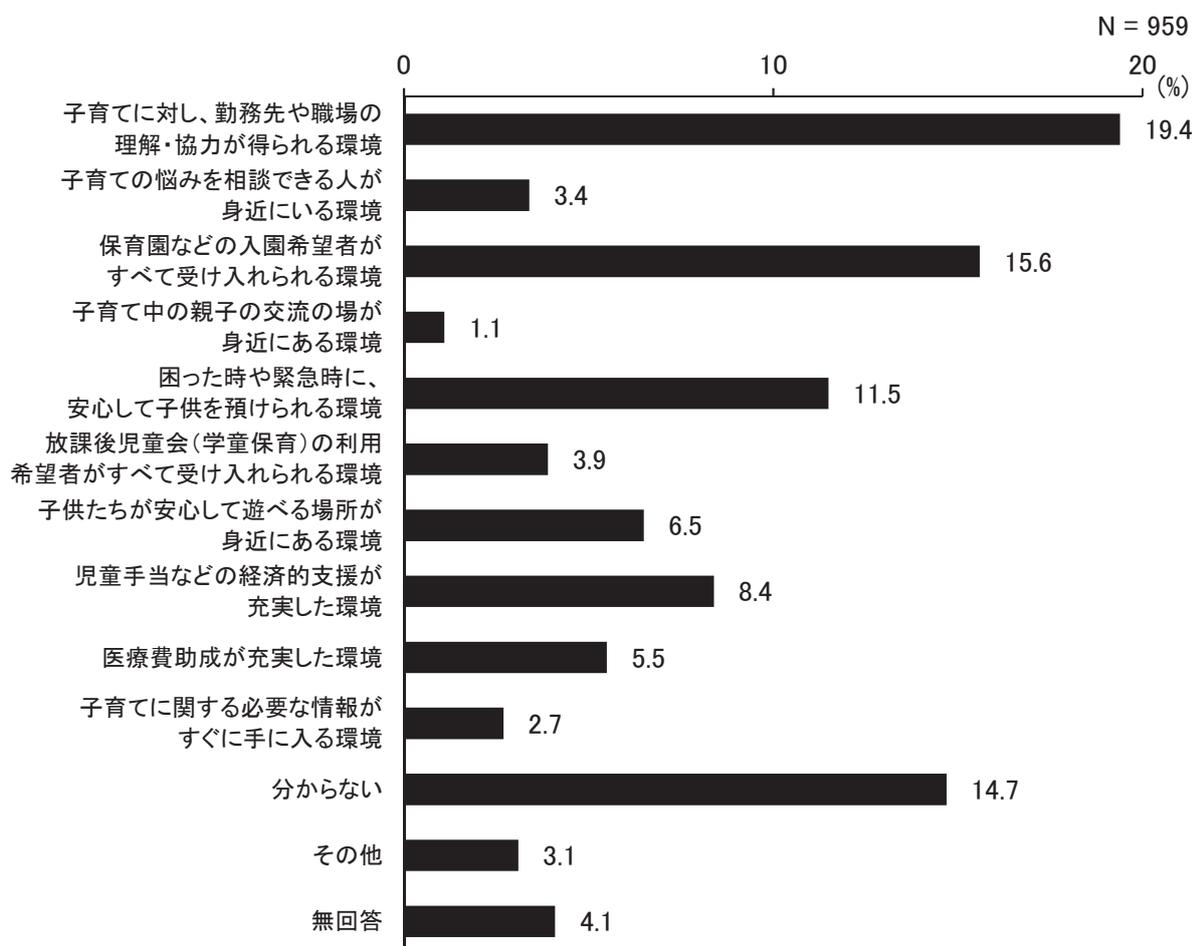


【子育て中の人の回答】



問13 問12で「2. 思わない」「3. どちらともいえない」「4. 分からない」とお答えされた方に伺います。どのような環境が整えば子育てがしやすくなったと感じると思いますか。（1つだけ○を付けてください）

勤務先や職場の理解・協力と制度面での環境整備が必要

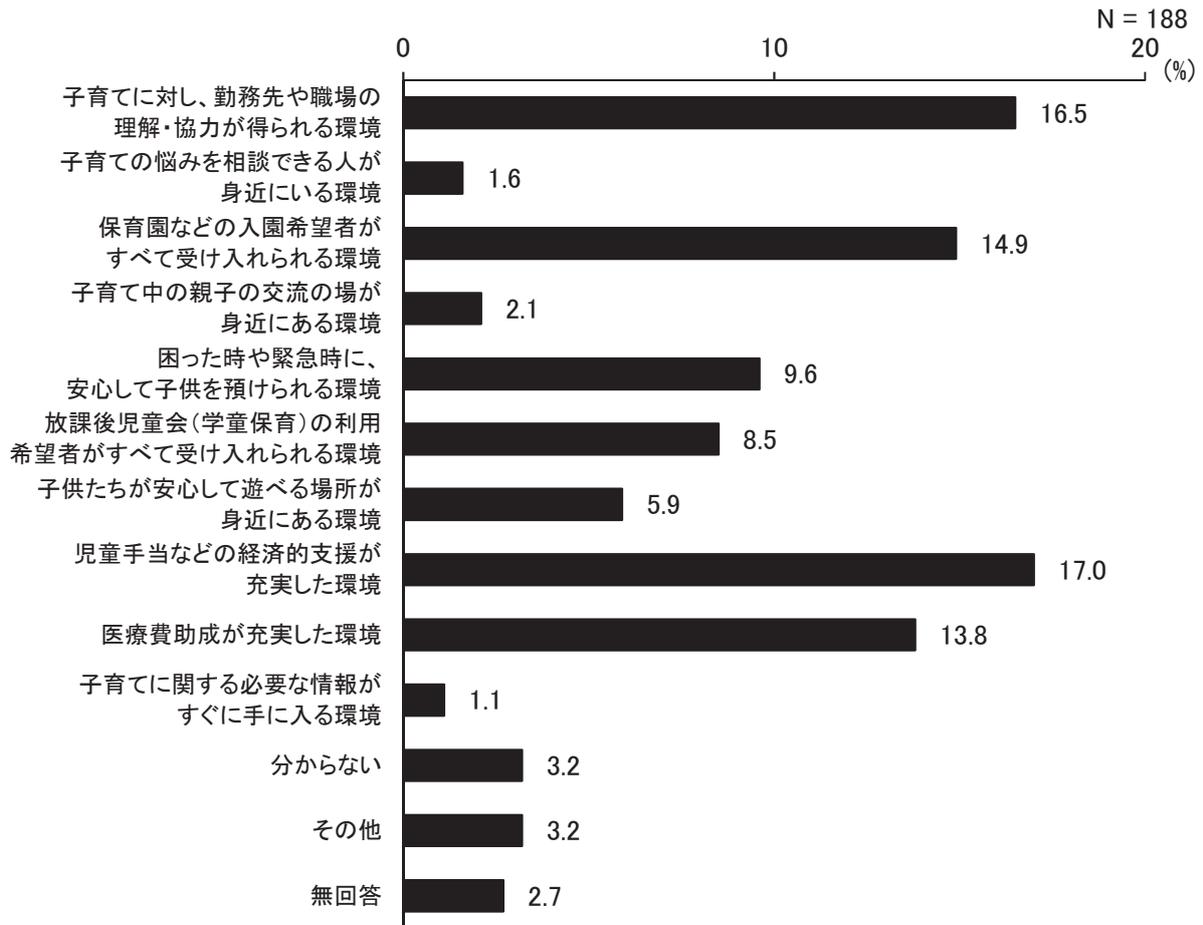


「子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境」が19.4%で最も高く、次いで「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境」が15.6%で高かった。

問10で「子育て中である」と回答した層は、「児童手当などの経済的支援が充実した環境」(17.0%)が高くなり、次いで「子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境」(16.5%)、「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境」(14.9%)、「医療費助成が充実した環境」(13.8%)が高かった。全体の回答と比較すると、「児童手当などの経済的支援が充実した環境」は8.6ポイント、「医療費助成が充実した環境」は8.3ポイント、「子育て中である」と回答した層の方が高かった。

問11でたずねた子育て中の子供の教育段階別にみると、小学校入学前は「保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境」が最も高かった。小学生と中学生は「児童手当などの経済的支援が充実した環境」、高校生は「医療費助成が充実した環境」が最も高くなっており、子供の成長とともに、子育て環境へのニーズも変化している。

【子育て中の人の回答】



【子供の教育段階別】

(単位：%)

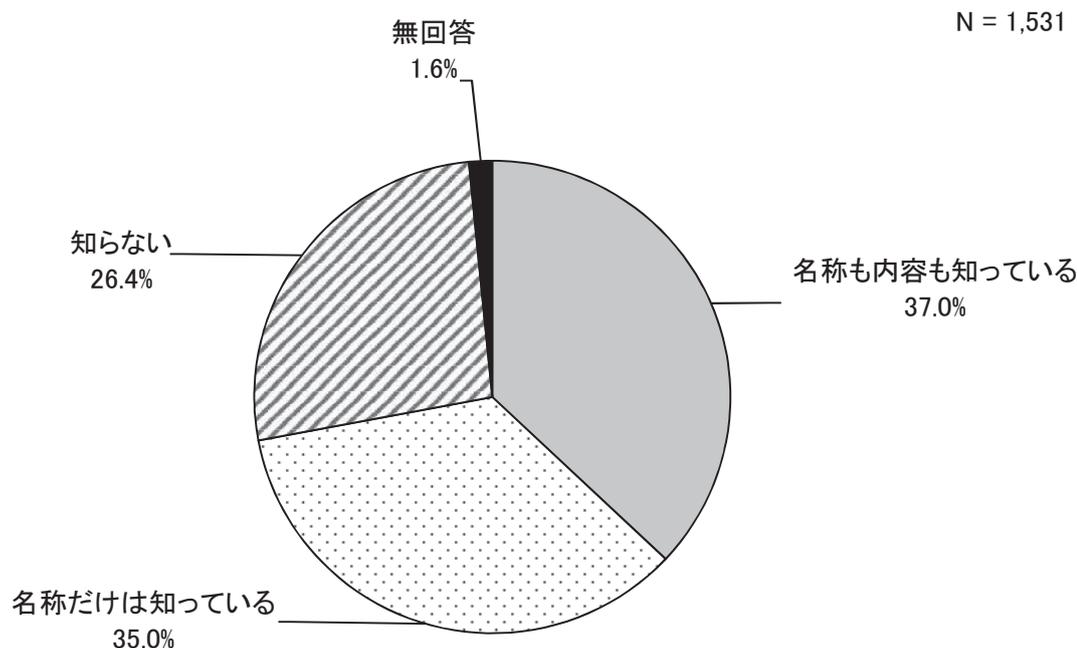
	子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境	子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境	保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境	子育て中の親子の交流の場が身近にある環境	困った時や緊急時に、安心して子供を預けられる環境	放課後児童会(学童保育)の利用希望者がすべて受け入れられる環境	子供たちが安心して遊べる場所が身近にある環境	児童手当などの経済的支援が充実した環境	医療費助成が充実した環境	子育てに関する必要な情報がすぐに手に入る環境	分からない	その他	無回答
小学校入学前 N=78	16.7	-	20.5	2.6	14.1	9.0	5.1	15.4	9.0	1.3	2.6	2.6	1.3
小学生 N=81	14.8	2.5	4.9	3.7	13.6	12.3	8.6	18.5	12.3	1.2	1.2	2.5	3.7
中学生 N=44	11.4	-	13.6	-	4.5	4.5	9.1	27.3	22.7	-	6.8	-	-
高校生 N=44	15.9	2.3	11.4	2.3	4.5	2.3	2.3	22.7	25.0	-	2.3	6.8	2.3
専門学校生 N=2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-
その他 N=10	20.0	-	20.0	-	-	10.0	-	10.0	20.0	-	10.0	-	10.0

## 6 ユニバーサルデザインについて

問 14 あなたはユニバーサルデザイン※を知っていますか？（1つだけ○を付けてください）

※ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全で安心、快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていかこうとする考え方のことです。

「ユニバーサルデザイン」の『認知度』は 72.0%

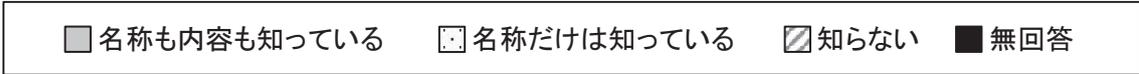
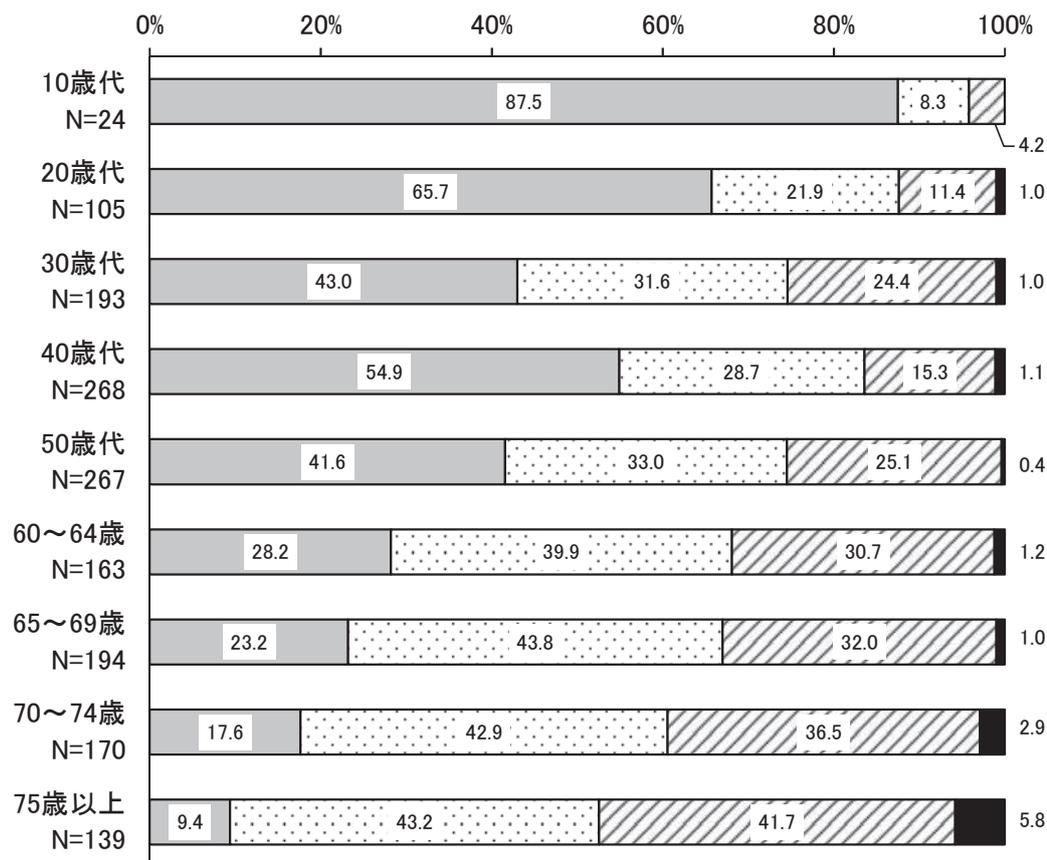


「名称も内容も知っている」は 37.0%で、「名称だけは知っている」（35.0%）を合わせた『認知度』は 72.0%となった。

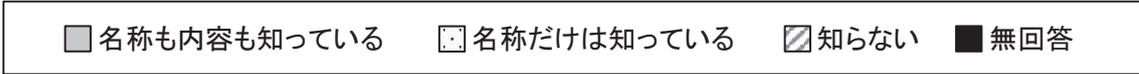
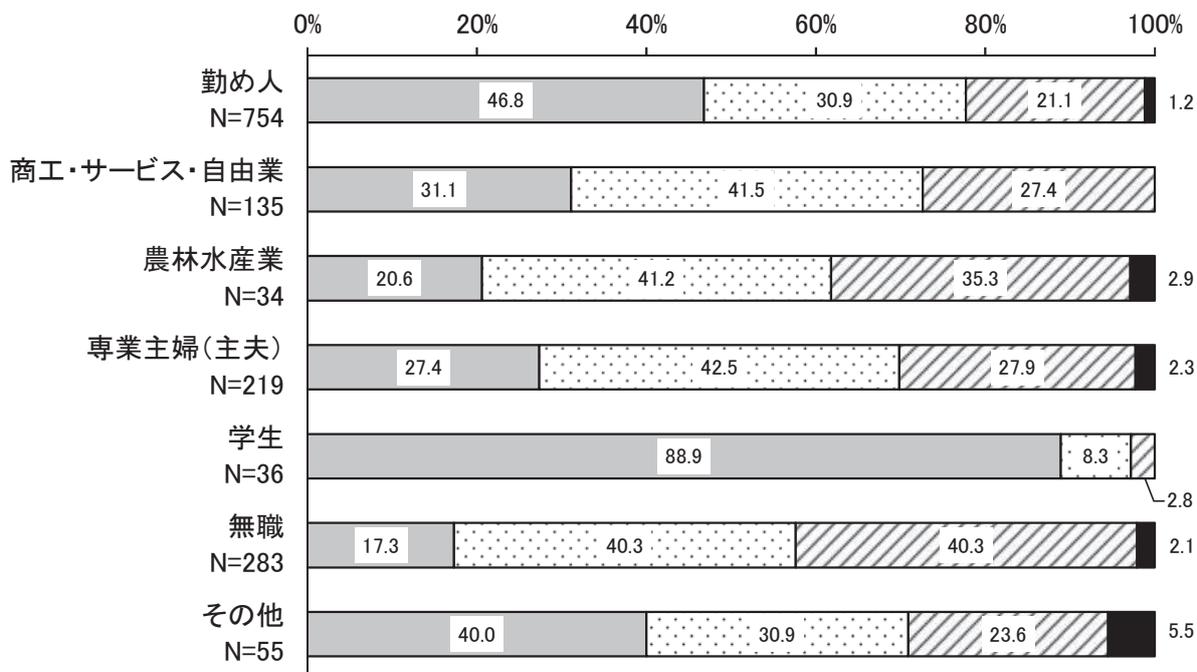
年齢別でみると、「名称も内容も知っている」の回答割合は 10 歳代が 87.5%、20 歳代が 65.7%と他の世代と比べて高くなった。これは、学校教育においてユニバーサルデザイン学習を継続的に取り入れた成果であると考えられる。また、30歳代から50歳代についても40%以上となっており、子供を通じて、その親世代にも浸透してきていると推察される。

職業別でみると、「名称も内容も知っている」の回答割合は、学生が 88.9%と最も高く、次いで勤め人の 46.8%となった。

【年齢別】

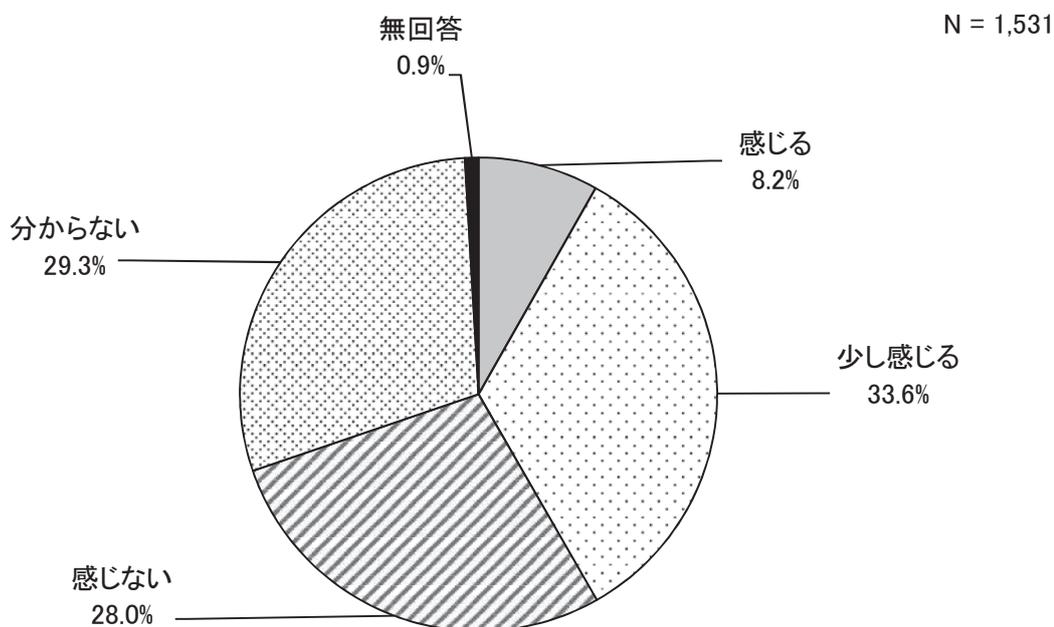


【職業別】



問 15 あなたは、バスや電車で席をゆずる、困っている人がいたら声かけをするなど、思いやりのある行動をする人が増えていると感じますか。(1つだけ○を付けてください)

『思いやりのある行動をする人が増えていると感じる』人は41.8%

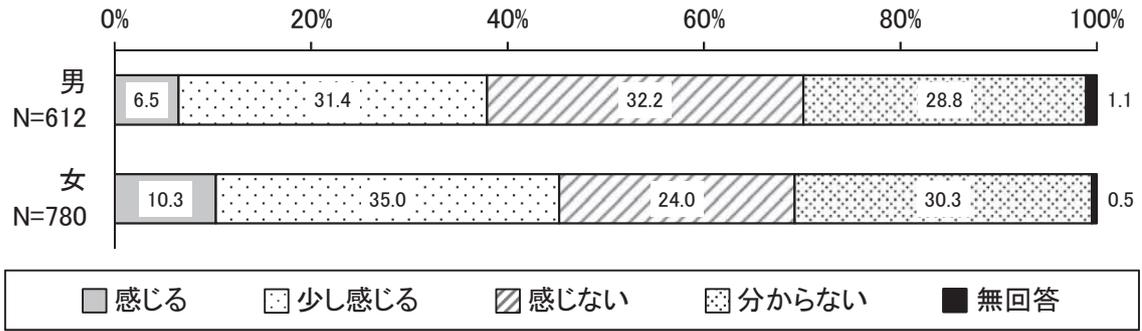


思いやりのある行動をする人が増えていると「感じる」割合は 8.2%で、「少し感じる」(33.6%)と合わせ、41.8%の人が『思いやりのある行動をする人が増えていると感じる』と回答した。

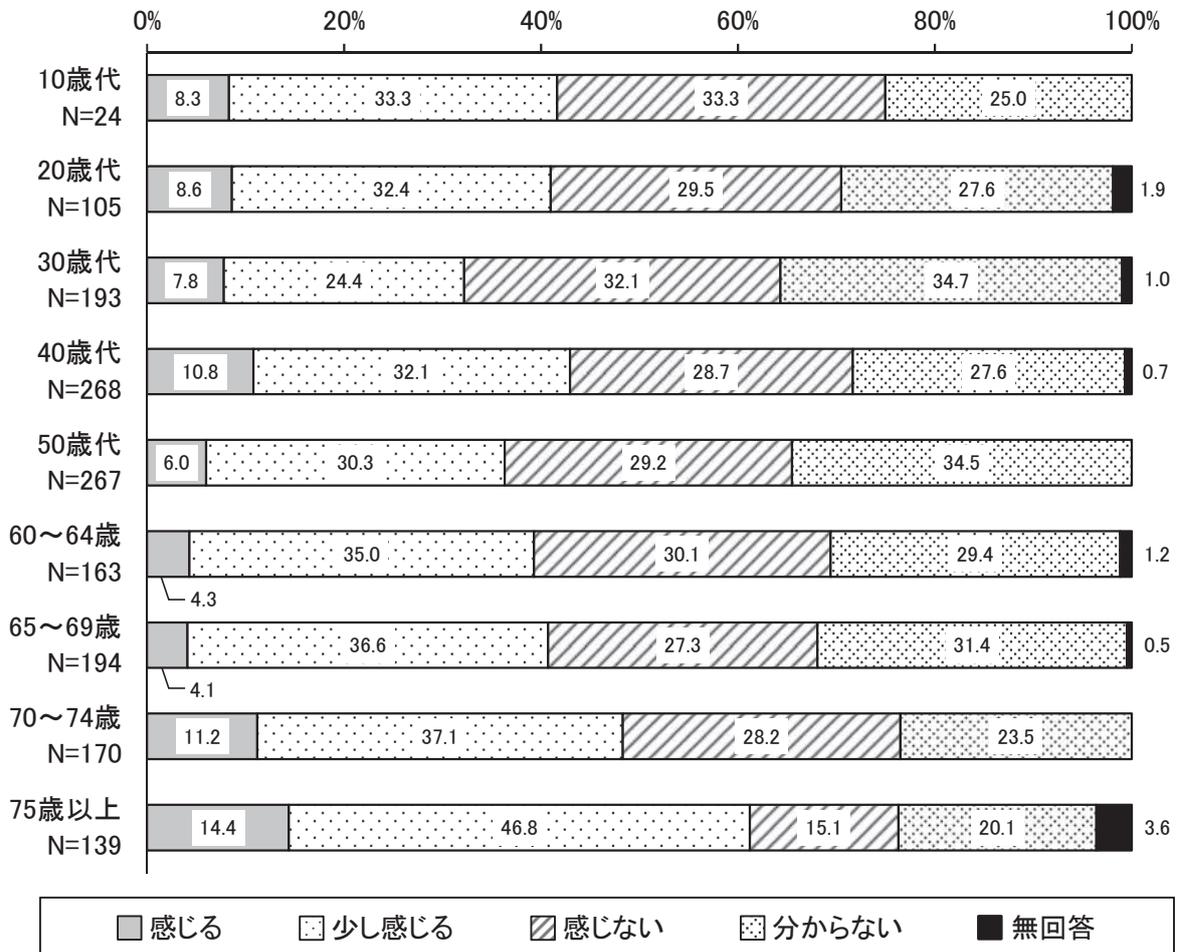
性別でみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた回答割合は、男性が 37.9%、女性が 45.3%となり、女性が男性を 7.4 ポイント上回った。

年齢別でみると、「感じる」と「少し感じる」を合わせた回答割合は、75 歳以上が 61.2%で最も高く、次いで 70~74 歳の 48.3%となった。

【性別】

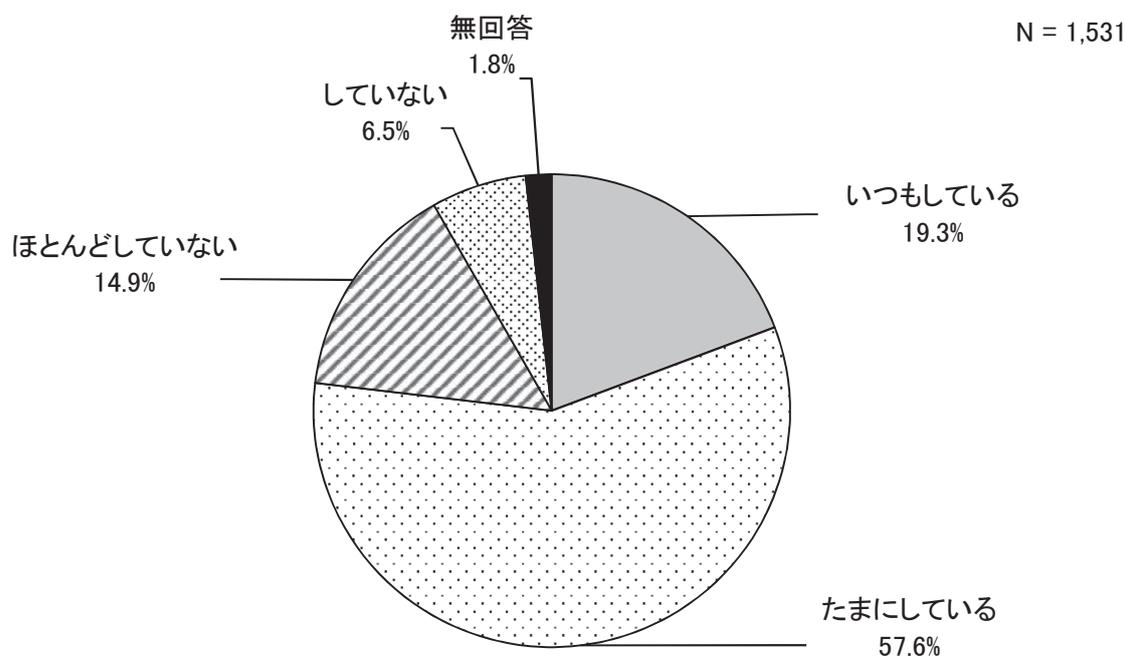


【年齢別】



問 16 あなた自身は、問 15 のような思いやりのある行動をしていますか。  
(1つだけ○を付けてください)

『思いやりのある行動をしている』と回答した人は 76.9%

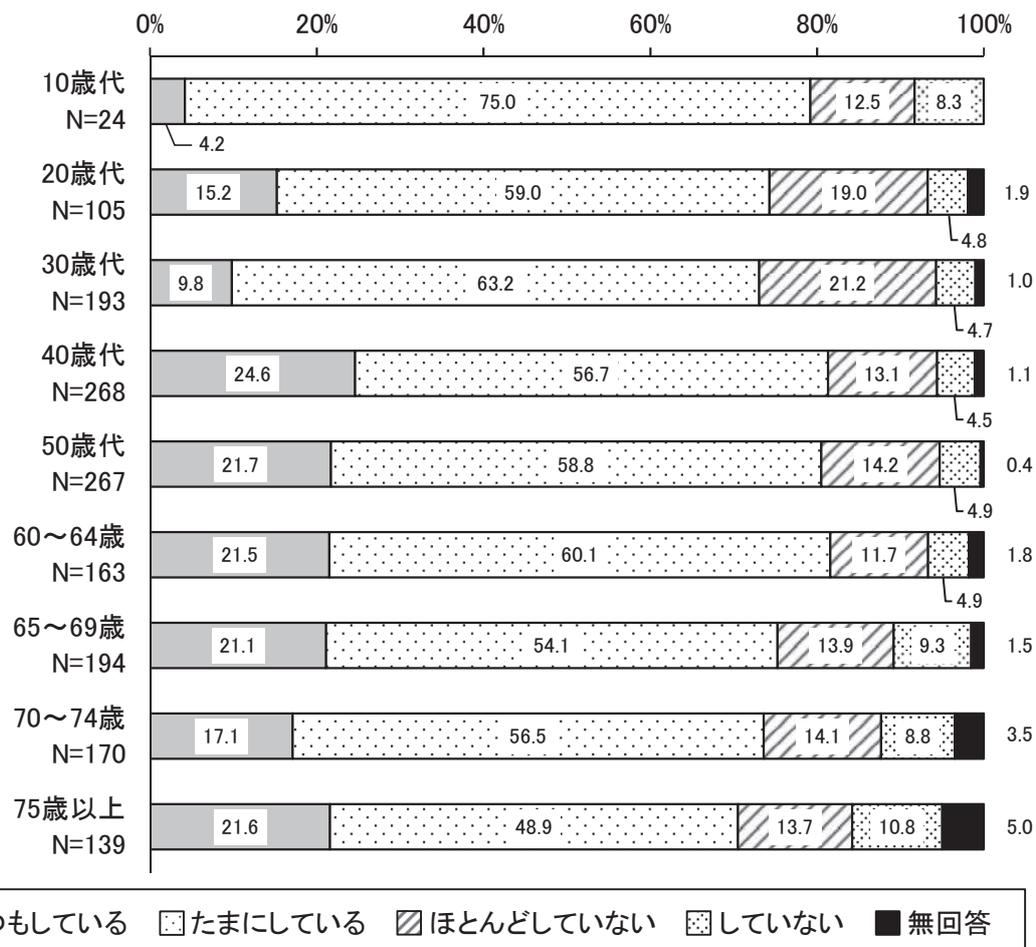


思いやりのある行動を「いつもしている」は 19.3%で、「たまにしている」(57.6%) と合わせると 76.9%の人が『思いやりのある行動をしている』と回答した。

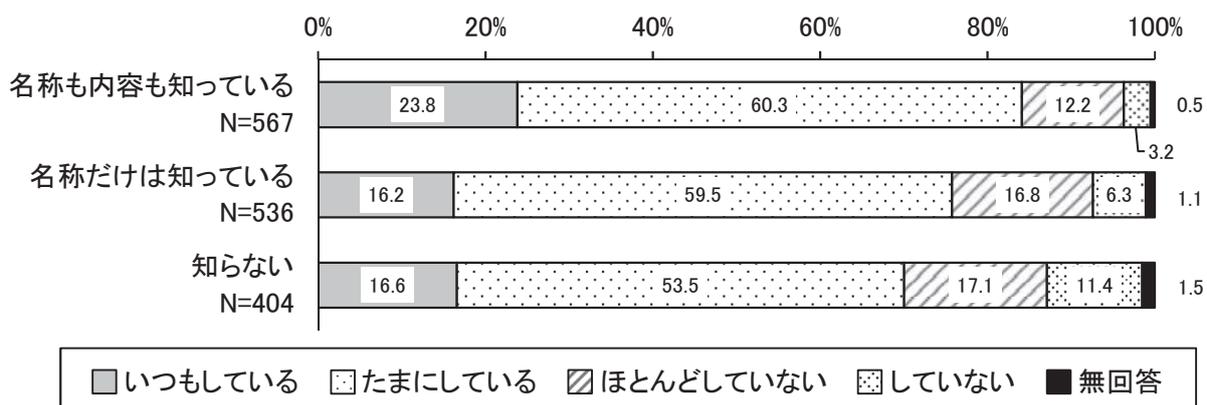
年齢別でみると、すべての世代で『思いやりのある行動をしている』と回答した人が 7 割を超えており、特に、40歳代から64歳は8割を超える回答割合となった。また、40歳代では「いつもしている」と回答した人が 24.6%と最も高くなった。これは、高齢の親を持つ世代が多いためと推察される。

問 14 でたずねた、ユニバーサルデザインの認知度ごとの『思いやりのある行動をしている』人の割合をみると、「名称も内容も知っている」と回答した人のうち 84.1%が、「名称だけは知っている」と回答した人では 75.7%が、「知らない」と回答した人では 70.1%が『思いやりのある行動をしている』と回答しており、認知度が高いほど『思いやりのある行動をしている』の回答割合が高くなった。

【年齢別】



【ユニバーサルデザインの認知度別】



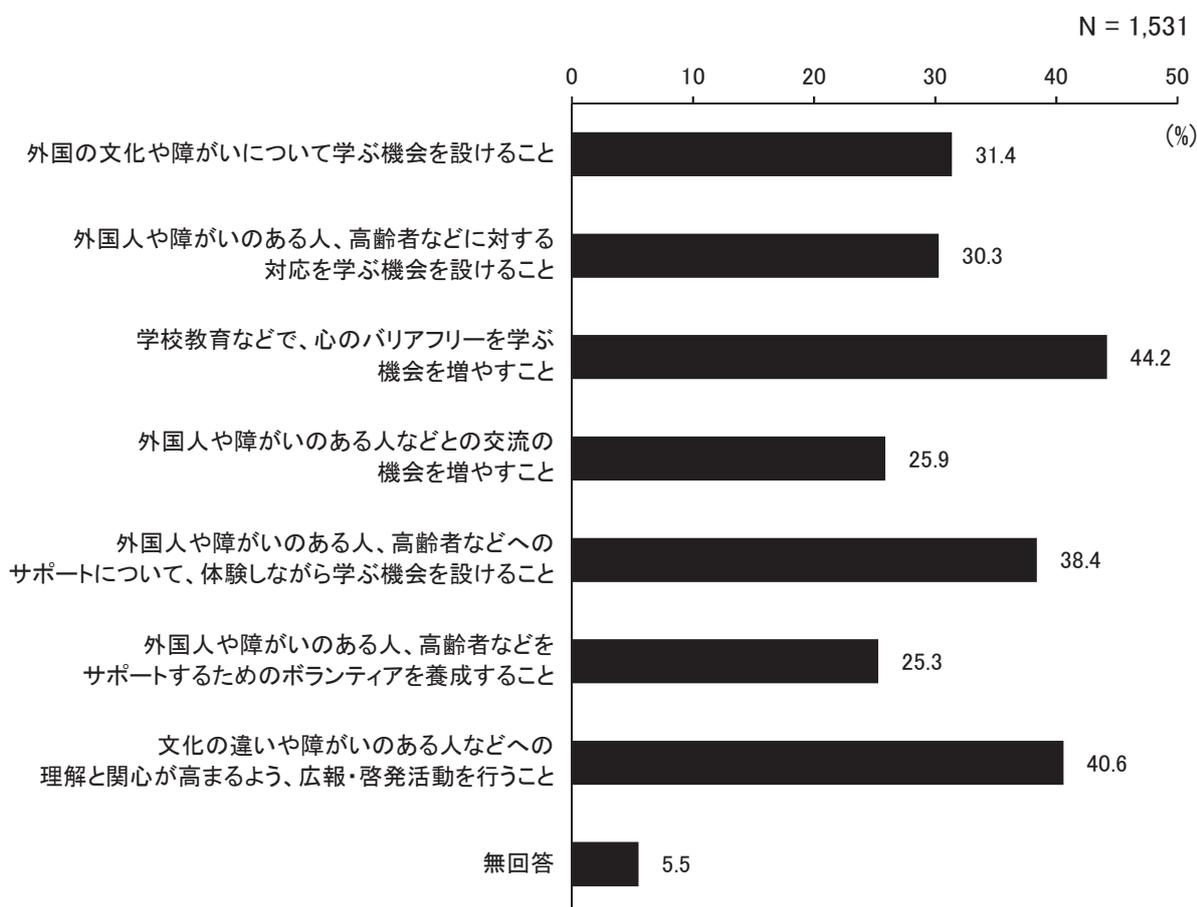
問 17 浜松市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、国から共生社会ホストタウン<sup>※1</sup>の登録を受け、ブラジル選手団の事前キャンプの受け入れ準備を進めています。キャンプを通して、選手と市民との交流が行われることで、外国人や障がいのある人に対する市民の理解を深め、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリー<sup>※2</sup>の推進につなげるのが期待されます。

共生社会ホストタウンとして、市民の「心のバリアフリー」を進めるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（3つまで○を付けてください）

※1 共生社会ホストタウンとは、東京 2020 パラリンピック競技大会において、障がいのある海外の選手たちを迎えることをきっかけに、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーを推進し、大会後の発展的な取り組みにつなげるものです。

※2 心のバリアフリーとは、私たちの心の中に潜む年齢、性別、障がい、国籍の違いなどによる差別、偏見、固定観念などの障壁（バリア）をなくし、それぞれの人に寄り添うことです。

「学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと」が 44.2%



「学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと」が 44.2%と最も高く、次いで「文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと」が 40.6%、「外国人や障がいのある人、高齢者などへのサポートについて、体験しながら学ぶ機会を設けること」が 38.4%となった。多様性に対する理解を深めるための学ぶ機会と、啓発活動が重要視されている結果となった。

性別でみると、男女とも上位3項目は全体の結果と同様となったが、男性では「文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと」(44.8%)が、女性では「学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと」(47.9%)が最も高くなった。

年齢別でみると、10歳代～40歳代及び65歳以上は「学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと」が、50歳代～64歳は「文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと」が最も高くなった。

【性別】

(単位：%)

	外国の文化や障がいについて学ぶ機会を設けること	外国人や障がいのある人、高齢者などに対する対応を学ぶ機会を設けること	学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと	外国人や障がいのある人などとの交流の機会を増やすこと	外国人や障がいのある人、高齢者などへのサポートに、体験しながら学ぶ機会を設けること	外国人や障がいのある人、高齢者などを養育するためのボランティアを養成すること	外国人や障がいのある人、高齢者などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと	文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと	無回答
男 N=612	31.2	27.5	40.8	26.1	35.1	22.5	44.8	5.7	
女 N=780	29.9	32.3	47.9	26.0	42.6	27.7	36.9	4.6	

【年齢別】

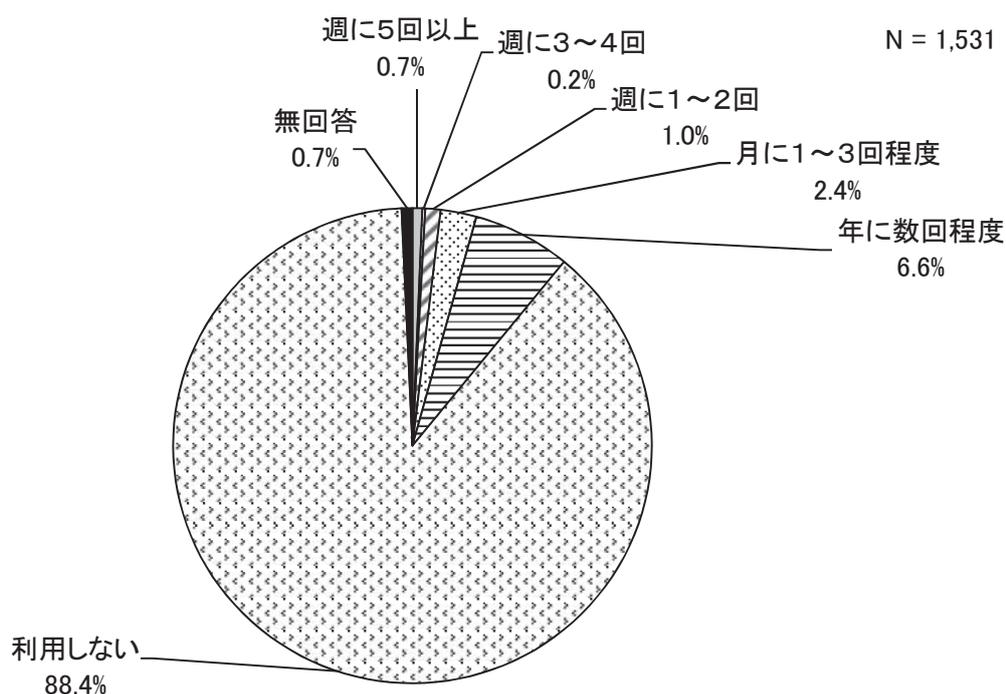
(単位：%)

	外国の文化や障がいについて学ぶ機会を設けること	外国人や障がいのある人、高齢者などに対する対応を学ぶ機会を設けること	学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと	外国人や障がいのある人などとの交流の機会を増やすこと	外国人や障がいのある人、高齢者などへのサポートに、体験しながら学ぶ機会を設けること	外国人や障がいのある人、高齢者などを養育するためのボランティアを養成すること	外国人や障がいのある人、高齢者などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと	文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと	無回答
10歳代 N=24	33.3	37.5	41.7	33.3	29.2	12.5	25.0	4.2	
20歳代 N=105	31.4	32.4	43.8	36.2	41.9	18.1	36.2	2.9	
30歳代 N=193	37.3	30.6	39.9	36.8	36.8	20.2	37.8	2.6	
40歳代 N=268	38.8	29.5	43.3	31.3	38.1	21.3	39.2	3.4	
50歳代 N=267	27.3	30.0	41.9	28.8	37.8	25.8	42.3	4.5	
60～64歳 N=163	27.6	26.4	48.5	29.4	38.7	28.8	51.5	2.5	
65～69歳 N=194	30.9	29.4	46.9	17.0	42.3	33.5	41.2	4.1	
70～74歳 N=170	27.6	36.5	49.4	11.8	39.4	29.4	38.2	9.4	
75歳以上 N=139	26.6	28.1	41.0	12.9	34.5	27.3	39.6	17.3	

## 7 浜松駅周辺の市営自転車等駐車場について

問 18 浜松駅周辺には市民の方が無料で利用できる市営の自転車等駐車場（以下「市営駐輪場」という）があります。あなたは、市営駐輪場をどのくらい利用していますか。（1つだけ○を付けてください）

「利用しない」と回答した人は 88.4%

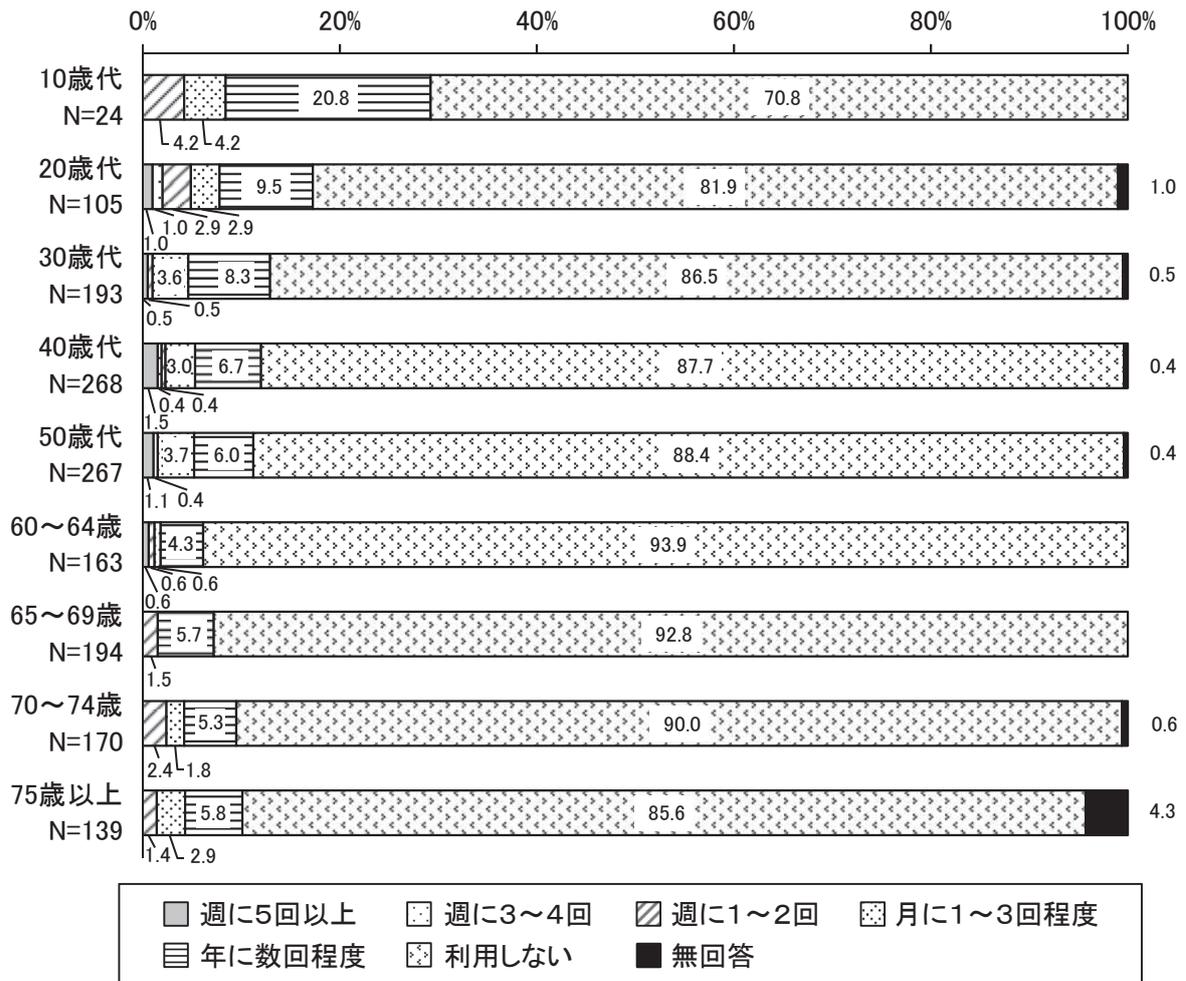


市営駐輪場を「利用しない」と回答した人は 88.4%となり、全体の約 9 割を占めた。「週に 1～2 回」、「週に 3～4 回」、「週に 5 回以上」を合わせた『週 1 回以上』は 1.9%となった。また『週 1 回以上』、「月に 1～3 回程度」、「年に数回程度」を合わせた『利用する』と回答した人は全体の 10.9%となった。

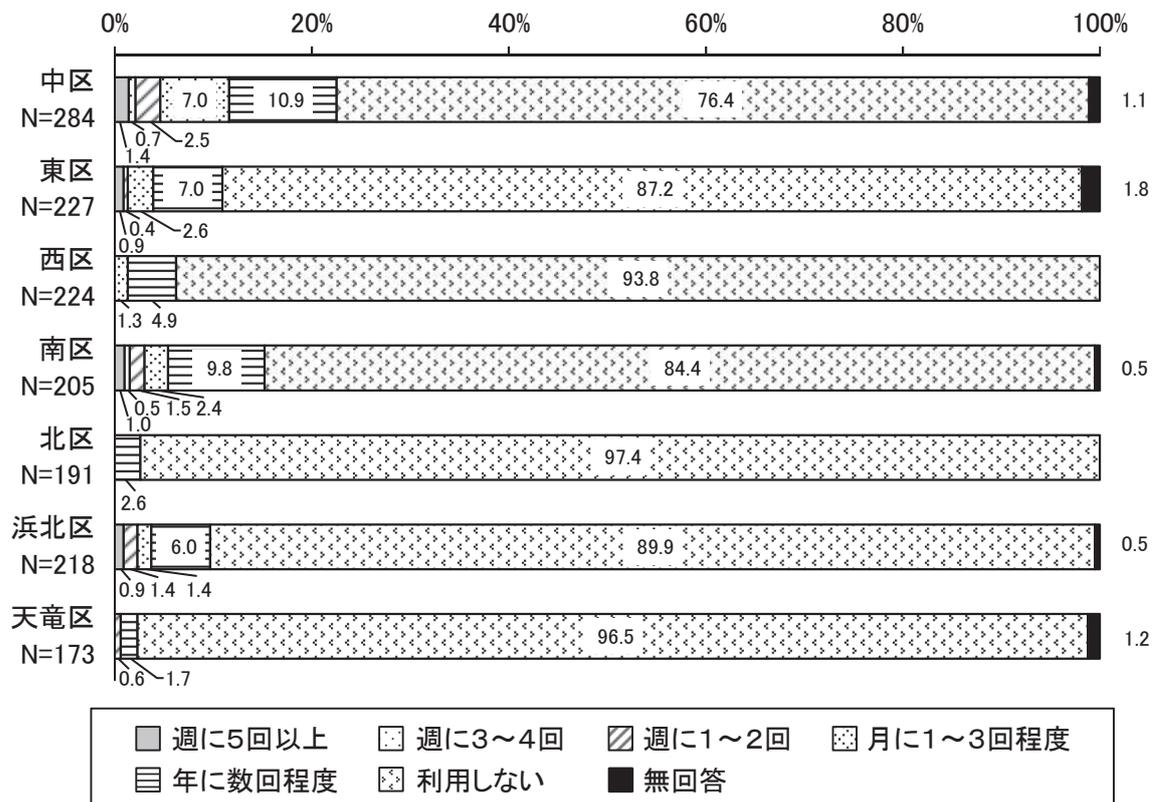
年齢別でみると、『利用する』と回答した人の割合は 10 歳代が 29.2%と最も高く、次いで 20 歳代の 17.3%となった。

行政区別でみると、『利用する』と回答した人の割合は中区が 22.5%と最も高く、次いで南区の 15.2%、東区の 10.9%と続いている。また、「利用しない」と回答した人の割合は北区が 97.4%と最も高く、次いで天竜区が 96.5%となった。

【年齢別】

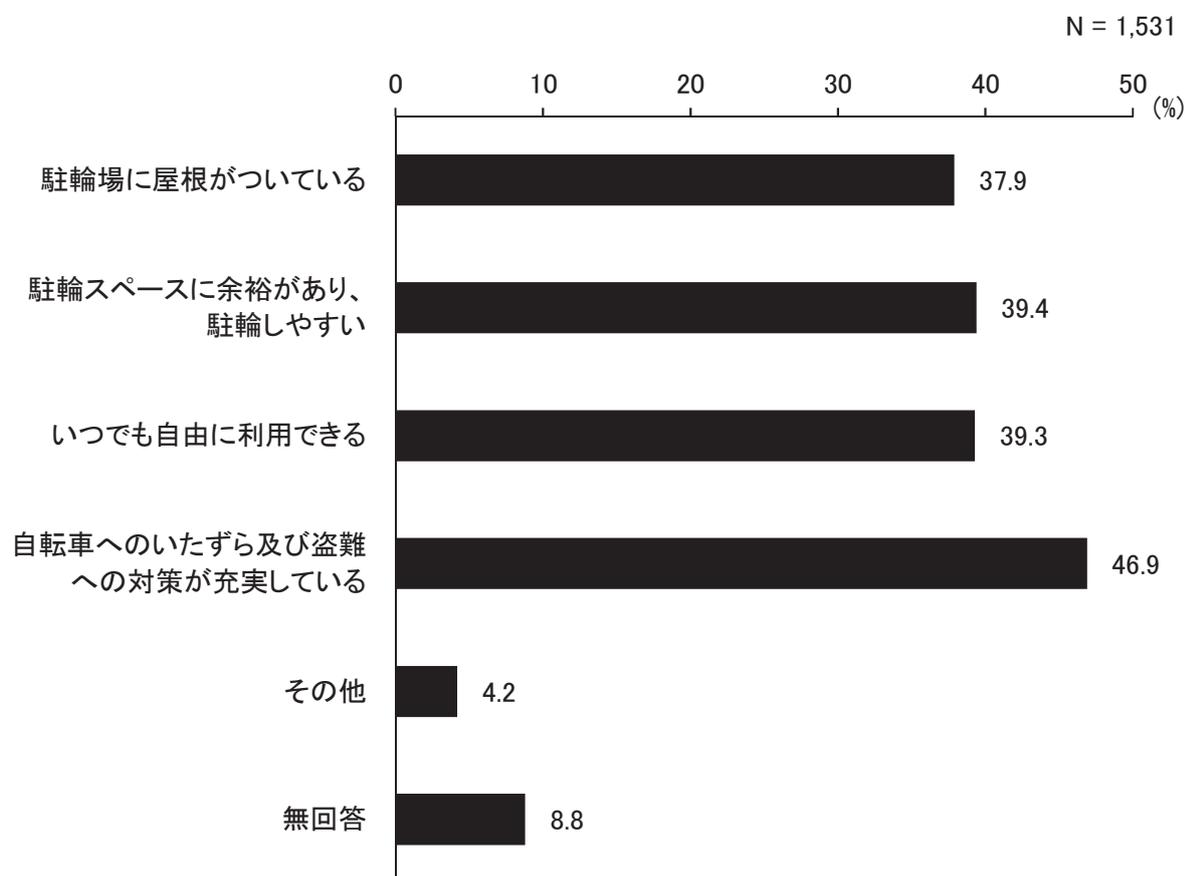


【行政区別】



問 19 市営駐輪場の駐輪環境、管理運営に求めることを、優先度が高いものから2つお選びください。(2つまで○を付けてください)

「自転車へのいたずら及び盗難への対策が充実している」が46.9%



「自転車へのいたずら及び盗難への対策が充実している」が46.9%と最も高くなったものの、「駐輪スペースに余裕があり、駐輪しやすい」が39.4%、「いつでも自由に利用できる」が39.3%、「駐輪場に屋根がついている」が37.9%と、これらの回答も約4割を占める結果となり、項目ごとの大きな差はみられない。

年齢別でみると、70歳代以上は「いつでも自由に利用できる」ことを重視しているのに対し、20歳代から60歳代までは「自転車へのいたずら及び盗難への対策が充実している」ことを重視していることが分かる。また、10歳代は「駐輪スペースに余裕があり、駐輪しやすい」が66.7%と最も高い回答となったが、「いつでも自由に利用できる」も50.0%と高い回答割合となった。

また、問18でたずねた利用頻度に応じた回答をみると、「週1回以上」、「月に1~3回程度」と回答した人は「駐輪スペースに余裕があり、駐輪しやすい」が最も高く、「年に数回程度」と回答した人は「いつでも自由に利用できる」が、「利用しない」と回答した人は「自転車へのいたずら及び盗難への対策が充実している」が最も高くなった。

## 【年齢別】

(単位：%)

	駐輪場に屋根がついている	駐輪スペースに余裕があり、 駐輪しやすい	いつでも自由に利用できる	自転車のいたらずら及び盗難への対策が充実している	その他	無回答
10歳代 N=24	29.2	66.7	50.0	29.2	4.2	-
20歳代 N=105	45.7	44.8	23.8	55.2	2.9	3.8
30歳代 N=193	45.1	44.0	40.4	51.3	3.6	2.6
40歳代 N=268	41.8	42.2	35.4	55.6	4.9	1.9
50歳代 N=267	38.2	47.6	40.1	48.3	3.0	3.7
60～64歳 N=163	35.6	39.9	45.4	51.5	3.7	4.3
65～69歳 N=194	37.6	35.1	40.2	46.4	4.1	12.9
70～74歳 N=170	31.2	25.9	43.5	35.3	4.7	22.4
75歳以上 N=139	28.8	25.9	39.6	27.3	7.2	27.3

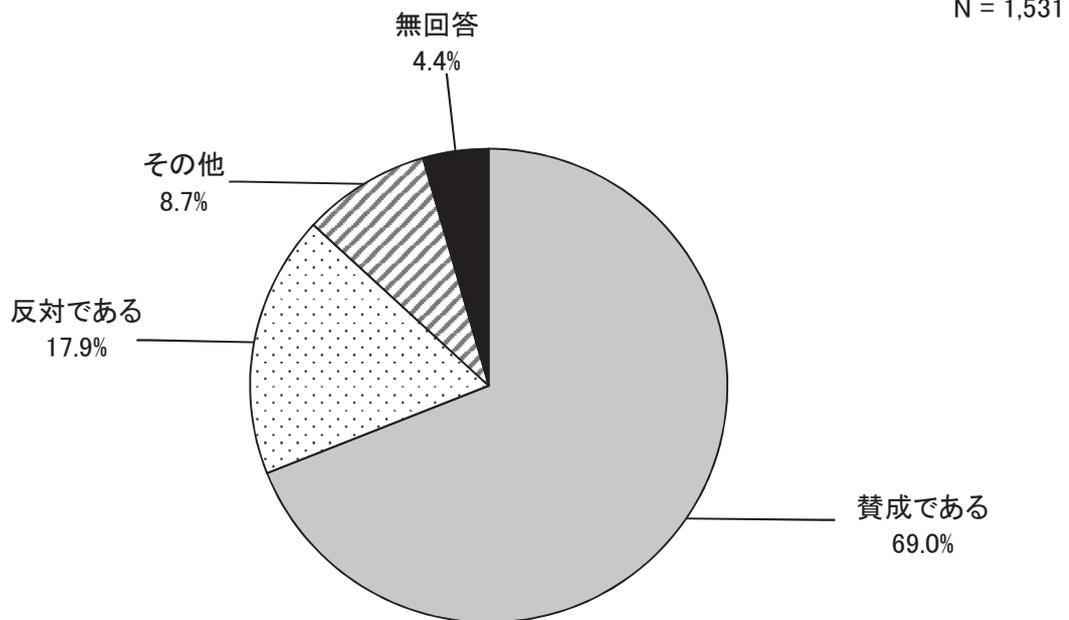
## 【利用頻度別】

(単位：%)

	駐輪場に屋根がついている	駐輪スペースに余裕があり、 駐輪しやすい	いつでも自由に利用できる	自転車のいたらずら及び盗難への対策が充実している	その他	無回答
週1回以上 N=29	41.4	51.7	34.5	31.0	3.4	6.9
月に1～3回程度 N=37	32.4	62.2	43.2	29.7	10.8	-
年に数回程度 N=101	42.6	47.5	62.4	23.8	3.0	-
利用しない N=1,353	37.9	38.1	37.8	49.8	4.1	9.0

問 20 浜松駅周辺の市営駐輪場を有料化し、例えば、防犯カメラの完備や管理員の配置により盗難やいたずらを防止するなど、市営駐輪場の環境や管理の質を高めることについて、あなたはどのように思いますか。(1つだけ○を付けてください)

「賛成である」が 69.0%



「賛成である」が 69.0%と全体の約 7 割を占め、「反対である」は 17.9%であった。

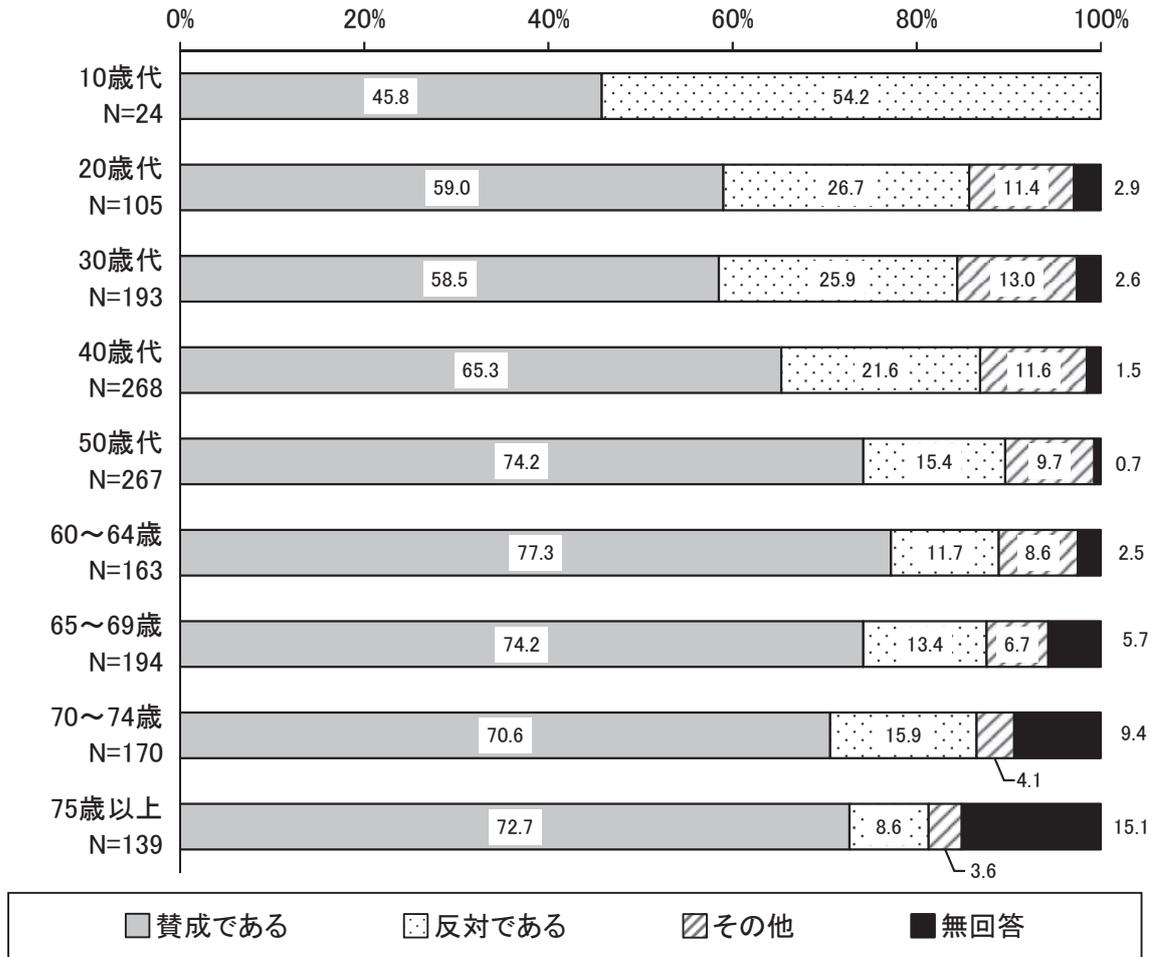
年齢別でみると、10 歳代は「反対である」(54.2%)が「賛成である」(45.8%)を上回ったものの、他の世代はすべて「賛成である」が「反対である」を上回った。

また、問 18 でたずねた利用頻度に応じた回答をみると、利用頻度が少なくなるにつれ「賛成である」が高くなり、「利用しない」と回答した人のうち「賛成である」は 71.4%であった。一方で、「週 1 回以上」利用する人では 51.7%が「反対である」と回答した。

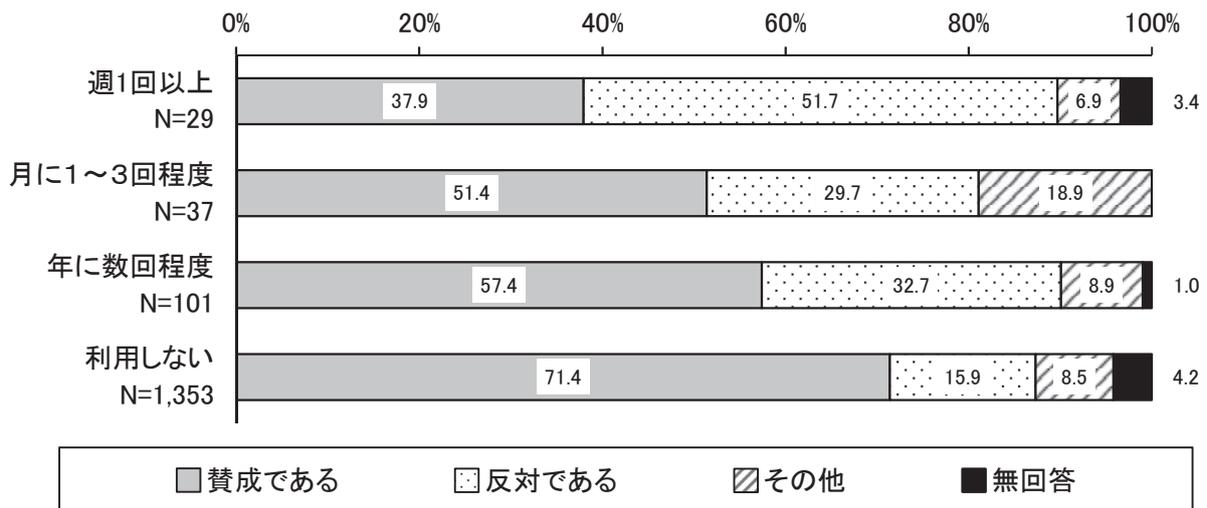
問 18~20 の調査結果から、利用しない層を含めた全体的な市民意識の傾向としては、駐輪場を有料化し、駐輪環境や管理の質を高めることに賛成の割合が高く、具体的に求めることとして「自転車へのいたずら及び盗難への対策の充実」の割合が最も高かったが、一方で、属性等によるクロス集計結果から、年代や利用頻度によって駐輪環境や駐輪場の管理運営に求めることの傾向が異なることも分かった。

今後は、利用者の声も聴きながら、これらの回答結果・意見を浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画の策定に生かしていきたい。

【年齢別】



【利用頻度別】

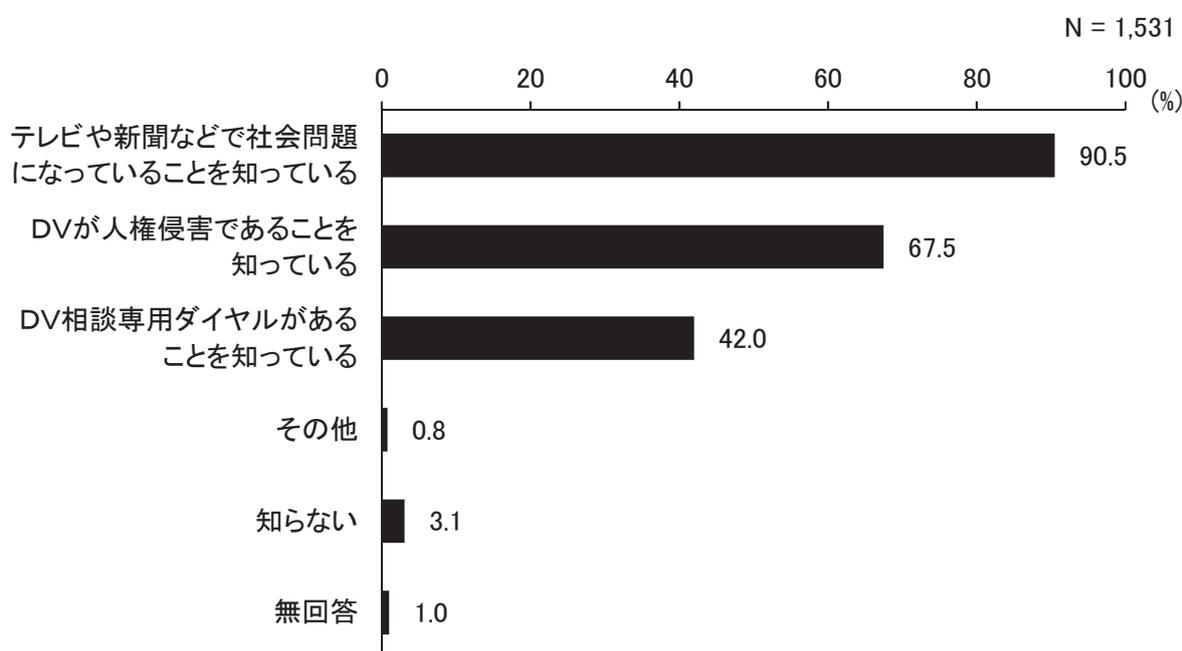


## 8 ドメスティック・バイオレンス（DV）について

問 21 配偶者（元配偶者、事実婚、生活の本拠を共にする交際相手を含む）やパートナーなどから行われるドメスティック・バイオレンス（DV）※について、あなたの知識としてあてはまるものはどれですか。（あてはまるものすべてに○を付けてください）

※ドメスティック・バイオレンス（DV）には、「殴る、蹴る」などの身体的暴力以外に、「怒鳴る、脅す」などの精神的暴力、性行為を強要する性的暴力、生活費を渡さない経済的暴力などがあります。

「テレビや新聞などで社会問題になっていることを知っている」と回答した人は90.5%



「テレビや新聞などで社会問題になっていることを知っている」は90.5%と高い回答割合となったが、「DVが人権侵害であることを知っている」は67.5%にとどまった。

性別でみると、男女とも「テレビや新聞などで社会問題になっていることを知っている」（約9割）、「DVが人権侵害であることを知っている」（約7割）については、概ね同様の回答割合となったが、「DV相談専用ダイヤルがあることを知っている」については、女性（46.2%）の回答が男性（36.9%）の回答を9.3ポイント上回った。

年齢別でみると、「テレビや新聞などで社会問題になっていることを知っている」については全世代で8割以上の回答割合となったが、「DVが人権侵害であることを知っている」については、10歳代で50.0%、75歳以上で55.4%と低く、また、「DV相談専用ダイヤルがあることを知っている」については、10歳代で29.2%、75歳以上で31.7%と低い回答割合となった。

今後は、DVが人権侵害であることを重点的に啓発していくとともに、DV相談専用ダイヤルを身近な初期相談窓口として定着させるために、幅広い年齢層への周知に努める必要がある。

## 【性別】

(単位：%)

	テレビや新聞などで社会問題に なっていることを知っている	DVが人権侵害であることを 知っている	DV相談専用ダイヤルが あることを知っている	その他	知らない	無回答
男 N=612	90.7	68.1	36.9	0.5	3.4	1.0
女 N=780	90.9	67.9	46.2	1.2	2.6	1.2

## 【年齢別】

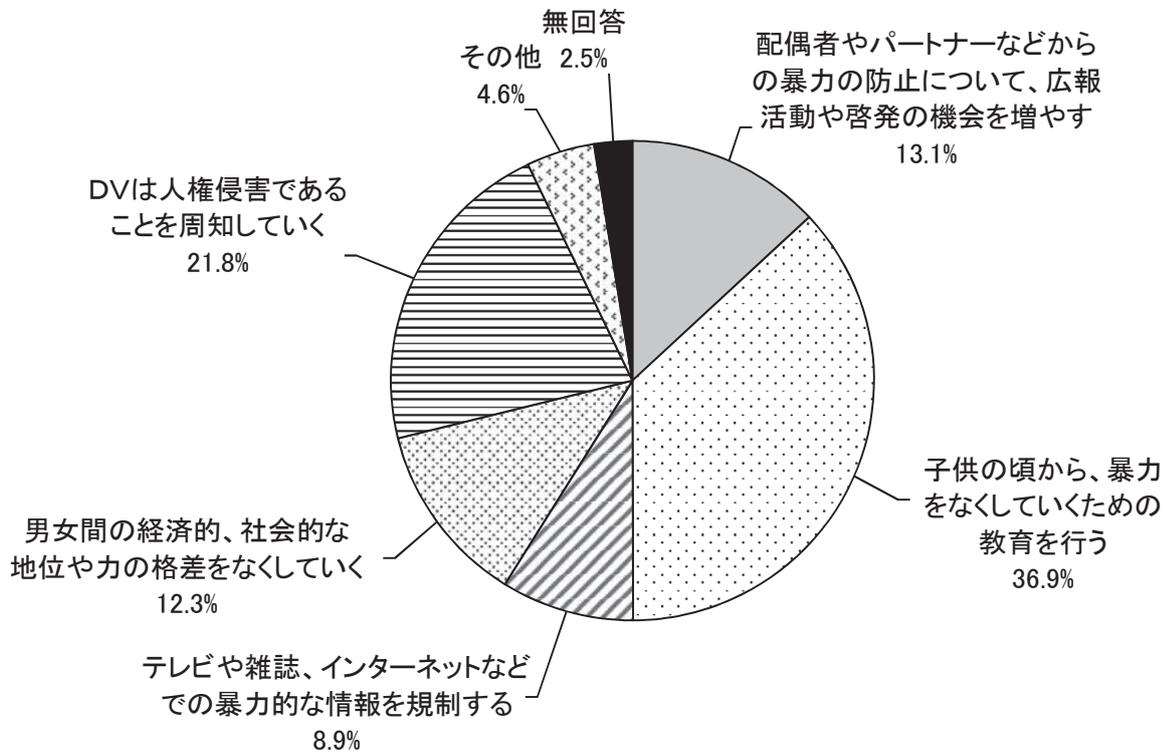
(単位：%)

	テレビや新聞などで社会問題に なっていることを知っている	DVが人権侵害であることを 知っている	DV相談専用ダイヤルが あることを知っている	その他	知らない	無回答
10歳代 N=24	95.8	50.0	29.2	-	-	-
20歳代 N=105	84.8	64.8	40.0	-	3.8	1.9
30歳代 N=193	95.3	66.8	48.7	1.6	0.5	0.5
40歳代 N=268	95.5	68.7	45.5	1.1	0.4	0.4
50歳代 N=267	91.8	68.5	43.8	1.5	0.7	-
60～64歳 N=163	95.7	73.6	41.7	1.2	1.8	-
65～69歳 N=194	86.1	73.2	41.2	-	5.7	1.0
70～74歳 N=170	88.2	68.8	38.8	-	5.9	0.6
75歳以上 N=139	80.6	55.4	31.7	0.7	8.6	6.5

問 22 配偶者やパートナーなどからの暴力をなくすために、社会的な取り組みとして何が最も必要だと思いますか。(1つだけ○を付けてください)

「子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う」が 36.9%と最も高い

N = 1,531



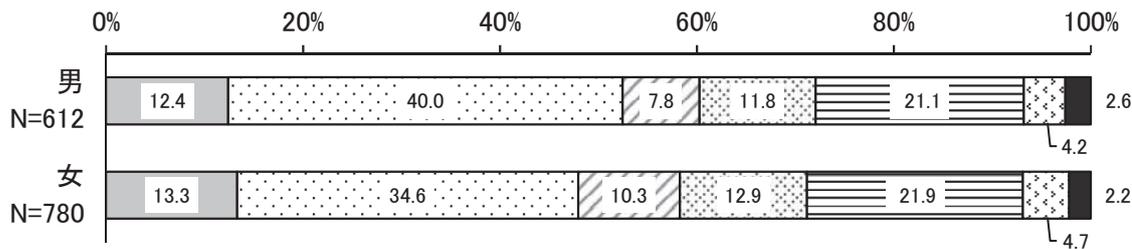
「子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う」が 36.9%と最も高く、次いで「DVは人権侵害であることを周知していく」が 21.8%となった。

性別で見ると、男女とも「子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う」が最も高い回答割合となったが、男性の回答（40.0%）が、女性の回答（34.6%）を5.4ポイント上回った。

年齢別で見ると、10歳代を除くすべての世代で「子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う」が最も高い回答割合となった。

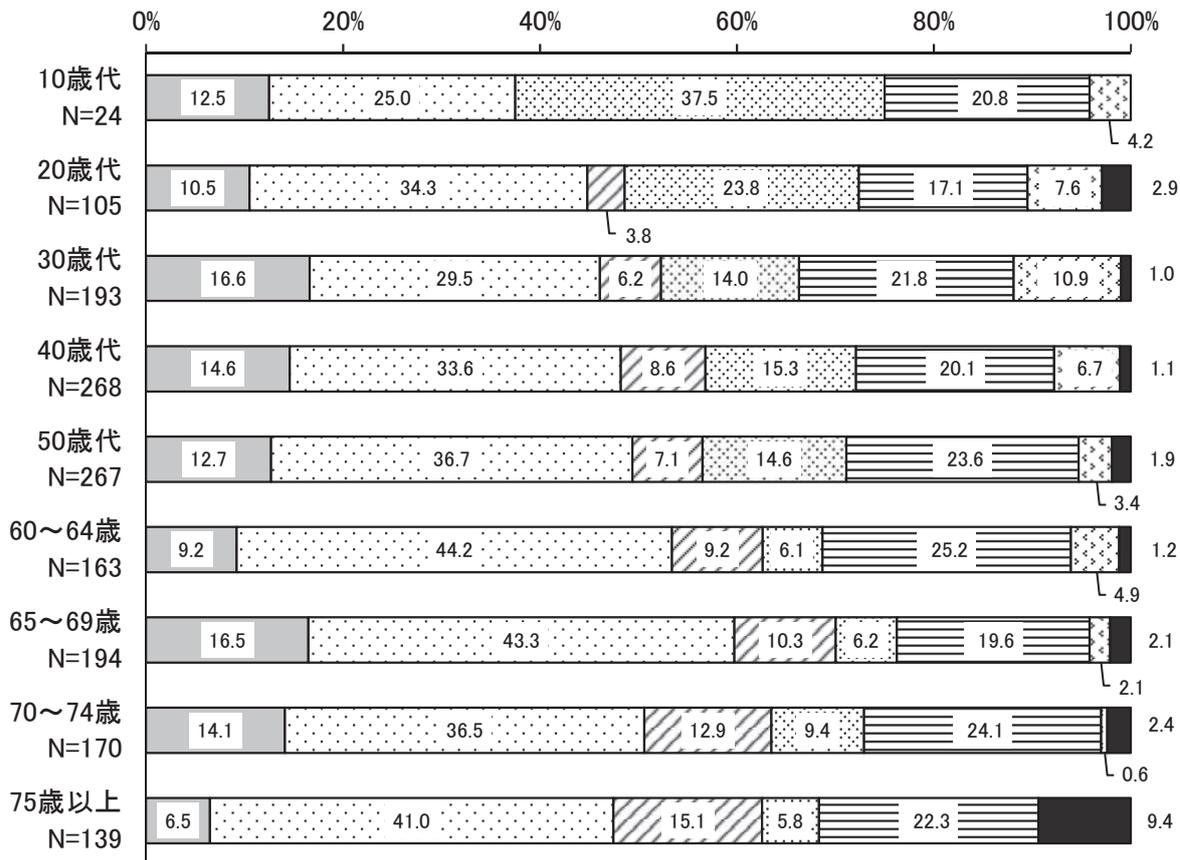
今後は、啓発活動において、年代ごとの効果的な媒体・方法を考えていく必要がある。

【性別】



- 配偶者やパートナーなどからの暴力の防止について、広報活動や啓発の機会を増やす
- 子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う
- テレビや雑誌、インターネットなどでの暴力的な情報を規制する
- 男女間の経済的、社会的な地位や力の格差をなくしていく
- DVは人権侵害であることを周知していく
- その他
- 無回答

【年齢別】



- 配偶者やパートナーなどからの暴力の防止について、広報活動や啓発の機会を増やす
- 子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う
- テレビや雑誌、インターネットなどでの暴力的な情報を規制する
- 男女間の経済的、社会的な地位や力の格差をなくしていく
- DVは人権侵害であることを周知していく
- その他
- 無回答

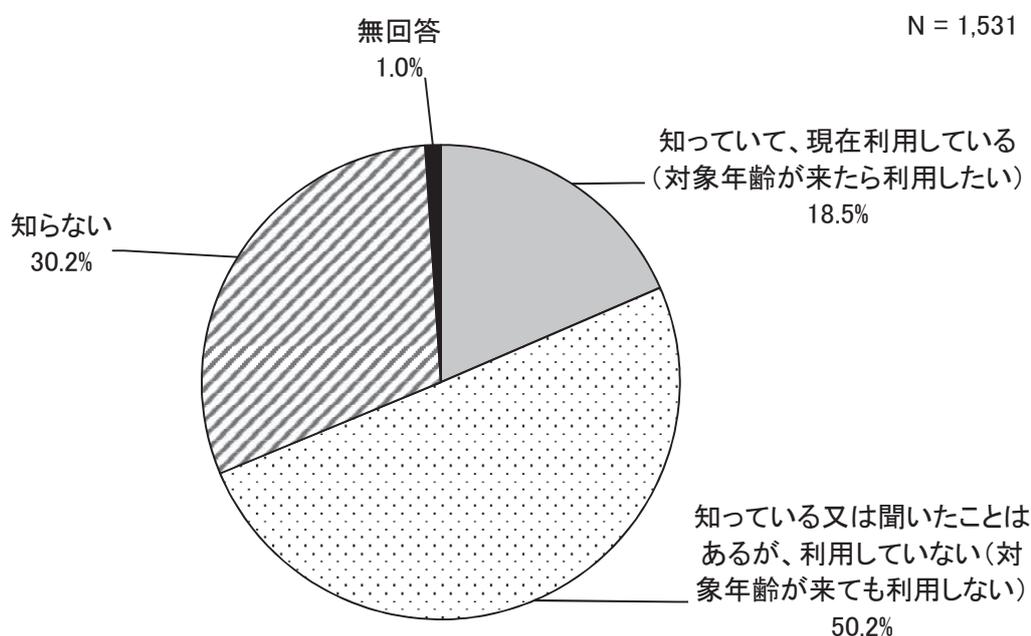
## 9 老人福祉センターについて

問 23 あなたは「老人福祉センター※」をご存じですか。また、利用していますか。

(1つだけ○を付けてください)

※老人福祉センターは、60歳以上の方が無料（風呂のみ1回100円～200円）で、同好会活動、健康器具（マッサージチェア、ヘルストロンなど）、カラオケ、風呂などの利用ができる高齢者福祉施設です。老人福祉センター湖東荘など〇〇荘、ふれあい福祉センター、シニアプラザの名称があります。

「老人福祉センター」の『認知度』は68.7%

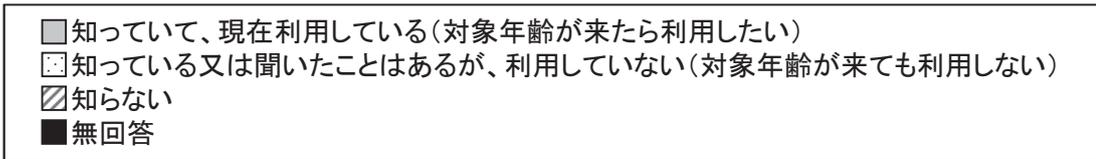
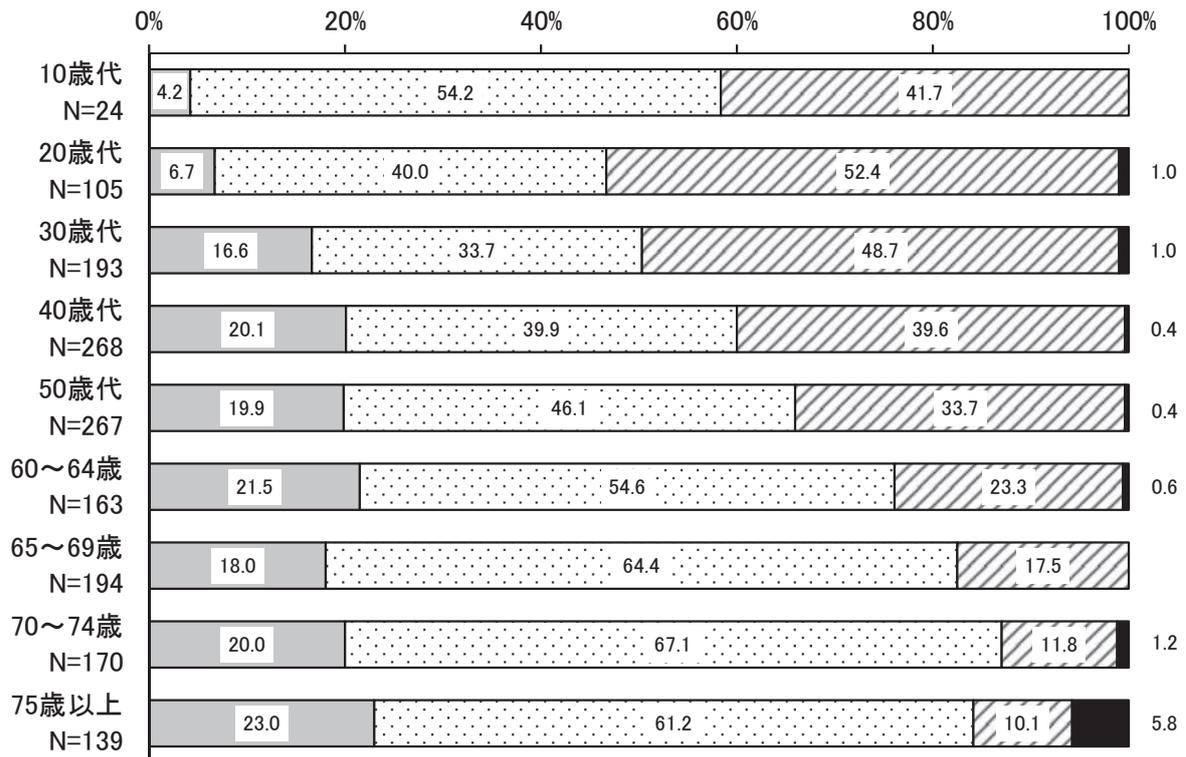


「知っている、現在利用している（対象年齢が来たら利用したい）」（18.5％）と「知っている又は聞いたことはあるが、利用していない（対象年齢が来ても利用しない）」（50.2％）を合わせた『認知度』は68.7％となった。ただし、知っているても利用していない、又は対象年齢が来ても利用しないといった、利用に消極的な意見は全体の約半数、知っている人のなかでは7割を超える結果となった。

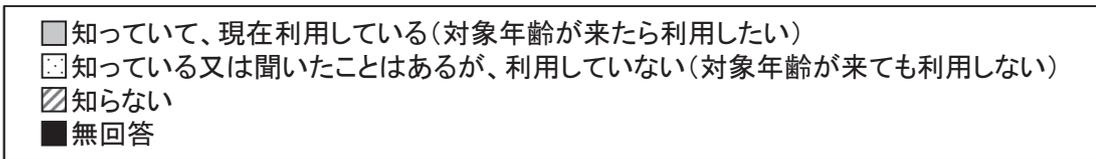
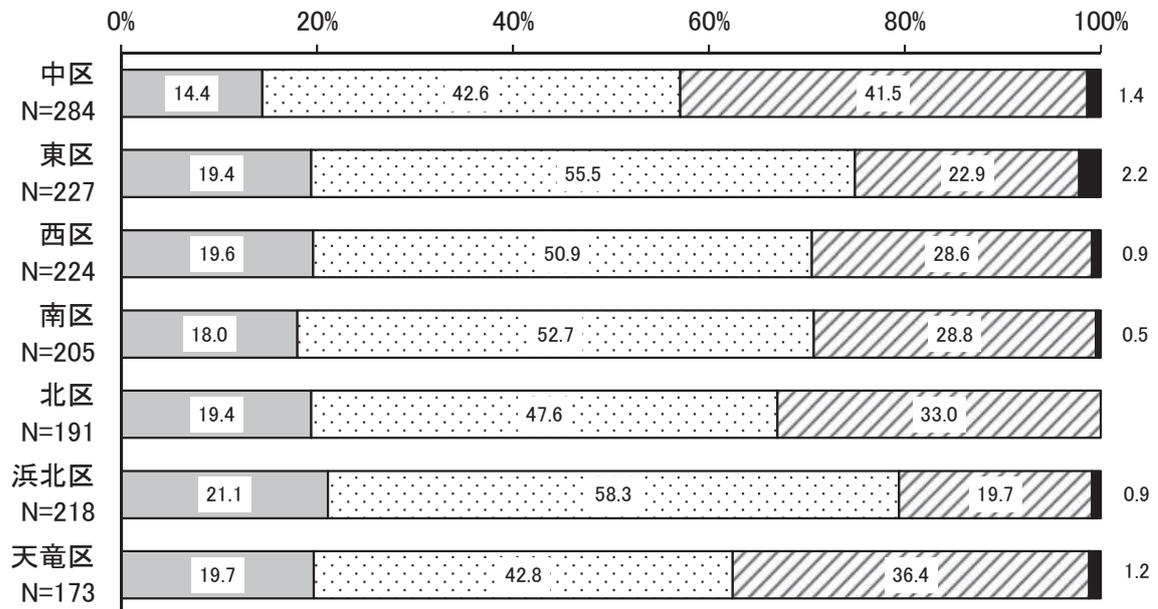
年齢別でみると、概ね年齢が高くなるにつれ、『認知度』は高くなる傾向が見られた。また、老人福祉センターを利用できる60歳代以上では、「知っている、現在利用している」は20.4％、「知っている又は聞いたことはあるが、利用していない」は62.0％、「知らない」が15.9％であった。老人福祉センターの利用対象年齢に達していない10歳代から50歳代では「対象年齢が来たら利用したい」が17.2％、「対象年齢が来ても利用しない」が40.8％であった。

行政区別でみると、中区を除く6区では「知っている、現在利用している」が約20％であったが、中区では14.4％となり、「知らない」が41.5％と最も高くなった。

【年齢別】

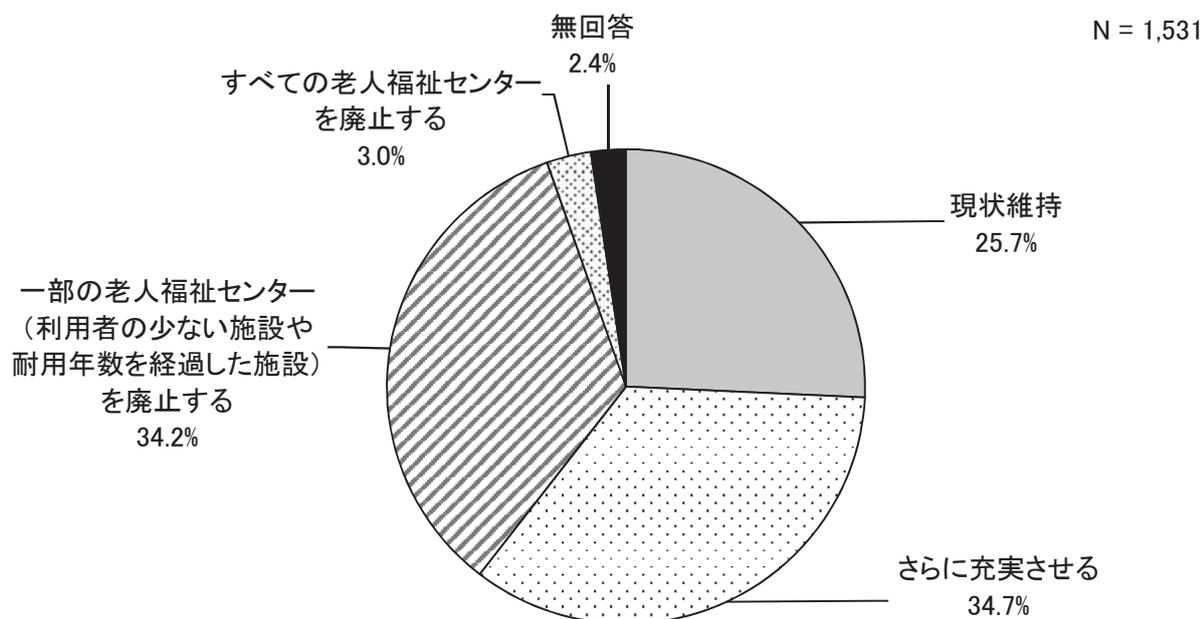


【行政区別】



問 24 老人福祉センターは、高齢者の生きがいがづくりなどの場として活用されていますが、利用者数は減少傾向にあります。あなたは、老人福祉センターの今後の方向性についてどのように考えますか。（1つだけ○を付けてください）

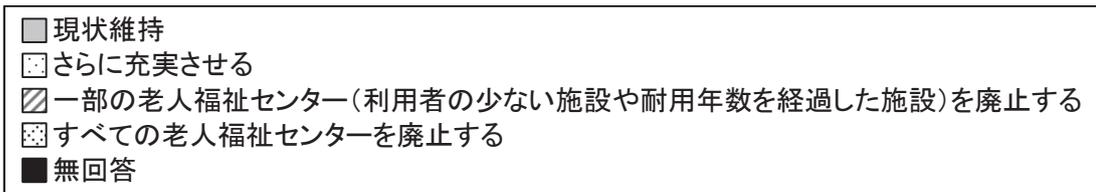
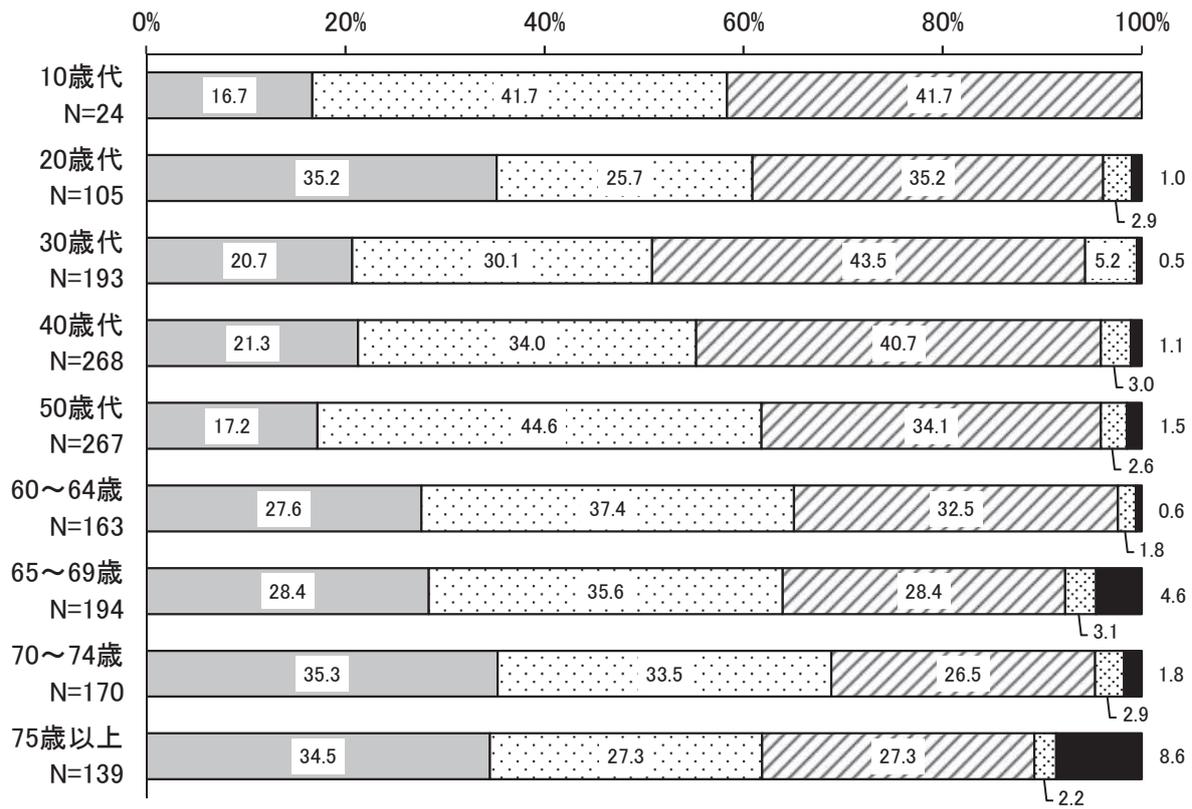
今後の方向性は「現状維持」、「さらに充実させる」が60.4%



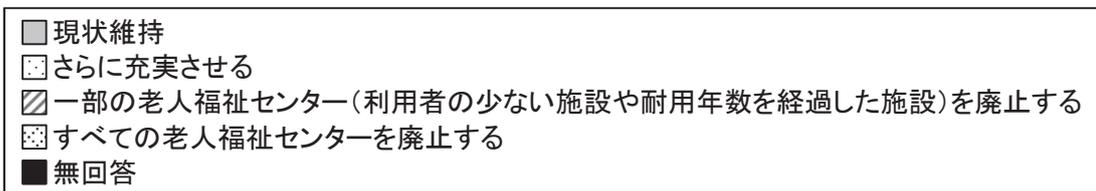
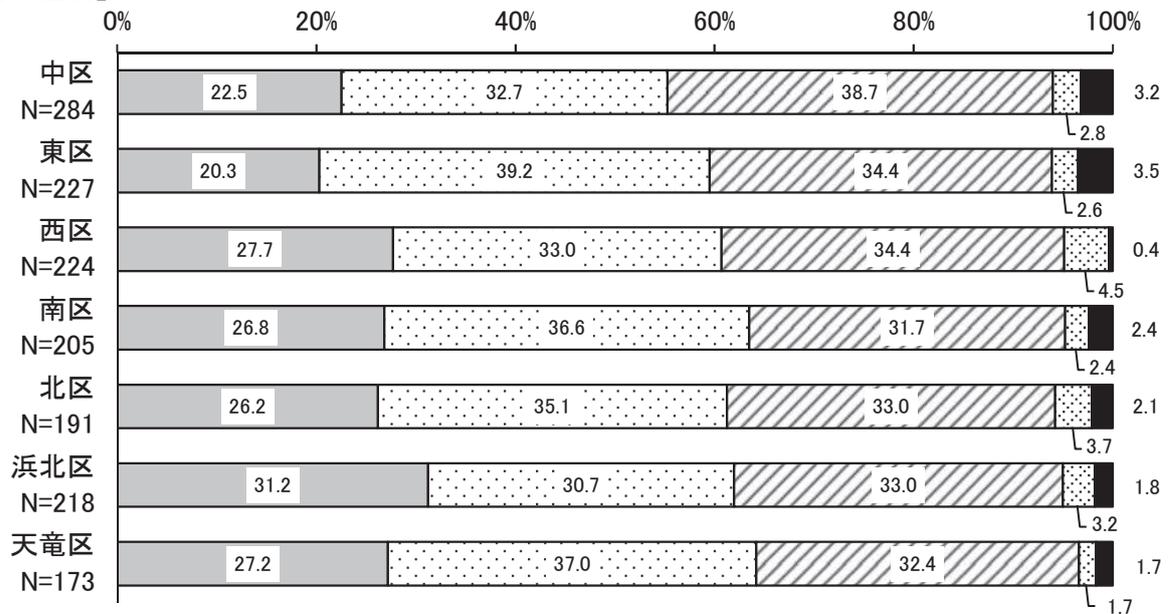
老人福祉センターの利用者数は減少傾向にある中で、「現状維持」、「さらに充実させる」を合わせると60.4%が廃止に否定的であり、「すべての老人福祉センターを廃止する」は3.0%であった。また、「一部の老人福祉センター（利用者の少ない施設や耐用年数を経過した施設）を廃止する」が34.2%となっている。

年齢別でみると、「一部の老人福祉センターを廃止する」、「すべての老人福祉センターを廃止する」を合わせた回答割合は、30歳代が48.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれ低くなり、75歳以上では29.5%となった。概ね年齢が高くなるにつれ老人福祉センターの廃止には否定的な傾向がみられた。

【年齢別】

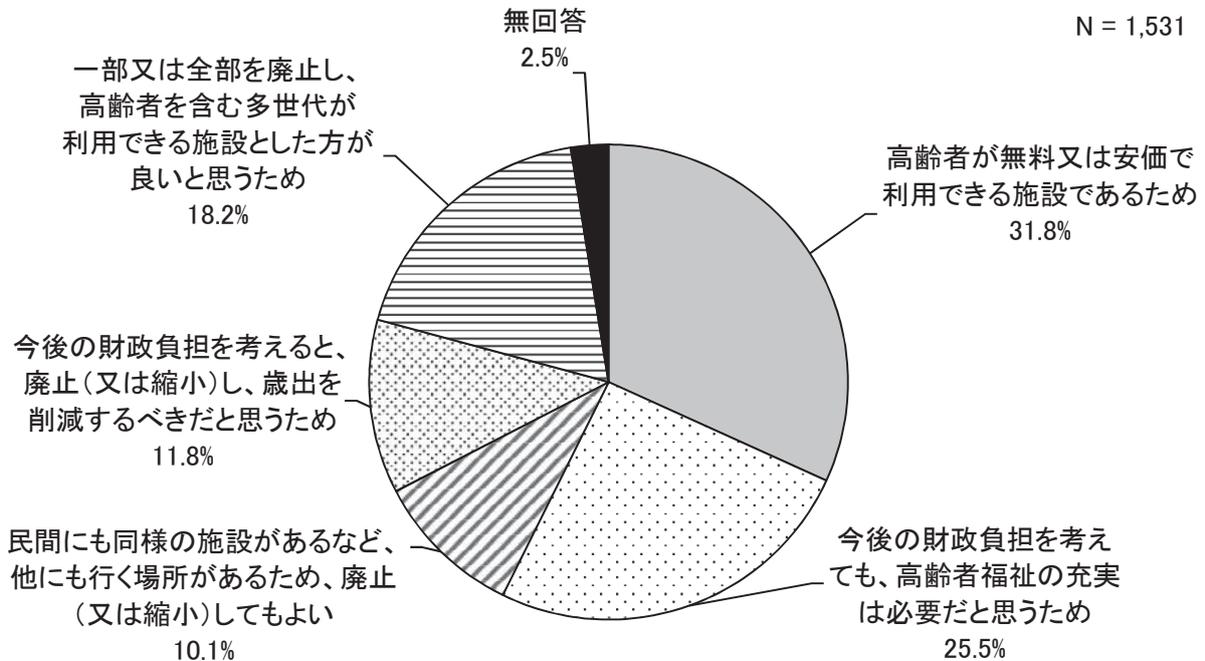


【行政区別】



問 25 問 24 であなたが回答した理由のうち、一番近いお気持ちを教えてください。  
(1つだけ○を付けてください)

高齢者のみを対象としない施設への転換を含め、75.5%が施設の存続が必要と考えている



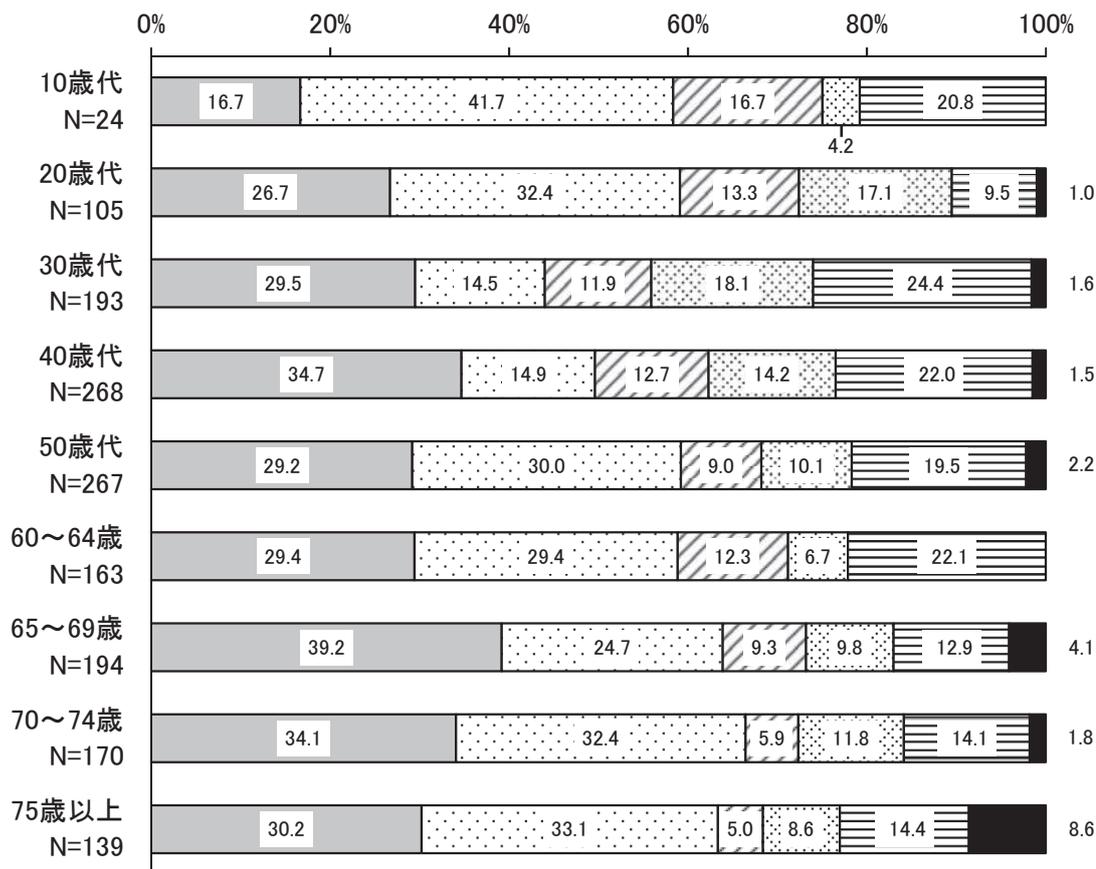
「高齢者が無料又は安価で利用できる施設であるため」(31.8%)、「今後の財政負担を考えた場合、高齢者福祉の充実が必要だと思うため」(25.5%)、「一部又は全部を廃止し、高齢者を含む多世代が利用できる施設とした方が良いと思うため」(18.2%)となった。

問 24 で「一部の老人福祉センターを廃止する」と回答した人では 35.6%が、「すべての老人福祉センターを廃止する」と回答した人では 50.0%が「一部又は全部を廃止し、高齢者を含む多世代が利用できる施設とした方が良いと思うため」と回答しており、今後の財政負担を考慮しての施設廃止ではなく、高齢者のみを対象としない施設へ転換するなど、施設としての存続は必要であると考えている。

年齢別でみると、10 歳代及び 50 歳代以上の約 8 割が施設の存続は必要であると考えており、全体では 75.5%が施設の存続は必要であると考えている。

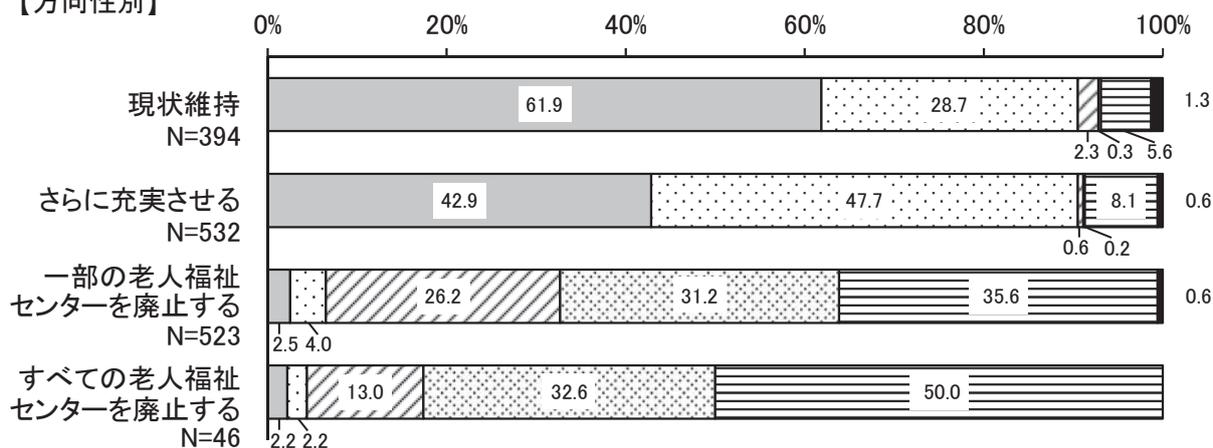
問 23～25 の調査結果から、高齢者施設としての老人福祉センターは「現状維持」、「さらに充実させる」という意見が多くを占めたものの、一方で、今後の財政負担等を考慮し、「一部の老人福祉センターを廃止する」、「すべての老人福祉センターを廃止する」という意見もあった。施設利用の実態を踏まえ、公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、今後のあり方を引き続き検討する。

【年齢別】



- 高齢者が無料又は安価で利用できる施設であるため
- 今後の財政負担を考慮しても、高齢者福祉の充実は必要だと思うため
- 民間にも同様の施設があるなど、他にも行く場所があるため、廃止(又は縮小)してもよい
- 今後の財政負担を考えると、廃止(又は縮小)し、歳出を削減するべきだと思うため
- 一部又は全部を廃止し、高齢者を含む多世代が利用できる施設とした方が良いと思うため
- 無回答

【方向性別】



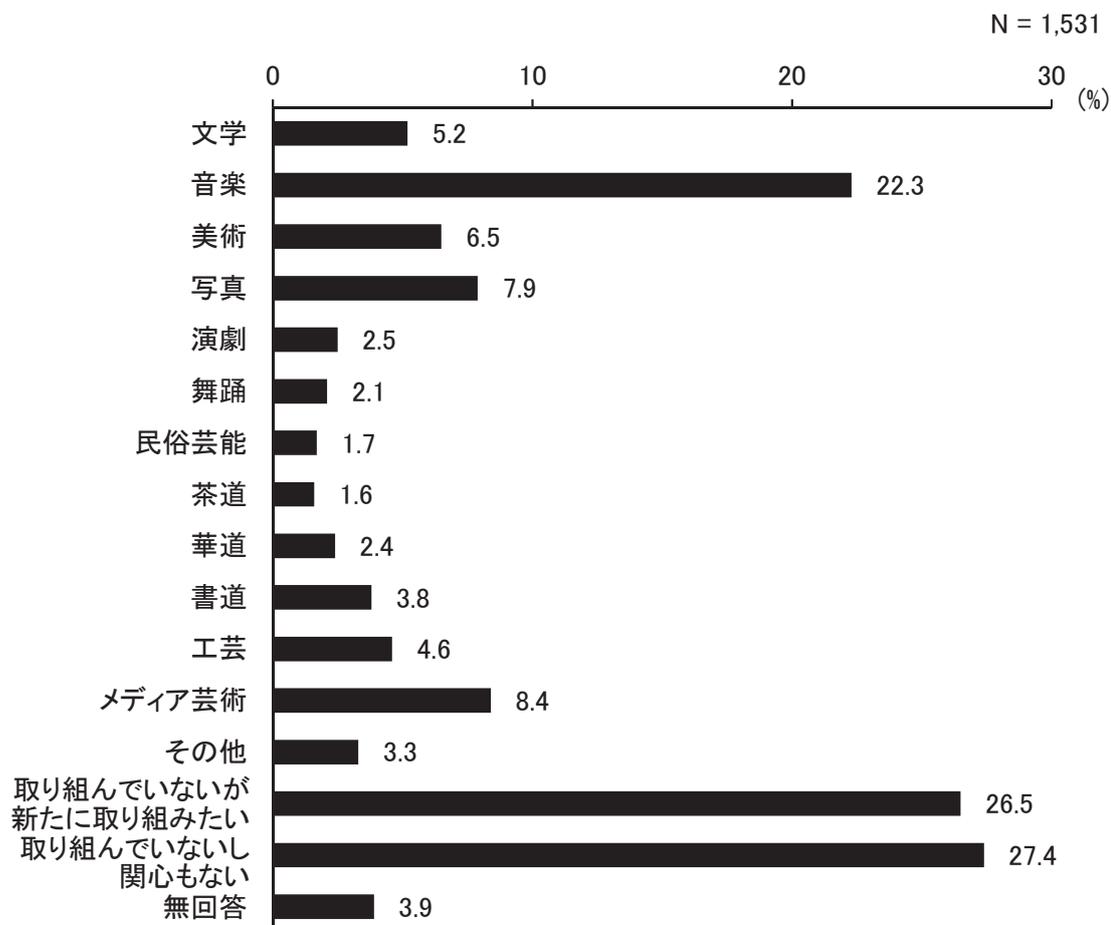
- 高齢者が無料又は安価で利用できる施設であるため
- 今後の財政負担を考慮しても、高齢者福祉の充実は必要だと思うため
- 民間にも同様の施設があるなど、他にも行く場所があるため、廃止(又は縮小)してもよい
- 今後の財政負担を考えると、廃止(又は縮小)し、歳出を削減するべきだと思うため
- 一部又は全部を廃止し、高齢者を含む多世代が利用できる施設とした方が良いと思うため
- 無回答

## 10 文化について

【立場①：自ら取り組む場合】

問 26 どのような分野の文化芸術に取り組んでいますか(趣味で楽しんでいるものも含みます)。(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「音楽」が最も多く 22.3%



自らが取り組む場合は「音楽」が 22.3%で、「取り組んでいないが新たに取り組みたい」、「取り組んでいないし関心もない」を合わせた『取り組んでいない』を除くと最も高くなり、浜松市の特徴が表れた結果となった。

年齢別でみると、各世代とも取り組んでいる分野では「音楽」が最も高かった。また、10歳代から40歳代までは「メディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータを利用した芸術など）」が10%を超える回答となった。

職業別でみると、取り組んでいる分野では「音楽」と回答した割合が、学生で44.4%、専業主婦（主夫）で26.0%など、すべての職業において最も高かった。

## 【年齢別】

(単位：%)

	文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	民俗芸能	茶道	華道	書道	工芸	メディア芸術	その他	新たに 取り組んで みたいが	取り組んで いないし	無回答
10歳代 N=24	4.2	50.0	8.3	12.5	-	8.3	-	4.2	-	12.5	4.2	16.7	-	20.8	4.2	4.2
20歳代 N=105	8.6	25.7	3.8	12.4	1.0	1.0	-	-	1.0	1.9	3.8	15.2	1.9	33.3	22.9	4.8
30歳代 N=193	4.1	20.7	6.2	9.3	2.1	-	0.5	1.6	1.0	3.6	2.1	16.1	1.6	29.5	32.6	0.5
40歳代 N=268	6.7	26.5	5.2	7.1	0.4	1.9	2.2	2.2	2.2	2.6	1.9	11.2	2.6	26.1	28.0	1.1
50歳代 N=267	4.5	18.4	4.9	7.1	2.6	3.0	1.5	1.9	3.0	2.6	4.5	6.7	3.0	31.5	29.2	1.5
60～64歳 N=163	5.5	16.6	8.6	4.9	1.2	1.8	0.6	-	1.2	3.1	9.8	7.4	1.8	36.2	22.7	3.7
65～69歳 N=194	3.6	20.1	9.8	9.3	4.1	1.5	1.5	1.0	3.6	2.1	6.2	3.1	3.6	23.2	26.3	5.7
70～74歳 N=170	4.1	21.2	7.1	5.3	5.9	4.7	3.5	1.8	2.9	7.1	4.7	4.7	6.5	15.3	32.4	7.1
75歳以上 N=139	6.5	28.8	6.5	9.4	4.3	1.4	3.6	3.6	4.3	7.9	5.8	2.9	7.2	16.5	24.5	10.1

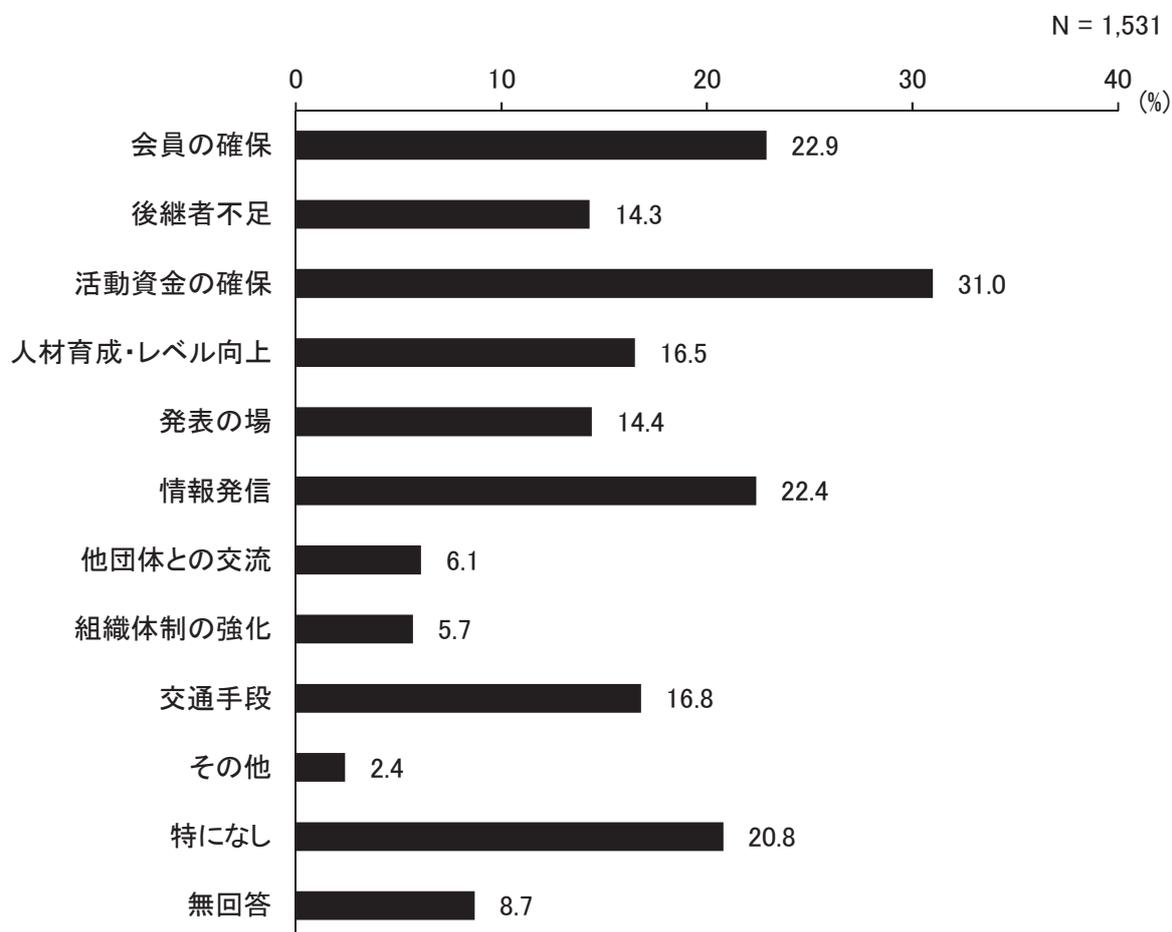
## 【職業別】

(単位：%)

	文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	民俗芸能	茶道	華道	書道	工芸	メディア芸術	その他	新たに 取り組んで みたいが	取り組んで いないし	無回答
勤め人 N=754	5.3	21.9	5.2	8.2	1.9	1.5	2.0	1.2	1.6	2.4	3.1	10.9	2.4	30.5	27.9	2.1
商工・サービス・ 自由業 N=135	4.4	20.7	5.2	8.1	4.4	2.2	1.5	3.7	3.7	2.2	7.4	6.7	3.7	23.7	32.6	3.7
農林水産業 N=34	8.8	17.6	11.8	5.9	-	-	-	-	2.9	-	8.8	2.9	5.9	23.5	29.4	8.8
専業主婦（主夫） N=219	4.6	26.0	6.8	5.0	4.1	4.1	-	2.7	6.4	7.8	7.3	7.3	3.2	24.2	23.3	3.7
学生 N=36	5.6	44.4	11.1	16.7	-	8.3	-	2.8	-	13.9	2.8	16.7	2.8	19.4	5.6	2.8
無職 N=283	5.7	18.4	9.5	9.5	2.5	1.8	2.5	0.7	1.8	4.6	4.9	4.6	4.6	18.4	32.2	6.7
その他 N=55	3.6	23.6	5.5	1.8	3.6	1.8	1.8	1.8	-	3.6	5.5	1.8	9.1	40.0	14.5	7.3

問 27 文化活動を行う際に課題に思うことは、どのようなことですか。  
 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

「活動資金の確保」が最も高く、次いで「会員の確保」、「情報発信」となっている



「活動資金の確保」が 31.0%と最も高く、次いで「会員の確保」が 22.9%、「情報発信」が 22.4%となった。

年齢別で見ると、10歳代から60歳代では「活動資金の確保」が最も高くなったが、70歳代以上では「会員の確保」が最も高くなった(75歳以上は「交通手段」も同率)。また、市民活動において中心的な動きをされると思われる40歳代及び50歳代においては、「情報発信」の回答割合が、他の世代と比較して高くなった。

問 26 でたずねた自らが取り組んでいる文化芸術の分野別の課題をみると、多くの分野で「活動資金の確保」又は「会員の確保」が最も高くなったが、「メディア芸術」については、「情報発信」が最も高くなった。また、『取り組んでいない』と回答した人も、「特になし」を除くと「活動資金の確保」、「会員の確保」、「情報発信」が課題の上位3項目となった。

## 【年齢別】

(単位：%)

	会員の確保	後継者不足	活動資金の確保	人材育成・レベル向上	発表の場	情報発信	他団体との交流	組織体制の強化	交通手段	その他	特になし	無回答
10歳代 N=24	16.7	12.5	29.2	16.7	12.5	12.5	8.3	8.3	8.3	4.2	20.8	4.2
20歳代 N=105	21.0	18.1	38.1	21.0	16.2	22.9	9.5	3.8	15.2	1.9	20.0	5.7
30歳代 N=193	15.5	16.1	36.8	16.1	16.6	26.9	4.7	2.6	11.4	4.7	21.8	3.1
40歳代 N=268	22.4	14.2	35.4	17.5	17.2	28.0	6.7	7.5	13.4	3.0	19.0	4.5
50歳代 N=267	25.8	13.9	36.3	18.7	15.7	30.3	6.4	6.7	14.2	1.9	18.0	4.5
60～64歳 N=163	26.4	16.0	34.4	14.7	11.7	21.5	4.9	4.9	22.7	1.2	19.0	4.9
65～69歳 N=194	22.7	10.8	25.3	19.6	11.3	18.0	4.6	5.2	20.1	1.5	27.3	11.3
70～74歳 N=170	26.5	13.5	19.4	10.0	15.9	13.5	7.1	6.5	19.4	0.6	23.5	18.2
75歳以上 N=139	23.7	15.1	18.0	13.7	7.9	10.8	5.8	6.5	23.7	3.6	18.7	21.6

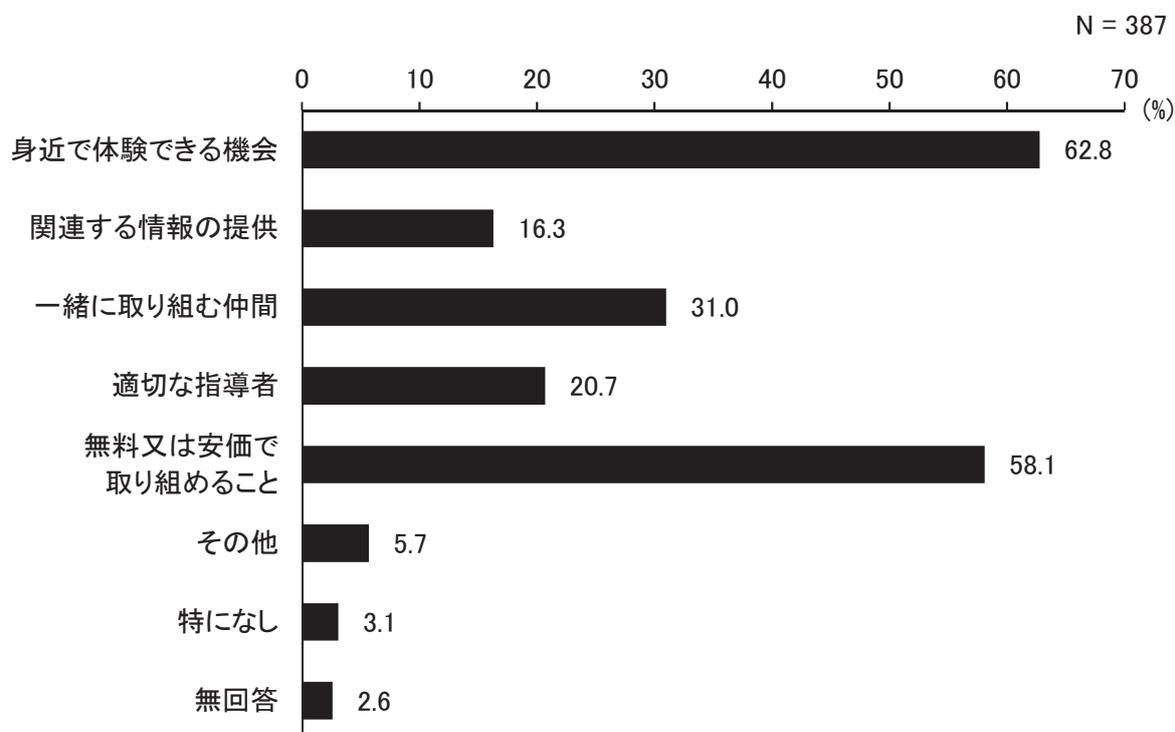
## 【自らが取り組んでいる文化芸術の分野別】

(単位：%)

	会員の確保	後継者不足	活動資金の確保	人材育成・レベル向上	発表の場	情報発信	他団体との交流	組織体制の強化	交通手段	その他	特になし	無回答
文学 N=80	28.8	18.8	38.8	25.0	25.0	32.5	8.8	6.3	31.3	3.8	12.5	3.8
音楽 N=341	28.7	18.8	34.9	27.0	24.9	27.0	10.3	7.0	19.4	2.1	12.9	4.1
美術 N=99	27.3	13.1	38.4	35.4	31.3	31.3	7.1	6.1	23.2	1.0	12.1	4.0
写真 N=121	20.7	8.3	35.5	23.1	28.1	32.2	8.3	11.6	18.2	1.7	17.4	3.3
演劇 N=39	43.6	12.8	41.0	30.8	23.1	28.2	17.9	5.1	23.1	2.6	12.8	2.6
舞踊 N=32	50.0	25.0	18.8	18.8	31.3	18.8	12.5	6.3	37.5	3.1	3.1	-
民俗芸能 N=26	57.7	50.0	57.7	38.5	30.8	30.8	15.4	23.1	19.2	3.8	11.5	-
茶道 N=25	32.0	28.0	28.0	16.0	20.0	28.0	16.0	8.0	12.0	8.0	4.0	8.0
華道 N=37	51.4	24.3	35.1	16.2	18.9	35.1	5.4	8.1	27.0	2.7	5.4	8.1
書道 N=58	39.7	13.8	27.6	19.0	20.7	25.9	10.3	3.4	22.4	5.2	6.9	6.9
工芸 N=70	22.9	21.4	31.4	22.9	12.9	24.3	7.1	4.3	25.7	4.3	11.4	5.7
メディア芸術 N=129	27.9	17.8	38.0	24.8	24.0	38.8	10.9	11.6	20.9	2.3	9.3	0.8
その他 N=51	31.4	29.4	27.5	17.6	15.7	17.6	9.8	19.6	27.5	13.7	9.8	5.9
取り組んでいないが新たに取り組みたい N=406	28.8	15.8	40.6	16.0	12.6	26.6	6.9	7.1	20.9	3.2	12.8	6.2
取り組んでいないし関心もない N=420	13.6	9.3	22.9	8.8	6.9	16.9	3.3	3.1	11.9	2.1	43.6	8.6

問 28 問 26 で「14. 取り組んでいないが新たに取り組みたい」とお答えされた方に伺います。どのようなことがあれば取り組もうと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「身近で体験できる機会」、「無料又は安価で取り組めること」が突出して高い



「身近で体験できる機会」(62.8%)、「無料又は安価で取り組めること」(58.1%)が突出して高かった。

性別でみると、男女とも「身近で体験できる機会」、「無料又は安価で取り組めること」が高かったが、「身近で体験できる機会」は男性の 53.1%に対し女性は 69.2%と 16.1 ポイント、「無料又は安価で取り組めること」は男性の 47.6%に対し女性は 64.9%と 17.3 ポイント、女性の回答割合が高かった。

年齢別でみると、すべての世代で「身近で体験できる機会」、「無料又は安価で取り組めること」が高かったが、特に 65～69 歳については、2 項目とも回答割合が 7 割を超える結果となった。

## 【性別】

(単位：%)

	身近で体験できる機会	関連する情報の提供	一緒に取り組む仲間	適切な指導者	無料又は安価で取り組めること	その他	特になし	無回答
男 N=147	53.1	22.4	30.6	20.4	47.6	4.1	6.1	3.4
女 N=208	69.2	13.9	32.7	21.6	64.9	7.2	1.0	1.9

## 【年齢別】

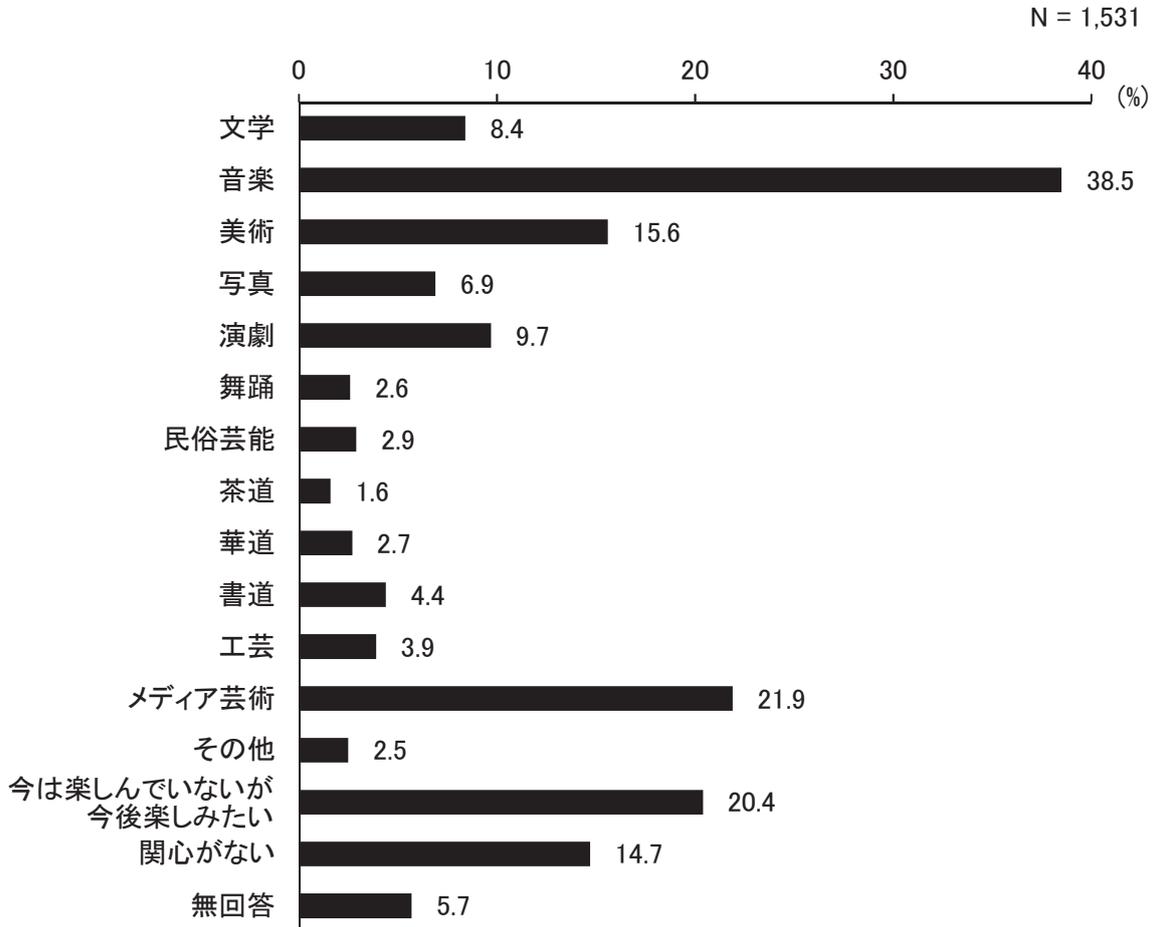
(単位：%)

	身近で体験できる機会	関連する情報の提供	一緒に取り組む仲間	適切な指導者	無料又は安価で取り組めること	その他	特になし	無回答
10歳代 N=5	60.0	-	-	-	80.0	-	-	20.0
20歳代 N=34	70.6	20.6	41.2	20.6	50.0	5.9	5.9	-
30歳代 N=53	60.4	11.3	34.0	20.8	54.7	7.5	1.9	3.8
40歳代 N=69	66.7	11.6	30.4	15.9	58.0	7.2	-	-
50歳代 N=81	61.7	19.8	23.5	27.2	58.0	9.9	2.5	3.7
60～64歳 N=56	62.5	17.9	41.1	17.9	58.9	-	3.6	3.6
65～69歳 N=44	70.5	18.2	29.5	20.5	77.3	4.5	-	2.3
70～74歳 N=22	50.0	18.2	27.3	22.7	40.9	-	13.6	4.5
75歳以上 N=21	47.6	19.0	28.6	23.8	52.4	-	9.5	-

【立場②：サービスの受け手として文化にふれる場合】

問 29 どのような分野の文化芸術を楽しんでいますか？  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「音楽」が最も多く 38.5%



サービスの受け手として文化にふれる場合は「音楽」が 38.5%と最も高く、次いでメディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータを利用した芸術など）が 21.9%となった。また、問 26 でたずねた自らが取り組む場合は、「音楽」、「メディア芸術」に次いで「写真」が 7.9%であったが、サービスの受け手として文化にふれる場合では、「音楽」、「メディア芸術」に次いで「美術」が 15.6%となった。

年齢別でみると、全世代において「音楽」が最も高かったが、20歳代については、「音楽」の 48.6%に対して「メディア芸術」も 46.7%と、ほぼ同様の回答割合となった。

職業別でみると、すべての職業において「音楽」が最も高かったが、勤め人と学生については、「メディア芸術」が約 3 割の回答となった。

## 【年齢別】

(単位：%)

	文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	民俗芸能	茶道	華道	書道	工芸	メディア芸術	その他	今後は楽しみたいが	今は楽しんでいないが	関心がない	無回答
10歳代 N=24	12.5	50.0	8.3	16.7	8.3	-	4.2	4.2	4.2	8.3	-	29.2	-	20.8	-	-	-
20歳代 N=105	18.1	48.6	16.2	10.5	12.4	2.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.9	46.7	-	12.4	11.4	3.8	
30歳代 N=193	9.3	40.9	13.0	6.2	8.8	0.5	1.0	2.1	0.5	3.1	2.6	36.8	0.5	20.7	15.0	2.1	
40歳代 N=268	7.8	43.3	15.3	7.1	6.7	3.0	3.4	2.2	2.6	3.7	2.2	29.5	1.5	21.3	13.4	1.5	
50歳代 N=267	7.9	42.7	16.5	4.5	12.7	3.4	1.5	0.7	2.6	1.9	2.6	22.5	3.7	24.0	12.0	1.9	
60～64歳 N=163	7.4	34.4	17.2	4.9	9.2	2.5	-	0.6	3.1	4.3	6.1	20.9	1.2	28.8	14.1	3.7	
65～69歳 N=194	5.2	35.1	18.0	9.3	12.4	2.1	2.1	1.5	3.1	5.2	5.2	11.9	3.1	23.7	14.4	6.2	
70～74歳 N=170	7.6	30.0	17.6	5.3	8.8	4.7	7.6	2.4	5.3	8.8	7.6	4.1	5.9	11.2	24.7	13.5	
75歳以上 N=139	7.9	30.2	12.2	8.6	7.2	2.2	6.5	1.4	2.9	8.6	4.3	3.6	3.6	15.1	15.8	19.4	

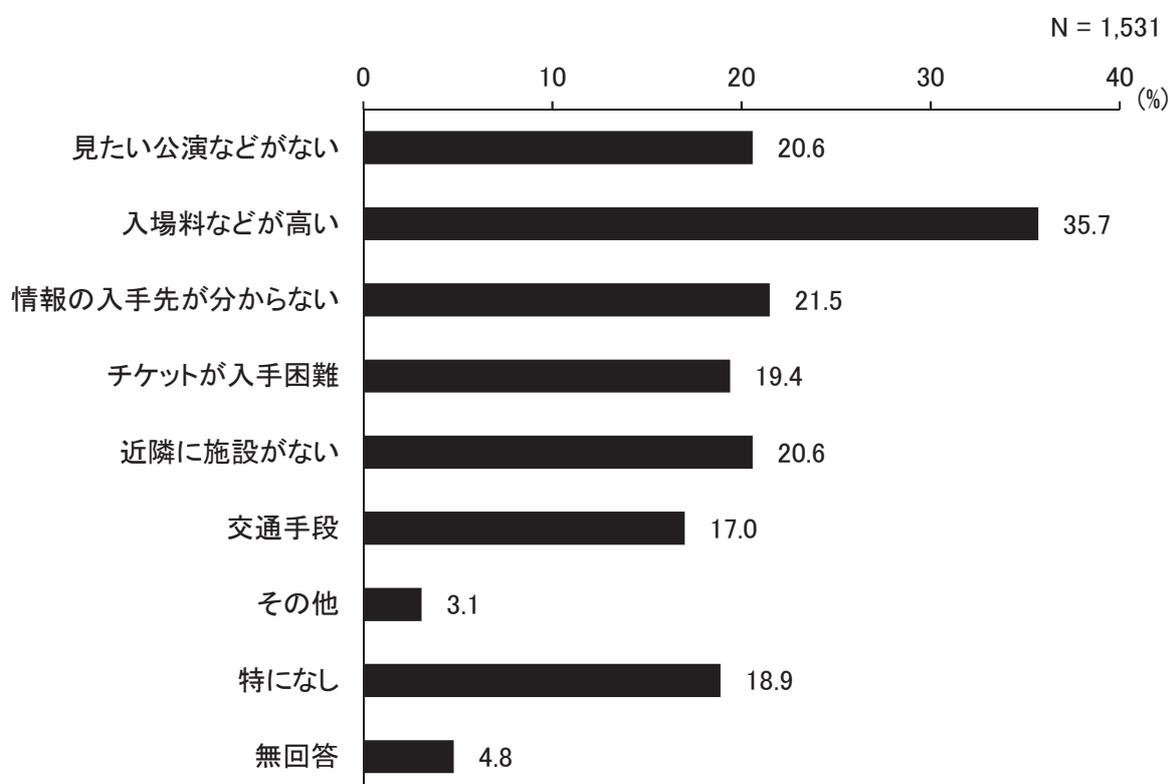
## 【職業別】

(単位：%)

	文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	民俗芸能	茶道	華道	書道	工芸	メディア芸術	その他	今後は楽しみたいが	今は楽しんでいないが	関心がない	無回答
勤め人 N=754	8.0	42.0	15.6	6.4	9.9	2.4	2.1	1.7	2.0	3.3	2.9	29.2	2.0	20.8	13.0	3.1	
商工・サービス・ 自由業 N=135	7.4	35.6	15.6	5.9	10.4	3.7	2.2	1.5	1.5	3.7	3.7	16.3	2.2	21.5	17.8	6.7	
農林水産業 N=34	11.8	26.5	17.6	2.9	2.9	2.9	-	-	-	-	5.9	14.7	14.7	8.8	20.6	5.9	
専業主婦（主夫） N=219	9.1	40.2	18.7	4.6	14.6	4.6	3.2	0.5	7.3	7.8	6.8	17.4	2.7	26.5	11.4	3.7	
学生 N=36	16.7	47.2	16.7	19.4	11.1	-	2.8	2.8	2.8	8.3	-	30.6	-	16.7	-	5.6	
無職 N=283	8.1	30.4	15.2	9.2	6.4	1.8	4.6	2.1	2.1	4.9	4.6	10.6	2.1	15.2	22.6	11.3	
その他 N=55	5.5	38.2	7.3	7.3	7.3	1.8	7.3	1.8	1.8	5.5	1.8	16.4	5.5	27.3	10.9	12.7	

問 30 文化にふれる際に課題に思うことは、どのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「入場料などが高い」が 35.7%



「入場料などが高い」が 35.7%と最も高く、他の項目については、「その他」、「特になし」を除くと、「情報の入手先が分からない」、「見たい公演がない」、「近隣に施設がない」、「チケットが入手困難」、「交通手段」のすべてが約 2 割の回答となった。

年齢別でみると、「特になし」を除くと 10 歳代から 60 歳代までは「入場料などが高い」が最も高かったものの、70～74歳では「情報の入手先が分からない」(23.5%)が、75歳以上では「交通手段」(26.6%)が最も高かった。

問 29 でたずねたサービスの受け手として楽しんでいる文化芸術の分野別の課題をみると、「その他」、「関心がない」を除くとすべての分野で「入場料などが高い」が最も高かった。(民俗芸能は「情報の入手先が分からない」と同率)。また、他の項目をみると、音楽、演劇では「チケットが入手困難」が、民俗芸能では「情報の入手先が分からない」、「近隣に施設がない」が、茶道では「近隣に施設がない」、「交通手段」が、華道では「情報の入手先が分からない」、「チケットが入手困難」、「近隣に施設がない」が、工芸では「情報の入手先がわからない」がそれぞれ 3 割を超える回答割合となった。今は楽しんでいないが今後楽しみたいと回答した人は「入場料などが高い」が 43.5%と最も高く、次いで「情報の入手先が分からない」が 33.5%となった。

## 【年齢別】

(単位：%)

	見たい公演などがない	入場料などが高い	情報の入手先が分からない	チケットが入手困難	近隣に施設がない	交通手段	その他	特になし	無回答
10歳代 N=24	25.0	54.2	29.2	33.3	20.8	16.7	-	4.2	-
20歳代 N=105	21.9	35.2	26.7	24.8	24.8	18.1	1.9	15.2	3.8
30歳代 N=193	22.8	39.9	26.9	17.1	23.3	15.5	5.7	18.7	1.0
40歳代 N=268	28.0	42.5	18.7	21.3	20.5	9.7	5.6	16.8	0.4
50歳代 N=267	21.3	37.8	21.7	24.3	23.6	14.6	3.0	15.7	6.0
60～64歳 N=163	20.9	40.5	19.6	25.8	22.7	19.0	1.8	14.1	2.5
65～69歳 N=194	20.6	35.1	16.5	14.9	14.9	21.6	2.1	23.7	6.2
70～74歳 N=170	10.0	22.4	23.5	13.5	17.6	18.2	0.6	31.2	7.6
75歳以上 N=139	14.4	22.3	20.1	10.1	17.3	26.6	2.2	20.1	12.2

## 【サービスの受け手として楽しんでいる文化芸術の分野別】

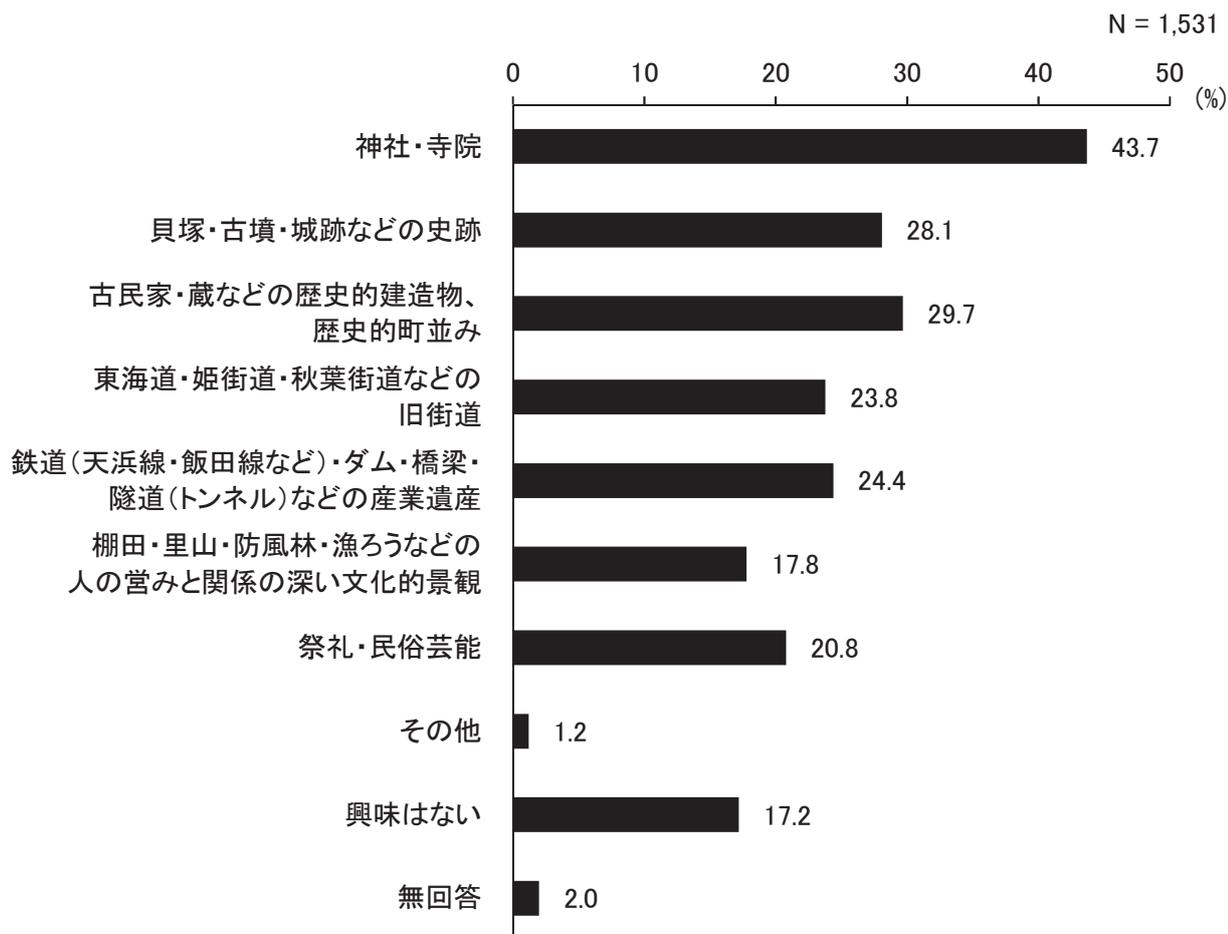
(単位：%)

	見たい公演などがない	入場料などが高い	情報の入手先が分からない	チケットが入手困難	近隣に施設がない	交通手段	その他	特になし	無回答
文学 N=128	18.0	44.5	26.6	24.2	29.7	25.0	9.4	8.6	1.6
音楽 N=589	25.0	44.1	18.0	30.4	20.7	17.5	4.8	11.4	1.2
美術 N=239	28.5	43.1	21.3	25.5	28.5	19.2	5.0	10.5	2.1
写真 N=106	24.5	43.4	25.5	22.6	25.5	20.8	4.7	11.3	1.9
演劇 N=148	27.7	47.3	23.6	37.8	20.9	21.6	3.4	9.5	1.4
舞踊 N=40	20.0	45.0	17.5	27.5	22.5	22.5	5.0	7.5	2.5
民俗芸能 N=44	22.7	36.4	36.4	27.3	31.8	25.0	2.3	6.8	2.3
茶道 N=24	16.7	41.7	20.8	16.7	37.5	33.3	4.2	4.2	4.2
華道 N=41	14.6	39.0	36.6	34.1	34.1	17.1	2.4	9.8	-
書道 N=68	20.6	35.3	23.5	20.6	27.9	25.0	4.4	11.8	-
工芸 N=59	23.7	44.1	33.9	25.4	27.1	20.3	1.7	10.2	1.7
メディア芸術 N=336	22.3	43.5	17.6	28.3	25.3	16.7	5.4	16.4	0.3
その他 N=39	33.3	30.8	25.6	20.5	28.2	17.9	10.3	7.7	2.6
今は楽しんでいないが今後楽しみたい N=313	22.0	43.5	33.5	16.3	26.5	19.2	3.2	11.2	1.9
関心がない N=225	15.6	11.6	14.2	4.4	8.9	12.9	0.4	59.6	1.8

# 1 1 歴史まちづくりについて

問 31 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どのような分野に興味がありますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「神社・寺院」に興味のある人が 43.7%



全体の 43.7%が「神社・寺院」に興味があると回答、次いで「古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的町並み」が 29.7%、「貝塚・古墳・城跡などの史跡」が 28.1%となり、歴史的なものとして一般的に認識されているものへの興味が高い傾向が読み取れる。また、「鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁・<sup>すいどう</sup>隧道(トンネル)などの産業遺産」が 24.4%、「東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道」が 23.8%、「祭礼・民俗芸能」が 20.8%、「棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の営みと関係の深い文化的景観」が 17.8%と、それぞれ一定の割合の回答となったが、イメージしやすいものへの興味がより高い傾向にあると考えられる。また、歴史や文化に関して「興味はない」と回答した人が 17.2%となった。

性別でみると、「神社・寺院」が男女ともに最も高く、次いで男性は「史跡」が、女性は「歴史

的建造物、歴史的町並み」が高く、性別による差がみられた。

年齢別でみると、「神社・寺院」が10歳代を除く全ての世代で割合が最も高いが、10歳代は、サンプル数は少ないものの、「祭礼・民俗芸能」が45.8%と最も高い結果となっている。また、「歴史的建造物、歴史的町並み」は60歳代以上で高い傾向がみられた。

【性別】

(単位：%)

	神社・寺院	貝塚・古墳・城跡などの史跡	歴史的町並み 古民家・蔵などの歴史的建造物、	東海街道・姫街道・秋葉街道などの旧街道	ダム・橋梁・産業遺産 トンネル	鉄道（天浜線・飯田線など）	文化的景観 人の営みと関係の深い	棚田・里山・防風林・漁ろう	祭礼・民俗芸能	その他	興味はない	無回答
男 N=612	43.3	32.8	27.3	26.5	26.6	17.0	22.7	2.0	16.5	1.3		
女 N=780	44.0	24.5	30.6	21.5	22.2	17.7	19.0	0.6	17.7	2.2		

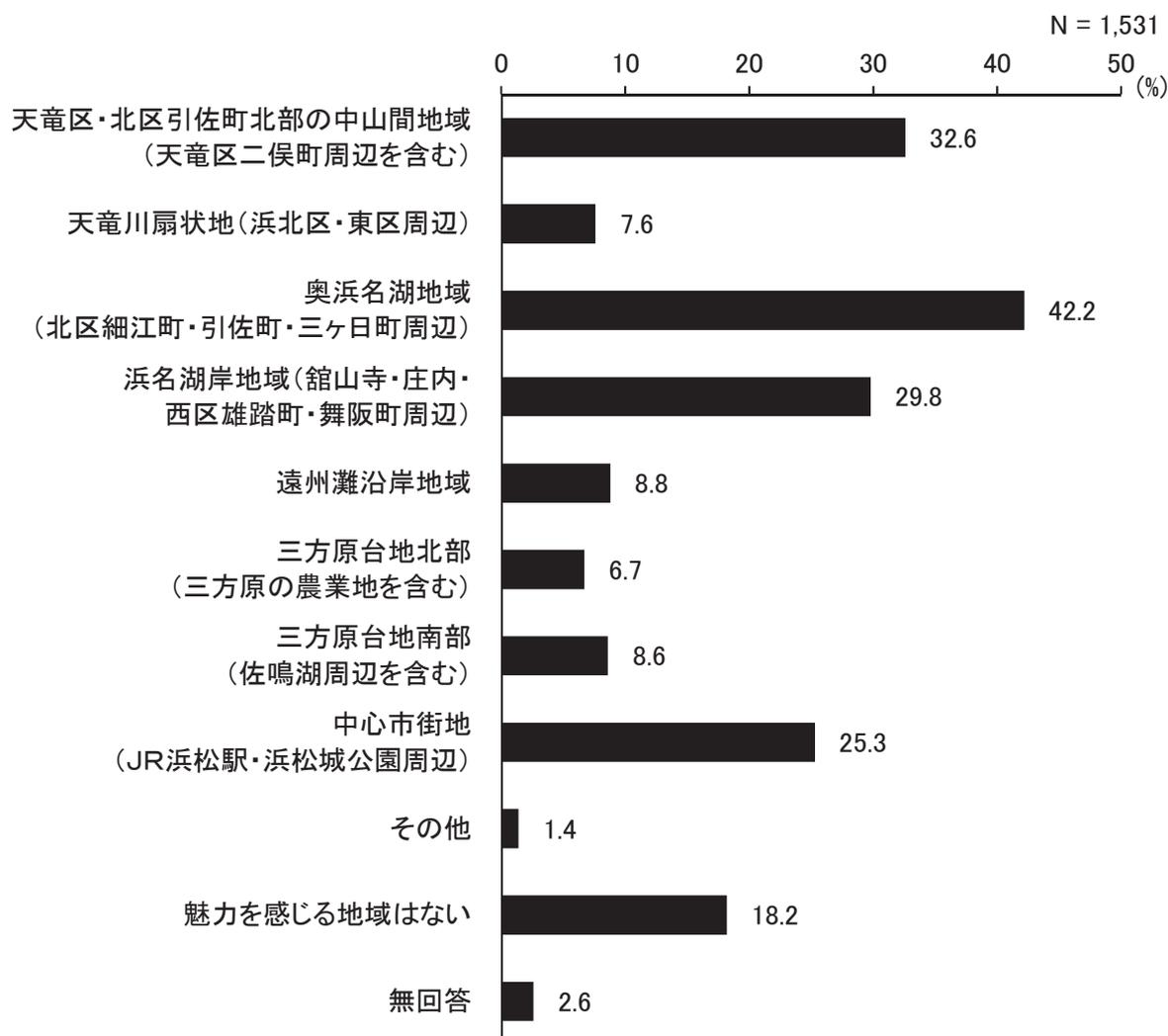
【年齢別】

(単位：%)

	神社・寺院	貝塚・古墳・城跡などの史跡	歴史的町並み 古民家・蔵などの歴史的建造物、	東海街道・姫街道・秋葉街道などの旧街道	ダム・橋梁・産業遺産 トンネル	鉄道（天浜線・飯田線など）	文化的景観 人の営みと関係の深い	棚田・里山・防風林・漁ろう	祭礼・民俗芸能	その他	興味はない	無回答
10歳代 N=24	25.0	29.2	12.5	16.7	20.8	4.2	45.8	-	16.7	-		
20歳代 N=105	37.1	15.2	17.1	17.1	18.1	8.6	14.3	2.9	31.4	1.9		
30歳代 N=193	42.5	30.1	25.4	17.6	22.3	11.4	20.7	1.0	21.8	-		
40歳代 N=268	45.9	33.6	23.9	24.3	25.4	14.9	18.7	3.0	16.4	-		
50歳代 N=267	42.7	27.7	27.7	27.7	28.1	19.5	20.2	0.7	16.5	1.1		
60～64歳 N=163	44.8	26.4	40.5	29.4	28.2	21.5	22.7	0.6	12.3	0.6		
65～69歳 N=194	44.8	27.8	33.0	24.2	23.2	20.6	18.6	1.0	13.9	4.1		
70～74歳 N=170	42.4	27.1	39.4	23.5	20.0	22.9	23.5	0.6	17.1	4.1		
75歳以上 N=139	50.4	29.5	35.3	23.7	27.3	23.7	24.5	-	14.4	5.0		

問 32 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どこの地域に魅力を感じますか。  
 (あてはまるものすべてに○を付けてください)

「奥浜名湖地域」に魅力を感じる人が 42.2%



42.2%の人が「奥浜名湖地域（北区細江町・引佐町・三ヶ日町周辺）」に魅力があると感じており、性別・年齢・居住地を問わず、「奥浜名湖地域」に魅力を感じると回答した人の割合が高い。次いで「天竜区・北区引佐町北部の中山間地域（天竜区二俣町周辺を含む）」が32.6%、「浜名湖岸地域（舘山寺・庄内・西区雄踏町・舞阪町周辺）」が29.8%、「中心市街地（JR浜松駅・浜松城公園周辺）」が25.3%と続くが、この上位4地域については、居住地に関わらず割合が高い傾向にあり、山・浜名湖・街中といった景観的に特徴のある地域に魅力を感じている人が多いと言える。また、「魅力を感じる地域はない」と回答した人は18.2%であった。

ここで、歴史や文化に関して興味のある分野と魅力を感じる地域との関係を見ると、各分野とも、「奥浜名湖地域」、「中山間地域」、「浜名湖岸地域」を選ぶ人が多く、次いで「中心市街地」となっており、これは、歴史的建造物等や祭礼等の文化財の分布状況と概ね一致する。このことから、文化財の分布状況と、魅力を感じる地域との相関性も推察される。

また、魅力を感じる地域について年齢別でみると、「奥浜名湖地域」が10歳代を除く全ての年

代で割合が最も高いが、サンプル数は少ないものの、10歳代では「中心市街地」が41.7%と最も高くなっている。また、「奥浜名湖地域」、「中山間地域」は、年代が高い方が魅力を感じる人の割合も高い傾向が読み取れる。

行政区別でみると、自身が居住する地域に魅力を感じている人の割合が、他の地域に居住する人より高くなる傾向があり、活動範囲が影響している可能性が高いと推察される。

【年齢別】

(単位：%)

	中山間地域・北区引佐町二俣町の周辺を含む)	天竜川扇状地(浜北区・東区周辺)	引佐町・三ヶ日町周辺)	奥浜名湖地域(北区細江町・舞阪町周辺)	浜名湖岸地域(舘山寺・庄内・西区雄踏町)	遠州灘沿岸地域	(三方原の農業地を含む)	(三方原台地南部(佐鳴湖周辺を含む)	浜松城公園周辺)	中心市街地(JR浜松駅・)	その他	魅力を感じる地域はない	無回答
10歳代 N=24	33.3	4.2	20.8	20.8	8.3	4.2	-	41.7	-	20.8	-	-	
20歳代 N=105	14.3	5.7	27.6	21.0	8.6	5.7	4.8	21.0	1.0	33.3	3.8	-	
30歳代 N=193	26.4	8.3	36.3	29.0	8.3	6.2	5.2	22.3	2.1	27.5	-	-	
40歳代 N=268	34.3	6.3	34.3	26.1	10.1	5.2	7.1	30.2	0.7	22.0	1.1	-	
50歳代 N=267	31.1	9.0	47.6	33.0	8.6	4.9	7.1	21.3	1.9	17.6	3.4	-	
60～64歳 N=163	38.7	8.6	46.0	33.1	8.6	6.7	10.4	25.8	1.2	13.5	0.6	-	
65～69歳 N=194	35.1	5.7	48.5	33.0	7.2	4.6	10.3	24.7	2.1	13.4	3.1	-	
70～74歳 N=170	38.2	8.2	46.5	28.8	7.1	11.2	11.2	24.1	0.6	13.5	5.3	-	
75歳以上 N=139	38.1	10.1	51.8	33.8	12.9	12.2	14.4	30.2	2.2	6.5	4.3	-	

【行政区別】

(単位：%)

	中山間地域・北区引佐町二俣町の周辺を含む)	天竜川扇状地(浜北区・東区周辺)	引佐町・三ヶ日町周辺)	奥浜名湖地域(北区細江町・舞阪町周辺)	浜名湖岸地域(舘山寺・庄内・西区雄踏町)	遠州灘沿岸地域	(三方原の農業地を含む)	(三方原台地南部(佐鳴湖周辺を含む)	浜松城公園周辺)	中心市街地(JR浜松駅・)	その他	魅力を感じる地域はない	無回答
中区 N=284	32.7	6.0	48.2	33.8	9.5	8.1	14.1	33.8	1.8	15.1	1.8	-	
東区 N=227	31.3	10.6	43.6	32.2	10.6	5.3	7.0	32.2	1.3	18.1	1.8	-	
西区 N=224	24.6	2.7	41.5	42.9	12.5	6.3	12.5	21.4	1.3	20.1	2.2	-	
南区 N=205	23.4	6.3	40.5	26.3	12.2	3.4	10.7	32.7	2.0	17.1	4.4	-	
北区 N=191	34.6	3.1	53.9	18.8	4.7	16.8	6.8	13.6	1.6	20.4	1.0	-	
浜北区 N=218	31.2	16.1	37.2	27.5	6.4	3.7	1.8	20.2	1.4	18.8	2.3	-	
天竜区 N=173	55.5	8.7	27.7	23.7	4.6	4.0	3.5	18.5	0.6	20.2	3.5	-	

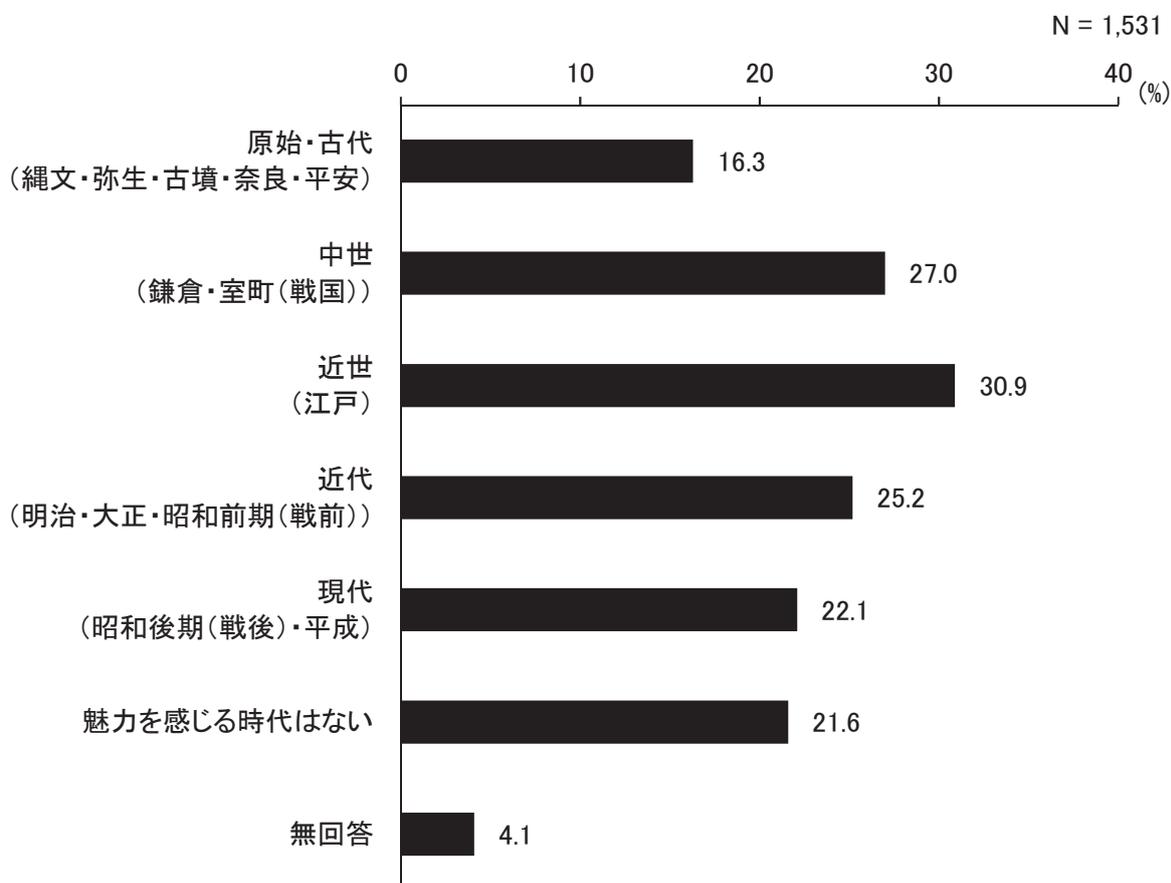
【歴史や文化に関して興味のある分野と魅力を感じる地域との関係】

(単位：人)

分野	天竜区・北区引佐町周辺を含む) (天竜区・北区引佐町周辺を含む)	天竜川扇状地 (浜北区・東区周辺)	奥浜名湖地域 (北区細江町・引佐町・三ヶ日町周辺)	浜名湖岸地域 (館山寺・庄内・西区雄踏町・舞阪町周辺)	遠州灘沿岸地域	三方原台地北部 (三方原の農業地を含む)	三方原台地南部 (佐鳴湖周辺を含む)	中心市街地 (JR浜松駅・浜松城公園周辺)	その他	魅力を感じる地域はない	無回答
神社・寺院 N=669	305	80	383	254	70	60	72	203	14	56	3
貝塚・古墳・城跡などの史跡 N=430	196	64	238	166	60	54	68	180	11	29	3
古民家・蔵などの歴史的建造物、 歴史的町並み N=455	220	62	256	174	51	51	66	141	7	35	6
東海道・姫街道・秋葉街道などの 旧街道 N=364	164	54	219	166	69	49	55	136	4	13	6
鉄道(天浜線・飯田線など)・ダム・橋梁・ 隧道(トンネル)などの産業遺産 N=374	180	50	217	157	56	42	53	135	5	19	2
棚田・里山・防風林・漁ろうなどの 人の営みと関係の深い文化的景観 N=272	161	39	169	104	47	41	44	73	4	12	1
祭礼・民俗芸能 N=319	141	42	170	128	50	32	51	113	4	25	3
その他 N=19	6	2	7	6	2	4	5	11	4	2	1
興味はない N=264	16	5	21	31	10	5	7	16	2	170	12
無回答 N=30	4	2	8	6	4	2	4	8	-	-	14

問 33 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どの時代に魅力を感じますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

「近世（江戸）」を中心とした前後の時代に魅力を感じる人が多い



「近世（江戸）」の30.9%をはじめ、「中世（鎌倉・室町（戦国）」が27.0%、「近代（明治・大正・昭和前期（戦前）」が25.2%と、江戸時代を中心にその前後の時代に魅力を感じている人が多い傾向がみられた。また、「魅力を感じる時代はない」と回答した人は21.6%であった。

性別でみると、男性は「近世」が34.3%と最も高く、次いで「中世」が29.9%、「近代」が26.0%と続き、「魅力を感じる時代はない」と回答した人は19.9%であった。女性は男性に比べ、最も高い「近世」を含め、その他の時代や「魅力を感じる時代はない」の回答割合はどれも大差がない結果となった。

年齢別でみると、30歳代以下は「魅力を感じる時代はない」の割合が比較的高いが、40歳代以上は低くなっており、年齢が高い世代の方が歴史や文化に対する興味が高いと言える。

## 【性別】

(単位：%)

	原始・古代 (縄文・弥生・古墳・奈良・平安)	中世 (鎌倉・室町(戦国))	近世 (江戸)	近代 (明治・大正・昭和前期(戦前))	現代 (昭和後期(戦後)・平成)	魅力を感じる時代はない	無回答
男 N=612	14.2	29.9	34.3	26.0	21.6	19.9	2.8
女 N=780	17.6	24.4	28.5	25.3	22.1	23.2	4.7

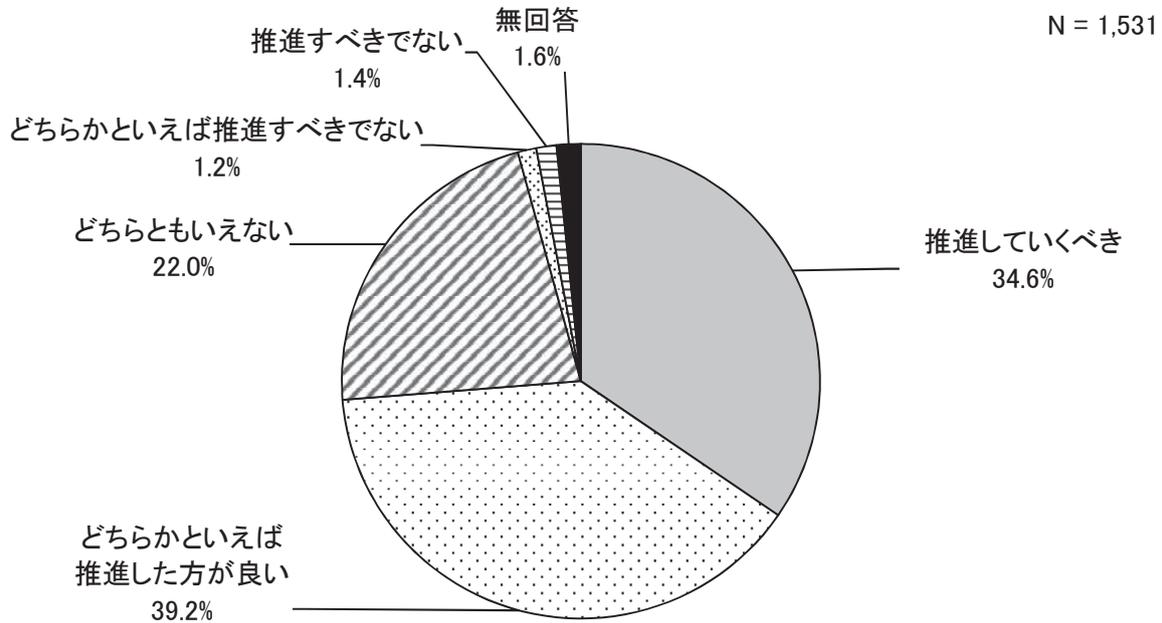
## 【年齢別】

(単位：%)

	原始・古代 (縄文・弥生・古墳・奈良・平安)	中世 (鎌倉・室町(戦国))	近世 (江戸)	近代 (明治・大正・昭和前期(戦前))	現代 (昭和後期(戦後)・平成)	魅力を感じる時代はない	無回答
10歳代 N=24	25.0	41.7	25.0	8.3	20.8	25.0	-
20歳代 N=105	10.5	19.0	20.0	12.4	18.1	43.8	2.9
30歳代 N=193	14.5	28.0	32.6	18.1	16.1	29.0	1.0
40歳代 N=268	16.4	35.1	30.6	23.1	19.8	22.4	1.9
50歳代 N=267	16.1	26.6	31.1	27.0	22.8	21.3	4.5
60～64歳 N=163	19.0	33.1	39.3	28.2	20.2	17.2	1.2
65～69歳 N=194	19.1	21.6	34.0	29.9	22.7	16.5	6.2
70～74歳 N=170	18.2	24.1	30.6	26.5	24.7	19.4	4.7
75歳以上 N=139	10.8	18.7	25.9	37.4	35.3	7.9	12.2

問 34 あなたは、浜松市においても、歴史や文化を生かしたまちづくりを推進していくべきと考えますか。(1つだけ○を付けてください)

「推進していくべき」、「どちらかといえば推進した方が良い」と回答した人は 73.8%



「推進していくべき」(34.6%)と「どちらかといえば推進した方が良い」(39.2%)とを合わせると73.8%となり、「どちらかといえば推進すべきでない」(1.2%)、「推進すべきでない」(1.4%)を大きく上回った。また、「どちらともいえない」と回答した人は22.0%となった。

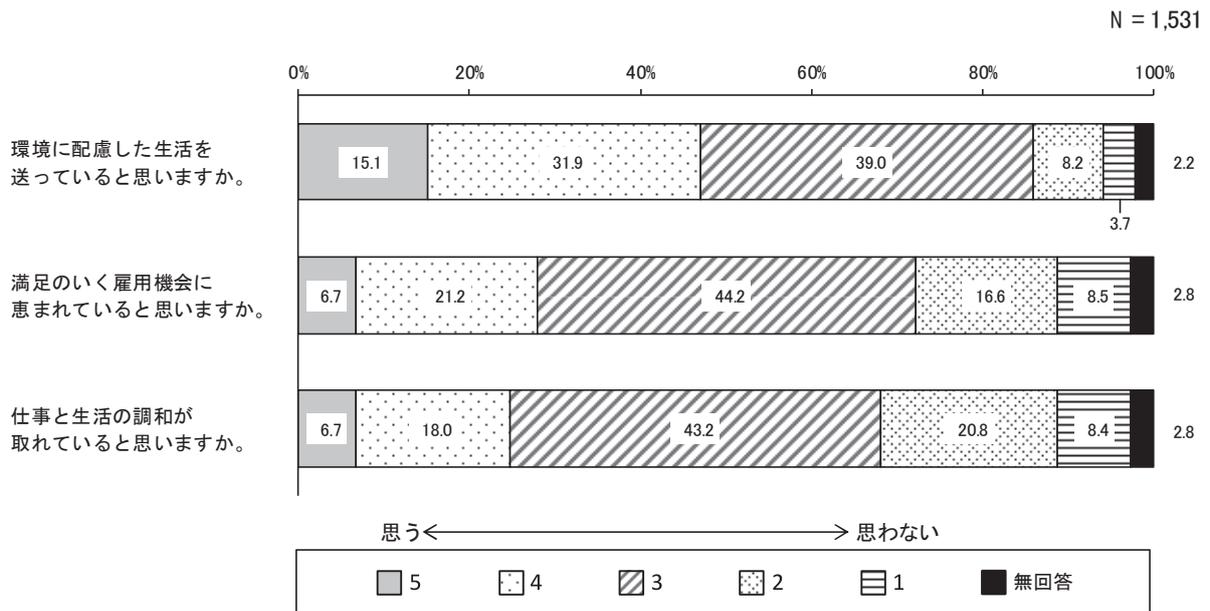
問 31～34の調査結果から、分野では「神社・寺院」や「歴史的建造物、歴史的町並み」、「史跡」、時代では「近世」を中心とした時代など、歴史や文化と聞いて連想しやすいものや時代に興味や魅力を感じている人がより多いことが分かる。また、地域では「浜名湖」や「中山間地域」といった景観や祭礼等、人の営みに特徴のある地域に魅力を感じる人が多いことも分かる。ただし、性別や年齢による傾向の違いがあり、この傾向を読み解いて観光面等に生かすことも、歴史まちづくりを進めるために有効と考えられる。また、興味や魅力の有無を問う設問に否定的な回答が2割ほどある一方で、歴史や文化を生かしたまちづくりを推進していくべきとの回答が大多数を占めており、歴史・文化を大切にしていこうという考えが根付いていることもうかがえる。今後は、興味や魅力のある地域・分野を包括するよう浜松の歴史や文化の掘り起こしを行い、歴史まちづくりを推進していきたい。

## 1 2 浜松市戦略計画 2018 について

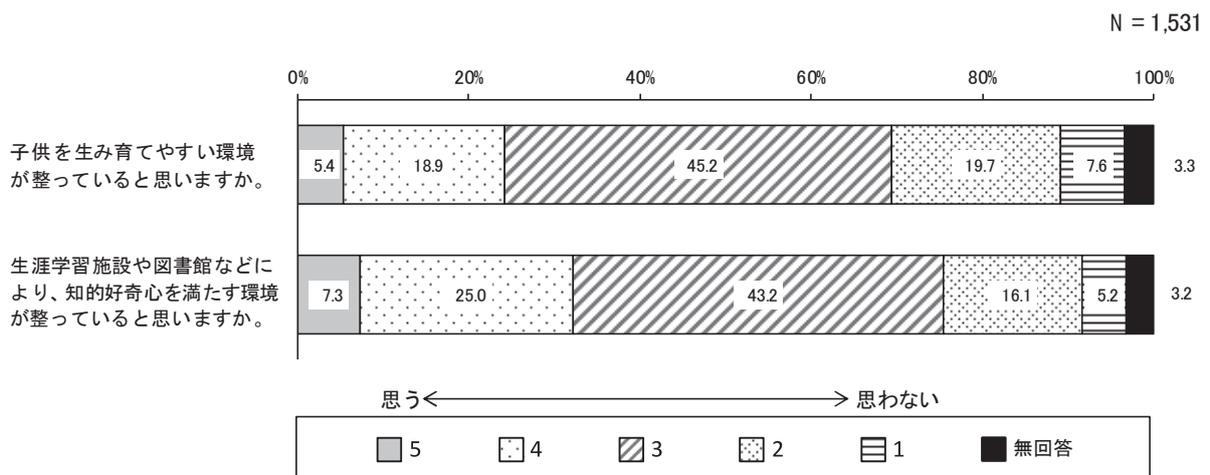
### ◆ 市政に関する現状認識について

問 35 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

#### 【若者がチャレンジできるまち】

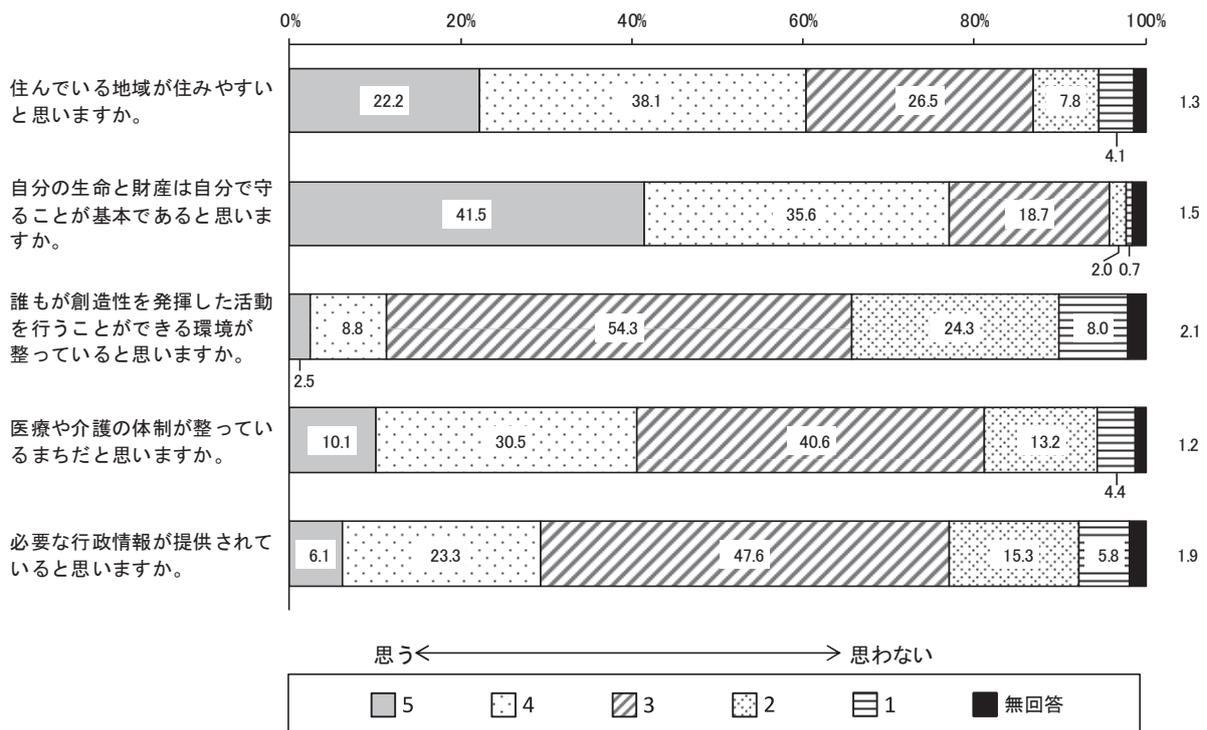


#### 【子育て世代を全力で応援するまち】



## 【持続可能で創造性あふれるまち】

N = 1,531



評価が「4」と「5」を合わせた『思う』の割合が最も高かったのは、「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」の77.1%だった。最も低かったのは「誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。」の11.3%だった。

平成29年度調査と比較すると、10項目全てで『思う』の割合が上昇した。『思う』の割合が最も上昇したのは「満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。」で9.5ポイント上昇した。

82ページ【年齢別】・【性別】【行政区別】の表は評価が「5」を10点、「4」を7.5点、「3」を5点、「2」を2.5点、「1」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど思う度合が高くなる指数である。

年齢別で見ると、いずれの年齢層でも「住んでいる地域が住みやすいと思いますか。」と「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」が上位2項目となった。「誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。」は、いずれの年齢層でも指数が最も低かった。

性別でも、男女とも「自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。」の指数が最も高かった。

## 【平成 29 年度調査との比較（差が大きい順）】

(単位：%)

	平成30年度 結果(A)	平成29年度 結果(B)	差 (A-B)
満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	27.9	18.4	9.5
子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。	24.3	16.3	8.0
医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	40.6	33.1	7.5
仕事と生活の調和が取れていると思いますか。	24.7	17.3	7.4
住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	60.3	54.5	5.8
必要な行政情報が提供されていると思いますか。	29.4	24.1	5.3
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	32.3	27.1	5.2
環境に配慮した生活を送っていると思いますか。	47.0	44.4	2.6
誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。	11.3	9.3	2.0
自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	77.1	76.5	0.6

\*A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『思う』の割合

◎=6点以上 △=4点以下  
(単位:点)

【年齢別】

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
若者が できるまち チャレンジ	環境に配慮した生活を送っていると思いますか。	◎ 7.1	◎ 6.2	5.6	◎ 6.3	◎ 6.2	◎ 6.1	◎ 6.0	◎ 6.4	◎ 6.7
	満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	5.7	5.5	5.3	5.2	4.7	4.7	4.8	4.8	5.4
	仕事と生活の調和が取れていると思いますか。	5.0	5.1	4.7	4.9	4.7	4.5	4.9	4.9	5.3
援を子 す全育 る力 で ま で 世 ち 代 応	子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。	5.0	5.0	4.6	5.0	4.8	4.7	4.8	5.0	5.3
	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	5.4	5.5	5.3	5.6	5.0	5.1	5.0	5.6	5.8
持 あ 続 ふ 可 れ 能 で ま ち 創 造 性	住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	◎ 7.4	◎ 7.1	◎ 6.9	◎ 6.6	◎ 6.5	◎ 6.6	◎ 6.5	◎ 6.7	◎ 6.8
	自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	◎ 7.4	◎ 7.6	◎ 7.8	◎ 7.9	◎ 7.9	◎ 7.8	◎ 8.3	◎ 8.0	◎ 8.2
	誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。	4.3	4.5	4.2	4.2	4.1	△ 4.0	4.3	4.5	5.0
	医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	◎ 6.2	5.8	5.6	5.7	5.5	5.4	5.6	◎ 6.1	◎ 6.4
	必要な行政情報が提供されていると思いますか。	5.2	5.1	5.0	5.4	5.0	5.0	5.1	5.4	◎ 6.0

【性別】【行政区別】

(単位:点)

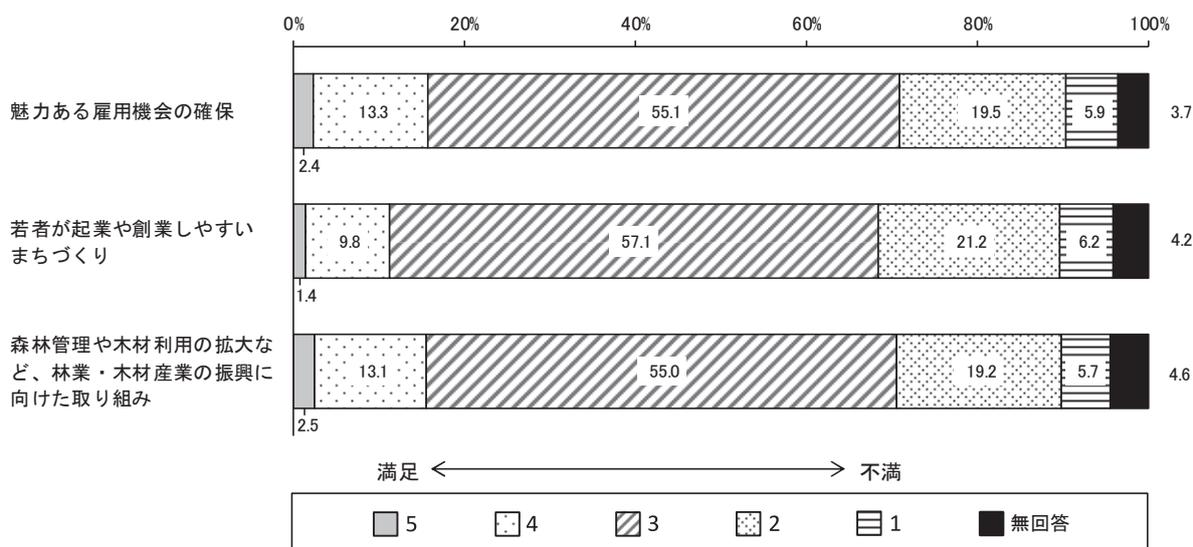
		男性	女性	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
若者が できるまち チャレンジ	環境に配慮した生活を送っていると思いますか。	◎ 6.2	◎ 6.3	◎ 6.3	◎ 6.2	◎ 6.3	◎ 6.3	◎ 6.2	◎ 6.1	5.8
	満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	5.2	4.9	5.3	5.0	4.9	5.1	4.9	5.5	4.3
	仕事と生活の調和が取れていると思いますか。	4.9	4.8	5.0	4.9	4.9	4.7	4.7	5.1	4.3
援を子 す全育 る力 で ま で 世 ち 代 応	子供を生み育てやすい環境が整っていると思いますか。	4.8	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	4.7	5.2	4.2
	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	5.2	5.5	5.2	5.3	5.7	5.2	5.5	5.7	4.7
持 あ 続 ふ 可 れ 能 で ま ち 創 造 性	住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	◎ 6.7	◎ 6.8	◎ 7.1	◎ 6.7	◎ 6.8	◎ 6.7	◎ 6.3	◎ 7.4	5.4
	自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	◎ 8.0	◎ 7.9	◎ 8.1	◎ 8.0	◎ 7.8	◎ 7.9	◎ 7.9	◎ 7.9	◎ 7.7
	誰もが創造性を発揮した活動を行うことができる環境が整っていると思いますか。	4.4	4.3	4.3	4.6	4.4	4.4	4.2	4.6	△ 3.7
	医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	5.8	5.6	◎ 6.0	5.9	5.8	5.8	◎ 6.0	5.7	4.8
	必要な行政情報が提供されていると思いますか。	5.2	5.3	5.4	5.2	5.3	5.4	5.1	5.3	4.5

◆ 市の取り組みの満足度評価について

問 36 あなたは、浜松市の取り組みについて日ごろどのように感じていますか。  
各項目について「満足」から「不満」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

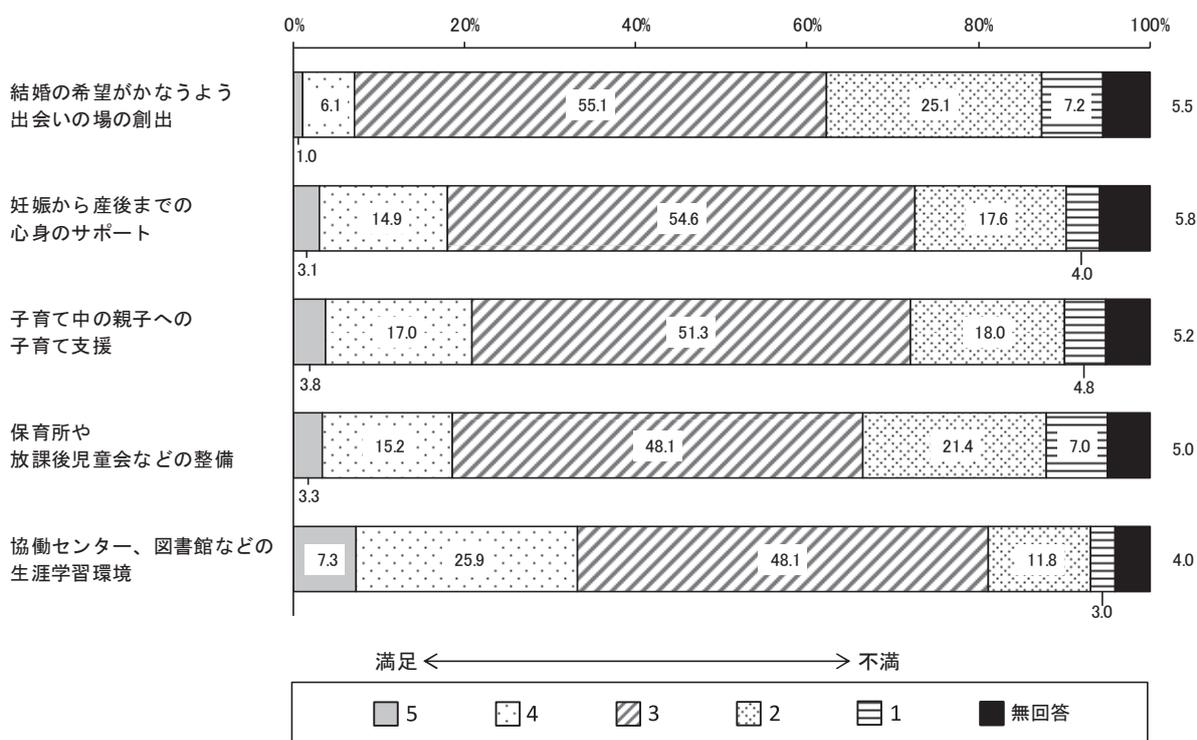
【若者がチャレンジできるまち】

N = 1,531



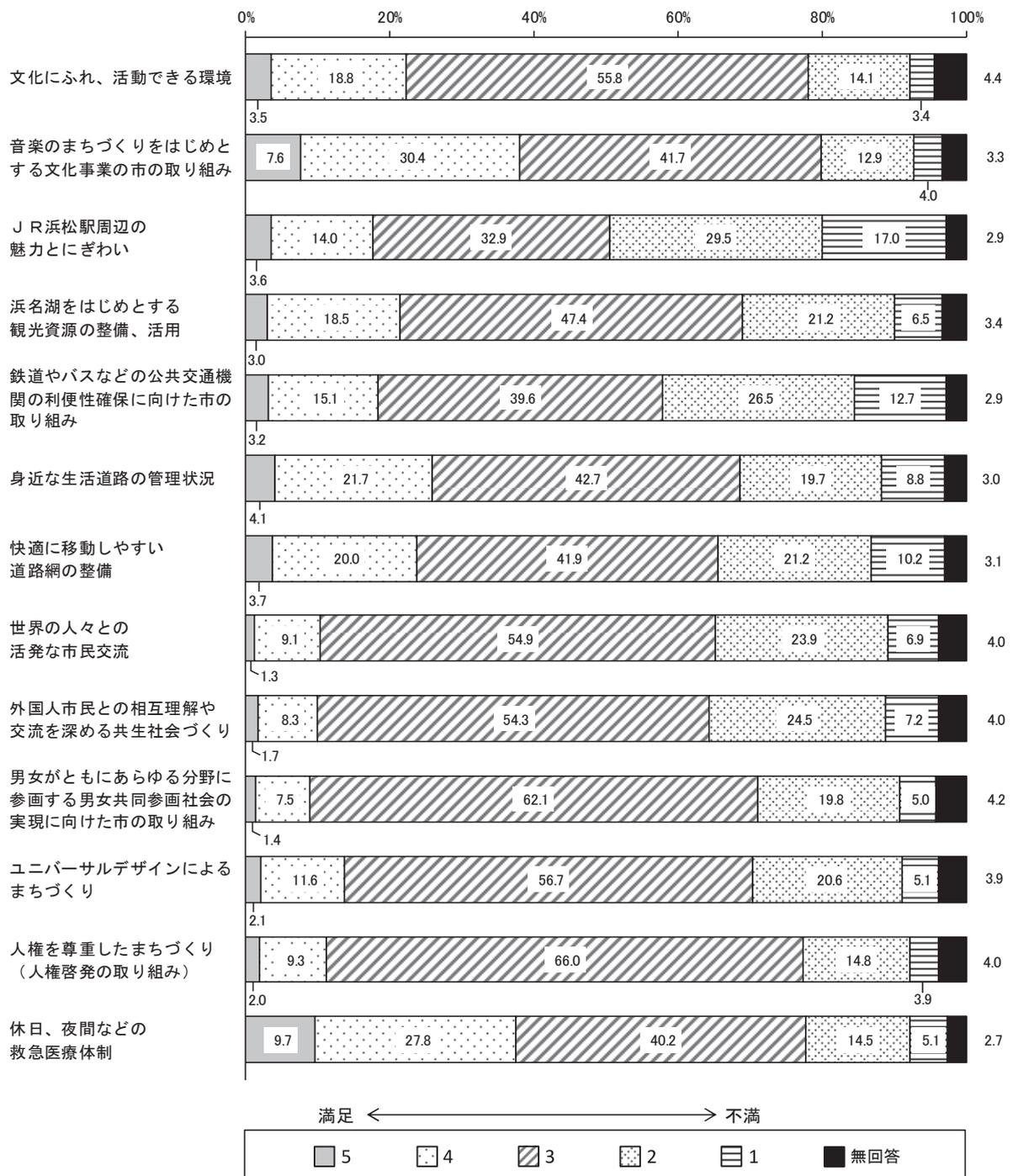
【子育て世代を全力で応援するまち】

N = 1,531



## 【持続可能で創造性あふれるまち】

N = 1,531



評価が「4」と「5」を合わせた『満足している』の割合が最も高かったのは、「音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」の38.0%となり、次いで「休日、夜間などの救急医療体制」（37.5%）、「協働センター、図書館などの生涯学習環境」（33.2%）の順に高かった。

平成29年度調査と比較すると、21項目中20項目で『満足している』の割合が上昇した。『満足している』の割合が最も上昇したのは「魅力ある雇用機会の確保」で7.8ポイント上昇した。問35でも雇用機会に関する項目の評価が高まっており、雇用環境が改善していることがうかがえる。

86～87ページの【年齢別】・【性別】【行政区別】の表は評価が「5」を10点、「4」を7.5点、「3」を5点、「2」を2.5点、「1」を0点と点数を付けて集計したものである。この数値は、10点に近いほど満足度が高くなる指数である。

項目別でみると、【若者がチャレンジできるまち】はいずれも年齢層による明確な差はなく、若者だから指数が高い・低いといった傾向はみられなかった。

【子育て世代を全力で応援するまち】のうち、「結婚の希望がかなうよう出会いの場の創出」は50歳代以上よりも40歳代以下の年齢層の指数が高く、10歳代が最も高かった。その他は、概ね50歳代の指数が低く、50歳代を底に若年層・高齢者層の指数が高くなる傾向がみられた。

【持続可能で創造性あふれるまち】はいずれの年齢層も、「音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み」と「休日、夜間などの救急医療体制」の指数が高かった。

【平成29年度調査との比較（プラス幅が大きい順）】

（単位：％）

	平成30年度 結果(A)	平成29年度 結果(B)	差 (A-B)
魅力ある雇用機会の確保	15.7	7.9	7.8
子育て中の親子への子育て支援	20.8	14.5	6.3
身近な生活道路の管理状況	25.8	19.5	6.3
休日、夜間などの救急医療体制	37.5	31.8	5.7
妊娠から産後までの心身のサポート	18.0	13.2	4.8
森林管理や木材利用の拡大など、林業・木材産業の振興に向けた取り組み	15.6	11.3	4.3
快適に移動しやすい道路網の整備	23.7	19.9	3.8
若者が起業や創業しやすいまちづくり	11.2	7.6	3.6
JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	17.6	14.2	3.4
音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み	38.0	34.6	3.4
協働センター、図書館などの生涯学習環境	33.2	29.9	3.3
保育所や放課後児童会などの整備	18.5	15.4	3.1
浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	21.5	19.3	2.2
鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み	18.3	16.3	2.0
世界の人々との活発な市民交流	10.4	8.9	1.5
外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	10.0	8.8	1.2
結婚の希望がかなうよう出会いの場の創出	7.1	6.2	0.9
男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み	8.9	8.1	0.8
ユニバーサルデザインによるまちづくり	13.7	13.2	0.5
人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	11.3	11.2	0.1
文化にふれ、活動できる環境	22.3	23.2	▲ 0.9

\*A・Bの数値は「5」と「4」を合わせた『満足している』の割合

◎=6点以上 △=4点以下

(単位:点)

## 【年齢別】

項目		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
若者が できるまち チャレンジ	魅力ある雇用機会の確保	4.8	4.8	4.6	4.7	4.5	4.3	4.7	4.8	5.1
	若者が起業や創業しやすいまちづくり	4.7	4.4	4.4	4.6	4.2	4.2	4.5	4.6	4.8
	森林管理や木材利用の拡大など、林業・木材産業の振興に向けた取り組み	4.9	5.1	4.7	5.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.8
子育て 世代を 全力で 応援する まち	結婚の希望がかなうよう出会いの場の創出	4.8	4.2	4.5	4.4	△ 4.0	△ 4.0	△ 4.0	△ 3.9	4.2
	妊娠から産後までの心身のサポート	5.3	4.7	5.0	5.0	4.6	4.8	4.9	4.8	5.3
	子育て中の親子への子育て支援	5.3	4.9	4.9	5.2	4.6	4.7	4.9	5.0	5.3
	保育所や放課後児童会などの整備	4.8	4.8	4.4	4.7	4.3	4.4	4.9	4.8	5.2
	協働センター、図書館などの生涯学習環境	5.8	5.7	5.5	5.9	5.2	5.2	5.7	5.8	◎ 6.1
持続可能 で創造性 あふれる まち	文化にふれ、活動できる環境	5.3	5.4	5.1	5.3	5.1	4.8	4.9	5.2	5.4
	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み	◎ 6.3	5.7	5.5	5.8	5.6	5.5	5.4	5.7	◎ 6.0
	JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	4.1	4.2	△ 3.5	△ 3.4	△ 3.7	△ 3.4	4.2	4.6	5.0
	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	5.3	4.9	4.9	4.5	4.6	4.4	4.6	5.0	5.5
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み	4.8	4.3	4.4	4.1	△ 3.8	4.1	4.3	4.4	4.6
	身近な生活道路の管理状況	4.7	5.3	4.9	5.1	4.4	4.6	4.8	4.8	5.0
	快適に移動しやすい道路網の整備	4.6	5.1	4.6	4.8	4.2	4.5	4.5	4.9	5.0
	世界の人々との活発な市民交流	4.3	4.4	4.2	4.6	4.2	△ 4.0	4.1	4.5	4.6
	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.3	4.4	4.3	4.6	4.1	△ 3.9	△ 4.0	4.5	4.6
	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み	4.8	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.4	4.7	4.7
	ユニバーサルデザインによるまちづくり	◎ 6.0	5.4	4.5	4.8	4.3	4.2	4.4	4.6	4.8
	人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	5.7	5.0	4.8	4.8	4.6	4.4	4.6	4.8	5.0
	休日、夜間などの救急医療体制	◎ 6.4	5.7	5.2	5.4	5.2	5.4	5.8	◎ 6.1	◎ 6.2

◎=6点以上 △=4点以下

(単位:点)

## 【性別】【行政区別】

項目		男性	女性	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区
若者が できるまち チャレンジ	魅力ある雇用機会の確保	4.7	4.6	4.7	4.8	4.7	4.6	4.7	5.0	△ 4.0
	若者が起業や創業しやすいまちづくり	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.7	4.3	4.7	△ 3.8
	森林管理や木材利用の拡大など、林業・木材産業の振興に向けた取り組み	4.7	4.6	4.8	4.8	4.6	4.8	4.6	4.8	4.1
子育て 世代を 全力で 応援する まち	結婚の希望がかなうよう出会いの場の創出	4.1	4.3	4.4	4.3	△ 4.0	4.4	△ 3.9	4.3	△ 3.5
	妊娠から産後までの心身のサポート	4.8	5.0	5.1	4.9	4.9	4.9	4.9	5.1	4.2
	子育て中の親子への子育て支援	4.8	5.1	5.1	5.0	4.9	4.8	4.9	5.1	4.4
	保育所や放課後児童会などの整備	4.7	4.7	4.7	4.5	4.8	4.7	4.8	4.7	4.2
	協働センター、図書館などの生涯学習環境	5.5	5.7	5.6	5.4	5.6	5.7	5.7	◎ 6.0	5.2
持続可能 で創造性 あふれる まち	文化にふれ、活動できる環境	5.0	5.2	5.3	5.1	5.1	5.2	5.2	5.2	4.7
	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み	5.5	5.8	5.8	5.7	5.6	◎ 6.0	5.5	5.6	5.0
	JR浜松駅周辺の魅力とにぎわい	△ 3.7	△ 4.0	△ 3.7	△ 3.9	4.1	△ 4.0	△ 3.8	△ 4.0	△ 4.0
	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	4.5	4.9	4.8	4.6	4.8	4.8	4.8	4.9	4.5
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み	4.2	4.3	4.5	4.2	4.2	4.5	△ 4.0	4.5	△ 3.3
	身近な生活道路の管理状況	4.8	4.9	5.2	4.7	5.0	5.1	4.7	5.2	△ 3.6
	快適に移動しやすい道路網の整備	4.6	4.7	4.9	4.8	4.7	5.0	4.2	5.0	△ 3.5
	世界の人々との活発な市民交流	4.2	4.4	4.6	4.5	4.3	4.5	△ 4.0	4.4	△ 3.8
	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	4.3	4.3	4.6	4.6	4.2	4.5	△ 3.9	4.2	△ 4.0
	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み	4.5	4.5	4.7	4.6	4.4	4.6	4.3	4.5	4.2
	ユニバーサルデザインによるまちづくり	4.6	4.7	4.8	4.6	4.5	4.8	4.6	4.6	4.3
	人権を尊重したまちづくり(人権啓発の取り組み)	4.7	4.8	4.9	4.8	4.7	4.8	4.7	4.9	4.5
	休日、夜間などの救急医療体制	5.4	5.7	5.9	5.5	5.5	◎ 6.0	5.9	5.5	4.7

# 付録 調査票

---



— あなたの声を市政に生かす —

## 平成30年度 **市民アンケート調査** (第45回)

日ごろ、市政の推進につきましては、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
浜松市では、市民の皆さまのお考えを伺うことで市政の充実を図り、市民の皆さまの暮らしが豊かになるように努めていきたいと考えております。

つきましては、今後のまちづくりの基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施させていただきます。この調査を実施するにあたり、市内在住の満18歳以上の皆さまの中から無作為に3,000人の方々を選ばせていただきました。お忙しいところ誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただきご回答くださいますようお願いいたします。

なお、調査結果につきましては、広報はままつや浜松市公式Webサイト（ホームページ）などで報告させていただく予定です。

平成30年6月 浜松市長 鈴木 康 友

### <ご回答についてお願い>

1. 封書のあて名の方が、ご回答くださいますようお願いいたします。
2. ご回答は、各設問に該当する番号を選択肢の中から選んで、○で囲んでください。  
また、「その他」を選んだ方は、その具体的な内容をご記入ください。
3. この調査結果は、上記目的以外に使用することはない、内容についてご迷惑をお掛けすることはありません。
4. 6月30日(土)までにこの用紙を同封の封筒に入れて、切手を貼らずにご投函ください。
5. ご不明な点は、広聴広報課 市民コールセンターグループ ☎(053) 457-2023へお問い合わせください。

## ～ あなたはご存じですか？ ～

問1 次の項目について、あなたはご存じですか。1～3のうちから1つ選んで○を付けてください。

	名称も内容も 知っている	名称だけは 知っている	知らない
<b>① FSC森林認証</b> ※森林が適切に管理されているかを、世界基準に沿って審査、認証する仕組みです。浜松市は市町村別では全国最大のFSC認証林面積を保有しています。	1	2	3
<b>② 市制記念日</b> ※浜松市では市制施行を記念して、7月1日を市制記念日として定めています。	1 知っている		2 知らない
<b>③ 協働センター</b> ※平成24年4月から地域自治センターが、平成25年4月から公民館が、それぞれ「協働センター」となりました。 ※協働センターは、市民に身近な行政サービス提供組織として、地域づくりや生涯学習、窓口サービスなどの業務を行っています。	1 知っている		2 知らない
<b>④ 生物多様性</b> ※生き物の豊かな個性とつながりのこと。すべての生き物には違い（「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」）があり、互いにつながり合い、支え合って生きています。	1	2	3

	すでに登録 している	知っているが 登録していない	知らない
<b>⑤ 防災ホットメール</b> ※災害発生時の緊急情報、地震情報、気象情報、火災情報などを携帯電話などに電子メールで配信しています。	1	2	3

## ～ スポーツの推進について ～

問2 あなたは、過去1年間でスポーツ（運動）をどの程度行いましたか。ウォーキングから本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。

（1つだけ○を付けてください）

1. ほぼ毎日	2. 週3回以上
3. 週1回以上	4. 月に1～2回程度
5. 年に数回程度	6. 年に1回もしない

問3 あなたは、過去1年間に実際に会場に出向いてスポーツ観戦・応援をどの程度行いましたか。プロスポーツだけでなく、地域のスポーツ活動や少年団などの観戦・応援も含みます。

（1つだけ○を付けてください）

1. ほぼ毎日	2. 月に数回程度
3. 月に1回程度	4. 年に数回程度
5. 年に1回程度	6. スポーツ観戦・応援をしない

## ～ 浜松市歌について ～

問4 浜松市では、平成19年、新たに浜松市歌を制定しました。あなたは市歌をご存じですか。また、歌うことができますか。  
(1つだけ○を付けてください)

1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる
2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない
3. 市歌があることを知らなかった

問5 問4で「1. 市歌があることを知っていて、歌うこともできる」「2. 市歌があることは知っているが、歌うことはできない」とお答えされた方に伺います。市歌をどこかで聴いたことがありますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 市主催のイベント
2. 入学式・卒業式などの学校行事（子供などが参加している行事を含む）
3. 市役所など公共施設での館内放送
4. カラオケ配信
5. テレビ・ラジオなど
6. 民間主催のイベント
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
8. 聴いたことがない

## ～ 観光地としての浜松について ～

問6 あなたは、浜松市を魅力ある観光地として国内外の友人に自慢できますか。  
(1つだけ○を付けてください)

1. 自慢できる
2. 自慢できない
3. どちらでもない

問7 問6で「1. 自慢できる」とお答えされた方に伺います。どんなところが自慢できると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 海、山、川、湖など豊富な自然
2. 舘山寺、弁天島などの温泉
3. 浜松まつりなどのイベント
4. ビーチ・マリンスポーツなどのアクティビティ
5. 浜名湖うなぎ、三ヶ日みかん、浜松餃子などのグルメ
6. 徳川家康公、井伊直虎などの歴史・文化
7. フラワーパーク、フルーツパークなどの観光施設
8. スズキ歴史館、うなぎパイファクトリーなどの産業観光施設

問8 問6で「2. 自慢できない」とお答えされた方に伺います。自慢できない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 魅力的な観光スポットがないから
2. 魅力的なイベントがないから
3. 自慢できるグルメがないから
4. 自慢できる歴史・文化がないから
5. 市内の交通アクセスが不便だから
6. 観光案内の機能(看板、パンフレット、ホームページなど)が弱いから
7. 観光への関心がない
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## ～ 子育て支援について ～

問9 あなたは、「浜松市子ども育成条例」と「浜松市子ども・若者支援プラン」をご存じですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 両方知っている
2. 「浜松市子ども育成条例」のみ知っている
3. 「浜松市子ども・若者支援プラン」のみ知っている
4. 両方知らない

問10 現在、あなたは18歳までの子供を子育て中ですか。

(1つだけ○を付けてください)

1. はい
2. いいえ

問11 問10で「1. はい」とお答えされた方に伺います。あなたの子供は下記のどれに該当しますか。

(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 小学校入学前
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 専門学校生
6. その他

問12 浜松市では、保育所整備、子育て支援ひろば、子供の医療費助成など子育てに関する支援を行っています。あなたは、このような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 思う
2. 思わない
3. どちらともいえない
4. 分からない

問13 問12で「2. 思わない」「3. どちらともいえない」「4. 分からない」とお答えされた方に伺います。どのような環境を整えば子育てがしやすくなったと感じると思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 子育てに対し、勤務先や職場の理解・協力が得られる環境
2. 子育ての悩みを相談できる人が身近にいる環境
3. 保育園などの入園希望者がすべて受け入れられる環境
4. 子育て中の親子の交流の場が身近にある環境
5. 困った時や緊急時に、安心して子供を預けられる環境
6. 放課後児童会（学童保育）の利用希望者がすべて受け入れられる環境
7. 子供たちが安心して遊べる場所が身近にある環境
8. 児童手当などの経済的支援が充実した環境
9. 医療費助成が充実した環境
10. 子育てに関する必要な情報がすぐに手に入る環境
11. 分からない
12. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## ～ ユニバーサルデザインについて ～

問 14 あなたはユニバーサルデザイン※を知っていますか？

(1つだけ○を付けてください)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 名称も内容も知っている | 2. 名称だけは知っている |
| 3. 知らない        |               |

※ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、能力、国籍などに関係なく、誰もが安全で安心、快適な暮らしができるように「人づくり」や「ものづくり」、「環境づくり」を行っていきこうとする考え方のことです。

問 15 あなたは、バスや電車で席をゆずる、困っている人がいたら声かけをするなど、思いやりのある行動をする人が増えていると感じますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. 感じる  | 2. 少し感じる |
| 3. 感じない | 4. 分からない |

問 16 あなた自身は、問 15 のような思いやりのある行動をしていますか。

(1つだけ○を付けてください)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. いつもしている   | 2. たまにしている |
| 3. ほとんどしていない | 4. していない   |

問 17 浜松市は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、国から共生社会ホストタウン※<sup>1</sup>の登録を受け、ブラジル選手団の事前キャンプの受け入れ準備を進めています。キャンプを通して、選手と市民との交流が行われることで、外国人や障がいのある人に対する市民の理解を深め、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリー※<sup>2</sup>の推進につなげることが期待されます。

共生社会ホストタウンとして、市民の「心のバリアフリー」を進めるには、どのような取り組みが必要だと思えますか。

(3つまで○を付けてください)

- |   |
|---|
| 1. 外国の文化や障がいについて学ぶ機会を設けること                      |
| 2. 外国人や障がいのある人、高齢者などに対する対応を学ぶ機会を設けること           |
| 3. 学校教育などで、心のバリアフリーを学ぶ機会を増やすこと                  |
| 4. 外国人や障がいのある人などとの交流の機会を増やすこと                   |
| 5. 外国人や障がいのある人、高齢者などへのサポートについて、体験しながら学ぶ機会を設けること |
| 6. 外国人や障がいのある人、高齢者などをサポートするためのボランティアを養成すること     |
| 7. 文化の違いや障がいのある人などへの理解と関心が高まるよう、広報・啓発活動を行うこと    |

※<sup>1</sup> 共生社会ホストタウンとは、東京2020パラリンピック競技大会において、障がいのある海外の選手たちを迎えることをきっかけに、ユニバーサルデザインのまちづくりや心のバリアフリーを推進し、大会後の発展的な取り組みにつなげるものです。

※<sup>2</sup> 心のバリアフリーとは、私たちの心の中に潜む年齢、性別、障がい、国籍の違いなどによる差別、偏見、固定観念などの障壁（バリア）をなくし、それぞれの人に寄り添うことです。

## ～ 浜松駅周辺の市営自転車等駐車場について ～

問 18 浜松駅周辺には市民の方が無料で利用できる市営の自転車等駐車場（以下「市営駐輪場」という）があります。あなたは、市営駐輪場をどのくらい利用していますか。

（1つだけ○を付けてください）

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 週に5回以上 | 2. 週に3～4回   |
| 3. 週に1～2回 | 4. 月に1～3回程度 |
| 5. 年に数回程度 | 6. 利用しない    |

問 19 市営駐輪場の駐輪環境、管理運営に求めることを、優先度が高いものから2つお選びください。

（2つまで○を付けてください）

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 駐輪場に屋根がついている             |
| 2. 駐輪スペースに余裕があり、駐輪しやすい      |
| 3. いつでも自由に利用できる             |
| 4. 自転車へのいたずら及び盗難への対策が充実している |
| 5. その他（具体的に： _____）         |

問 20 浜松駅周辺の市営駐輪場を有料化し、例えば、防犯カメラの完備や管理員の配置により盗難やいたずらを防止するなど、市営駐輪場の環境や管理の質を高めることについて、あなたはどのように思いますか。

（1つだけ○を付けてください）

- |                     |
|---------------------|
| 1. 賛成である            |
| 2. 反対である            |
| 3. その他（具体的に： _____） |

## ～ ドメスティック・バイオレンス（DV）について ～

問 21 配偶者（元配偶者、事実婚、生活の本拠を共にする交際相手を含む）やパートナーなどから行われるドメスティック・バイオレンス（DV）※について、あなたの知識としてあてはまるものはどれですか。

（あてはまるものすべてに○を付けてください）

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. テレビや新聞などで社会問題になっていることを知っている |
| 2. DVが人権侵害であることを知っている          |
| 3. DV相談専用ダイヤルがあることを知っている       |
| 4. その他（具体的に： _____）            |
| 5. 知らない                        |

※ドメスティック・バイオレンス（DV）には、「殴る、蹴る」などの身体的暴力以外に、「怒鳴る、脅す」などの精神的暴力、性行為を強要する性的暴力、生活費を渡さない経済的暴力などがあります。

問 22 配偶者やパートナーなどからの暴力をなくすために、社会的な取り組みとして何が最も必要だと思いますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 配偶者やパートナーなどからの暴力の防止について、広報活動や啓発の機会を増やす
2. 子供の頃から、暴力をなくしていくための教育を行う
3. テレビや雑誌、インターネットなどでの暴力的な情報を規制する
4. 男女間の経済的、社会的な地位や力の格差をなくしていく
5. DVは人権侵害であることを周知していく
6. その他 (具体的に: \_\_\_\_\_)

## ～ 老人福祉センターについて ～

問 23 あなたは「老人福祉センター※」をご存じですか。また、利用していますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 知っていて、現在利用している (対象年齢が来たら利用したい)
2. 知っている又は聞いたことはあるが、利用していない (対象年齢が来ても利用しない)
3. 知らない

※老人福祉センターは、60歳以上の方が無料（風呂のみ1回100円～200円）で、同好会活動、健康器具（マッサージチェア、ヘルストロンなど）、カラオケ、風呂などの利用ができる高齢者福祉施設です。老人福祉センター湖東荘など〇〇荘、ふれあい福祉センター、シニアプラザの名称があります。

問 24 老人福祉センターは、高齢者の生きがいづくりなどの場として活用されていますが、利用者数は減少傾向にあります。あなたは、老人福祉センターの今後の方向性についてどのように考えますか。

(1つだけ○を付けてください)

1. 現状維持
2. さらに充実させる
3. 一部の老人福祉センター（利用者の少ない施設や耐用年数を経過した施設）を廃止する
4. すべての老人福祉センターを廃止する

問 25 問 24 であなたが回答した理由のうち、一番近いお気持ちを教えてください。

(1つだけ○を付けてください)

1. 高齢者が無料又は安価で利用できる施設であるため
2. 今後の財政負担を考えると、高齢者福祉の充実は必要だと思うため
3. 民間にも同様の施設があるなど、他にも行く場所があるため、廃止（又は縮小）してもよい
4. 今後の財政負担を考えると、廃止（又は縮小）し、歳出を削減するべきだと思うため
5. 一部又は全部を廃止し、高齢者を含む多世代が利用できる施設とした方が良いと思うため

## ～ 文化について ～

文化的な活動について、創作や演奏など自ら取り組む場合と、鑑賞などサービスの受け手として文化にふれる場合の2つの立場があります。それぞれの立場から伺います。

### 【立場①：自ら取り組む場合】

問 26 どのような分野の文化芸術に取り組んでいますか（趣味で楽しんでいるものも含みます）。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |   |       |       |        |        |       |                    |
|---|-------|-------|--------|--------|-------|--------------------|
| 1. 文学                                     | 2. 音楽 | 3. 美術 | 4. 写真  | 5. 演劇  | 6. 舞踊 |                    |
| 7. 民俗芸能                                   | 8. 茶道 | 9. 華道 | 10. 書道 | 11. 工芸 |       |                    |
| 12. メディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータを利用した芸術など） |       |       |        |        |       |                    |
| 13. その他*（具体的に： _____ )                    |       |       |        |        |       |                    |
| 14. 取り組んでいないが新たに組みたい                      |       |       |        |        |       | 15. 取り組んでいないし関心もない |

※その他の例：雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、講談、落語、浪曲、漫才など

問 27 文化活動を行う際に課題に思うことは、どのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                       |            |            |          |
|-----------------------|------------|------------|----------|
| 1. 会員の確保              | 2. 後継者不足   | 3. 活動資金の確保 |          |
| 4. 人材育成・レベル向上         | 5. 発表の場    | 6. 情報発信    |          |
| 7. 他団体との交流            | 8. 組織体制の強化 | 9. 交通手段    |          |
| 10. その他（具体的に： _____ ) |            |            | 11. 特になし |

問 28 問 26 で「14. 取り組んでいないが新たに組みたい」とお答えされた方に伺います。どのようなことがあれば取り組もうと思えますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                      |                   |              |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 1. 身近で体験できる機会        | 2. 関連する情報の提供      | 3. 一緒に取り組む仲間 |
| 4. 適切な指導者            | 5. 無料又は安価で取り組めること |              |
| 6. その他（具体的に： _____ ) |                   |              |
| 7. 特になし              |                   |              |

### 【立場②：サービスの受け手として文化にふれる場合】

問 29 どのような分野の文化芸術を楽しんでいますか？  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |   |       |       |        |        |       |           |
|---|-------|-------|--------|--------|-------|-----------|
| 1. 文学                                     | 2. 音楽 | 3. 美術 | 4. 写真  | 5. 演劇  | 6. 舞踊 |           |
| 7. 民俗芸能                                   | 8. 茶道 | 9. 華道 | 10. 書道 | 11. 工芸 |       |           |
| 12. メディア芸術（映画、漫画、アニメーション、コンピュータを利用した芸術など） |       |       |        |        |       |           |
| 13. その他*（具体的に： _____ )                    |       |       |        |        |       |           |
| 14. 今は楽しんでいないが今後楽しみたい                     |       |       |        |        |       | 15. 関心がない |

※その他の例：雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、講談、落語、浪曲、漫才など

問 30 文化にふれる際に課題に思うことは、どのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                      |             |                 |         |
|----------------------|-------------|-----------------|---------|
| 1. 見たい公演などがない        | 2. 入場料などが高い | 3. 情報の入手先が分からない |         |
| 4. チケットが入手困難         | 5. 近隣に施設がない | 6. 交通手段         |         |
| 7. その他（具体的に： _____ ) |             |                 | 8. 特になし |

## ～ 歴史まちづくりについて ～

問 31 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どのような分野に興味がありますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 神社・寺院
2. 貝塚・古墳・城跡などの史跡
3. 古民家・蔵などの歴史的建造物、歴史的町並み
4. 東海道・姫街道・秋葉街道などの旧街道
5. 鉄道（天浜線・飯田線など）・ダム・橋梁・<sup>ずいどう</sup>隧道（トンネル）などの産業遺産
6. 棚田・里山・防風林・漁ろうなどの人の営みと関係の深い文化的景観
7. 祭礼・民俗芸能
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. 興味はない

問 32 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どこの地域に魅力を感じますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

1. 天竜区・北区引佐町北部の中山間地域（天竜区二俣町周辺を含む）
2. 天竜川扇状地（浜北区・東区周辺）
3. 奥浜名湖地域（北区細江町・引佐町・三ヶ日町周辺）
4. 浜名湖岸地域（舘山寺・庄内・西区雄踏町・舞阪町周辺）
5. 遠州灘沿岸地域
6. 三方原台地北部（三方原の農業地を含む）
7. 三方原台地南部（佐鳴湖周辺を含む）
8. 中心市街地（JR浜松駅・浜松城公園周辺）
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 魅力を感じる地域はない

問 33 あなたは、浜松市の歴史や文化に関して、どの時代に魅力を感じますか。  
(あてはまるものすべてに○を付けてください)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 原始・古代（縄文・弥生・古墳・奈良・平安） | 2. 中世（鎌倉・室町（戦国））      |
| 3. 近世（江戸）                | 4. 近代（明治・大正・昭和前期（戦前）） |
| 5. 現代（昭和後期（戦後）・平成）       | 6. 魅力を感じる時代はない        |

問 34 あなたは、浜松市においても、歴史や文化を活かしたまちづくりを推進していくべきと考えますか。  
(1つだけ○を付けてください)

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 推進していくべき  | 2. どちらかといえば推進した方が良い |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば推進すべきでない |
| 5. 推進すべきでない  |                     |

## ～ 浜松市戦略計画 2018 について ～

浜松市では平成30年度の基本目標として「若者がチャレンジできるまち」「子育て世代を全力で応援するまち」「持続可能で創造性あふれるまち」の3つを掲げ、達成に向けて取り組みを進めています。そこで、この3つの基本目標を中心に、市民の皆さまの市政に関する現状認識と市の取り組みに関する満足度を伺います。

### ◆市政に関する現状認識について

問35 あなたは日常生活の中で、どのように感じていますか。各項目について「思う」から「思わない」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目		選択肢				
		思 う	←————→			思 わ な い
若者が チャレンジ できるまち	環境に配慮*した生活を送っていると思いますか。 ※ごみの減量、リサイクルの推進、消費する電力の削減など	5	4	3	2	1
	満足のいく雇用機会に恵まれていると思いますか。	5	4	3	2	1
	仕事と生活の調和*が取れていると思いますか。 ※仕事と家事・育児・介護などと両立すること	5	4	3	2	1
子育て 世代を 全力で 応援する まち	子供を生き育てやすい環境が整っていると思いますか。	5	4	3	2	1
	生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心を満たす環境が整っていると思いますか。	5	4	3	2	1
持続可能 で創造性 あふれる まち	住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	5	4	3	2	1
	自分の生命と財産は自分で守ることが基本であると思いますか。	5	4	3	2	1
	誰もが創造性を発揮した活動*を行うことができる環境が整っていると思いますか。 ※固有の文化や産業などの地域資源を生かし、新たな価値やまちの魅力を生み出していく活動	5	4	3	2	1
	医療や介護の体制が整っているまちだと思いますか。	5	4	3	2	1
	必要な行政情報*が提供されていると思いますか。 ※各種申請手続き、イベント、事業、予算など市からの情報	5	4	3	2	1

◆市の取り組みの満足度評価について

問 36 あなたは、浜松市の取り組みについて日ごろどのように感じていますか。

各項目について「満足」から「不満」まで5段階のうち、それぞれ1つだけ選び○を付けてください。

項 目		評 価				
		満 足	←————→			不 満
若者がチャレンジできるまち	魅力ある雇用機会の確保	5	4	3	2	1
	若者が起業や創業しやすいまちづくり	5	4	3	2	1
	森林管理や木材利用の拡大など、林業・木材産業の振興に向けた取り組み	5	4	3	2	1
子育て世代を全力で応援するまち	結婚の希望がかなうよう出会いの場の創出	5	4	3	2	1
	妊娠から産後までの心身のサポート	5	4	3	2	1
	子育て中の親子への子育て支援	5	4	3	2	1
	保育所や放課後児童会などの整備	5	4	3	2	1
	協働センター、図書館などの生涯学習環境	5	4	3	2	1
持続可能で創造性あふれるまち	文化にふれ、活動できる環境	5	4	3	2	1
	音楽のまちづくりをはじめとする文化事業の市の取り組み	5	4	3	2	1
	J R浜松駅周辺の魅力とにぎわい	5	4	3	2	1
	浜名湖をはじめとする観光資源の整備、活用	5	4	3	2	1
	鉄道やバスなどの公共交通機関の利便性確保に向けた市の取り組み	5	4	3	2	1
	身近な生活道路の管理状況	5	4	3	2	1
	快適に移動しやすい道路網の整備	5	4	3	2	1
	世界の人々との活発な市民交流	5	4	3	2	1
	外国人市民との相互理解や交流を深める共生社会づくり	5	4	3	2	1
	男女がともにあらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組み	5	4	3	2	1
	ユニバーサルデザイン※によるまちづくり ※高齢者、障がい者、外国人など、より多くの人の安心・安全・快適な暮らしを推進する取り組み	5	4	3	2	1
	人権を尊重したまちづくり（人権啓発の取り組み）	5	4	3	2	1
	休日、夜間などの救急医療体制	5	4	3	2	1

最後にあなたのことについて記入してください

(項目別に1つだけ○を付けてください)

性別	1. 男	2. 女	
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代
	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60～64歳
	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
国籍	1. 日本	2. ブラジル	3. 中国
	4. フィリピン	5. その他 ( )	
職業	1. 勤め人	2. 商工・サービス・自由業 (自営・家族従事者)	
	3. 農林水産業 (自営・家族従事者)		
	4. 専業主婦 (主夫)	5. 学生	
	6. 無職	7. その他 ( )	
	あなたは浜松市 (合併前の旧市町村当時からも含みます) に住んで何年になりますか		
居住年数	1. 3年未満	2. 3年以上5年未満	3. 5年以上10年未満
	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上	
家族数	あなたを含めて何人で住んでいますか		
	1. 1人	2. 2人	3. 3人
居住形態	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上
	あなたのお住まいは		
行政区	1. 持ち家	2. 借家	3. 賃貸アパート・マンション
	4. 公営住宅	5. 社宅・寮	6. その他
行政区	あなたがお住まいの行政区は		
	1. 中区	2. 東区	3. 西区
行政区	4. 南区	5. 北区	6. 浜北区
	7. 天竜区	行政区が分からない場合は、町名をご記入ください → ( )	

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、6月30日(土)までにご投函ください。



平成30年度 市民アンケート調査報告書

---

平成30年10月発行

浜松市企画調整部広聴広報課

〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2

電話 (053) 457-2023 FAX (053) 457-2028

e-mail koe-g@city.hamamatsu.shizuoka.jp

URL <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

---